

神河町男女共同参画に関する アンケート調査結果報告書

**令和3年1月
神河町**

目 次

I . 調査の概要	1
1 調査目的	1
2 実施要領	1
3 報告書の見方	1
4 拡大集計の実施	2
II . 町民調査の結果	3
1 あなた自身のことについて	3
2 男女平等・性別による役割分担について	10
3 家庭生活について	20
4 地域生活について	28
5 仕事について	31
6 ワーク・ライフ・バランスについて	43
7 DV（ドメスティック・バイオレンス）について	48
8 防災対策・災害復興対策について	57
9 男女共同参画のまちづくりについて	60
III . 事業所調査の結果	76
1 事業所の概要について	76
2 女性の雇用について	79
3 ハラスメントに対する取り組みについて	84
4 育児や介護について	87
5 ワーク・ライフ・バランスについて	90
6 男女共同参画社会づくりについて	92

I. 調査の概要

1 調査目的

本町では、男女が社会の対等な構成員として、ともに参画し、それぞれの持てる個性や能力を十分発揮し、しあわせを感じながら暮らすことのできる男女共同参画社会を実現するために、様々な取り組みを推進しています。このアンケートは、本町の男女共同参画・女性の活躍推進の現状やニーズを把握するためのものであり、調査結果をもとに次期計画を策定する予定です。

2 実施要領

	調査対象	配布数	回収数	回収率	調査期間	調査方法
町民調査	本町にお住まいの15歳以上の方	1,500人 (無作為抽出)	724件	48.3%	令和2年 11月1日 ～11月16日	郵送配布・ 郵送回収
事業所調査	本町内の事業所	340事業所	169件	49.7%	令和2年 11月1日 ～11月16日	郵送配布・ 郵送回収

3 報告書の見方

- (1) 図表中の「N (number of case)」は、有効標本数（集計対象者総数）を表している。
- (2) 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第2位で四捨五入したものである。そのため、単数回答であっても合計値が100.0%にならない場合がある。
- (3) 複数回答の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示している。そのため、合計が100.0%を超える場合がある。
- (4) 図表中に次のような表示などがある場合は、複数回答を依頼した質問を示している。
 - ・ MA % (Multiple Answer) : 回答選択肢の中からあてはまるものをすべて選択する場合
 - ・ 3 L A % (3 Limited Answer) : 回答選択肢の中からあてはまるものを3つ以内で選択する場合
 - ・ 2 L A % (2 Limited Answer) : 回答選択肢の中からあてはまるものを2つ以内で選択する場合
 これ以外の場合は、特に断りがない限り、単一回答（回答選択肢の中からあてはまるものを1つだけ選択する）形式の設問である。
- (5) 図表中において「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難なものである。

4 拡大集計の実施

(1) 人口分布

神河町の人口比と比較して、本調査の年齢分布は、男性の40歳代、50歳代、60歳代が少なく、女性の20歳代、30歳代、40歳代が多くなっています。

	男性						女性					
	15-19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	15-19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代
R2.11	206人	463人	499人	626人	715人	812人	219人	468人	445人	664人	714人	850人
人口	3.1%	6.9%	7.5%	9.4%	10.7%	12.2%	3.3%	7.0%	6.7%	9.9%	10.7%	12.7%
R2	25人	41人	56人	45人	59人	69人	30人	65人	77人	83人	72人	92人
調査	3.5%	5.7%	7.8%	6.3%	8.3%	9.7%	4.2%	9.1%	10.8%	11.6%	10.1%	12.9%
H27	24人		19人	33人	44人	120人	18人		18人	47人	57人	150人
調査	4.5%		3.6%	6.2%	8.3%	22.6%	3.4%		3.4%	8.9%	10.8%	28.3%

(2) 拡大集計結果

次の2種類の拡大集計結果を提示します。

①現在の人口分布に沿った集計

集計目的：貴町全体での意見としての回答傾向を把握するため

	男性						女性					
	15-19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	15-19歳	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代
R2.11	206人	463人	499人	626人	715人	812人	219人	468人	445人	664人	714人	850人
人口	3.1%	6.9%	7.5%	9.4%	10.7%	12.2%	3.3%	7.0%	6.7%	9.9%	10.7%	12.7%
R2	36人	80人	86人	108人	124人	140人	38人	81人	77人	115人	124人	147人
調査	3.1%	6.9%	7.5%	9.4%	10.7%	12.2%	3.3%	7.0%	6.7%	9.9%	10.7%	12.7%

②H27調査の回収分布に沿った集計

集計目的：H27調査時点から回答傾向の変化を把握するため

	男性					女性				
	15-29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	15-29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代
H27	24人	19人	33人	44人	120人	18人	18人	47人	57人	150人
調査	4.5%	3.6%	6.2%	8.3%	22.6%	3.4%	3.4%	8.9%	10.8%	28.3%
R2	127人	100人	174人	232人	633人	95人	95人	248人	301人	792人
調査	4.5%	3.6%	6.2%	8.3%	22.6%	3.4%	3.4%	8.9%	10.8%	28.3%

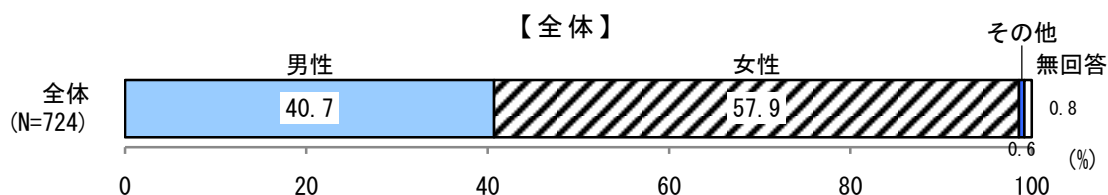
Ⅱ. 町民調査の結果

1 あなた自身のことについて

〔1〕性別

問1 あなたの性別をお答えください。【○は1つ】

性別は男性 40.7%、女性 57.9%となっています。



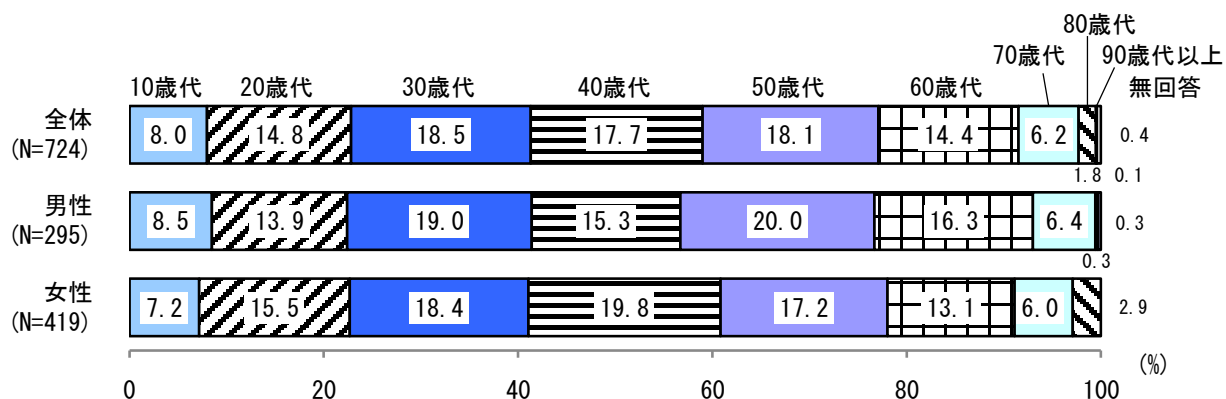
〔2〕年齢

問2 あなたの年齢をお答えください。（令和2年11月1日時点）【○は1つ】

年齢は、全体の割合では30歳代が18.5%と最も高く、次いで50歳代で18.1%となっています。

また、性別でみると、最も高いのが、男性は50歳代（20.0%）、女性は40歳代（19.8%）となっています。

【全体・男女別】



〔 3 〕 婚姻

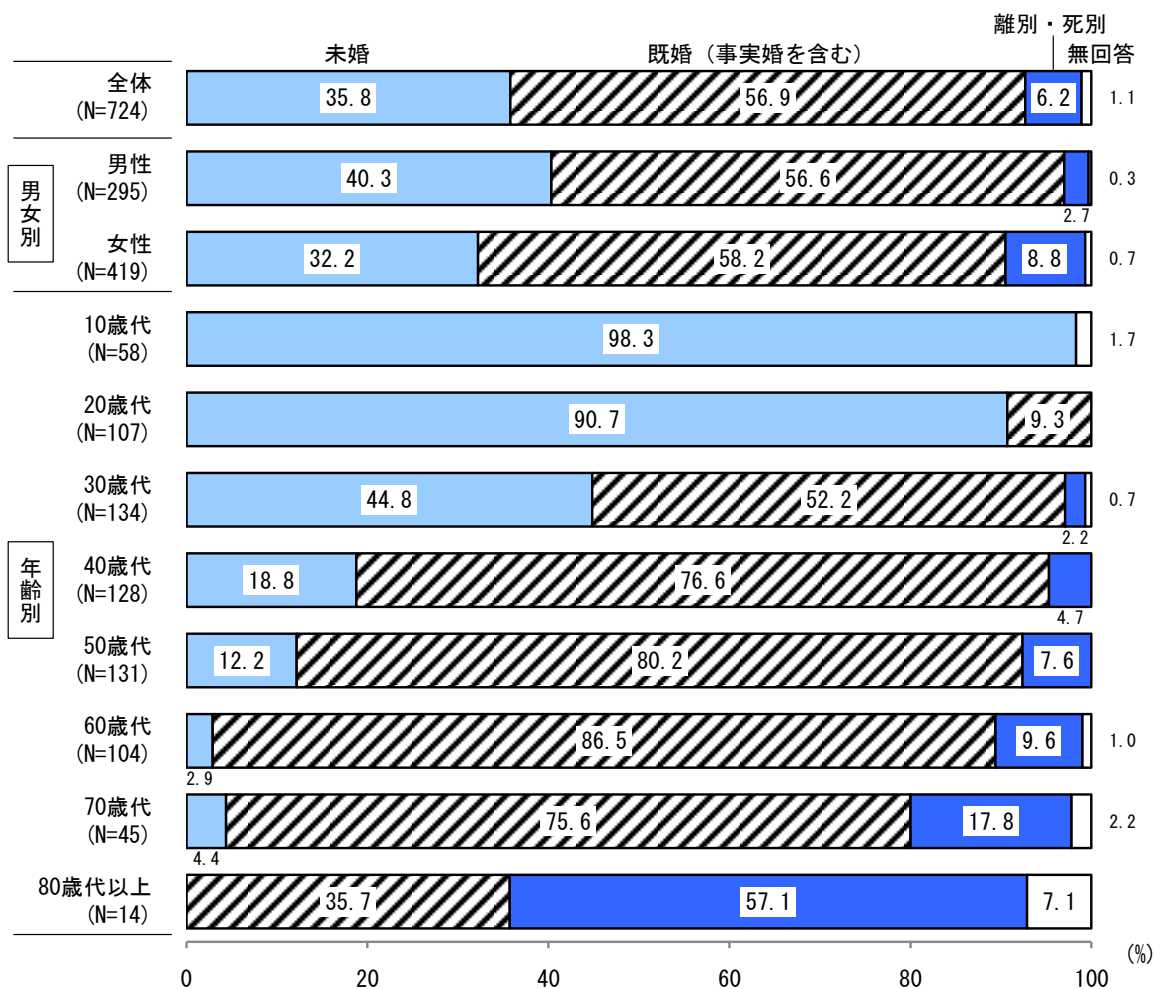
問 3 あなたは、結婚していますか。【○は 1 つ】

婚姻について、全体では「既婚（事実婚を含む）」が 56.9%となっています。

また、既婚者の割合として、男性が 56.6%、女性が 58.2%となっており、いずれも未婚者の割合を上回っています。

年齢別では既婚者の割合は 60 歳代の 86.5%が最高で、次いで高いのが 50 歳代の 80.2%となっています。

【全体・男女別・年齢別】



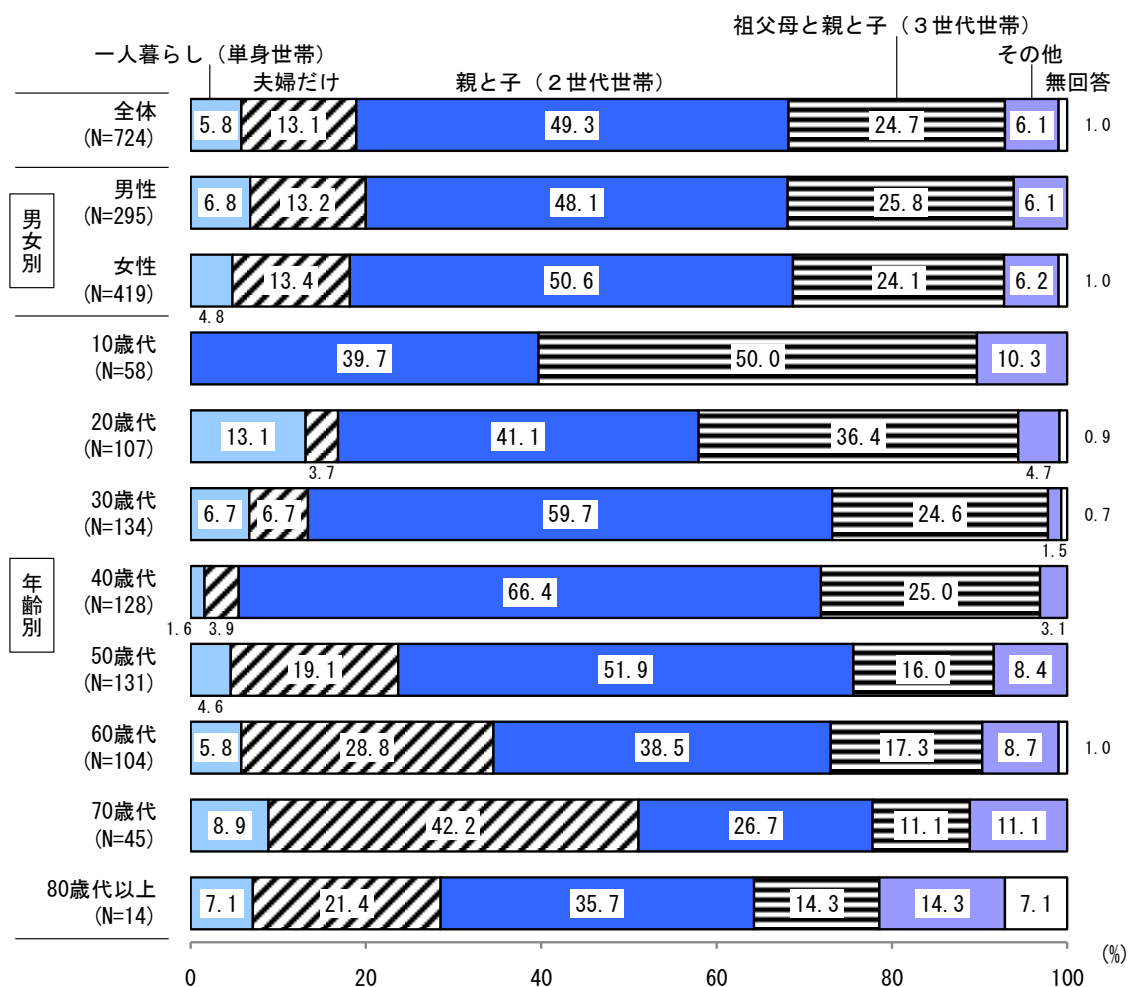
〔４〕家族構成

問４－１ あなたのご家族（同居）の構成は、次のどれにあたりますか。【○は１つ】

家族構成として割合が最も高いのが、「親と子（２世代世帯）」の 49.3% となっています。
性別で見ても、「親と子（２世代世帯）」の割合が最も高く、男性で 48.1%、女性で 50.6% となっています。

年齢別では、10 歳代と 70 歳代を除くすべての世代で「親と子（２世代世帯）」の割合が最も高くなっています。

【全体・男女別・年齢別】



〔５〕中学生以下の子どもの有無

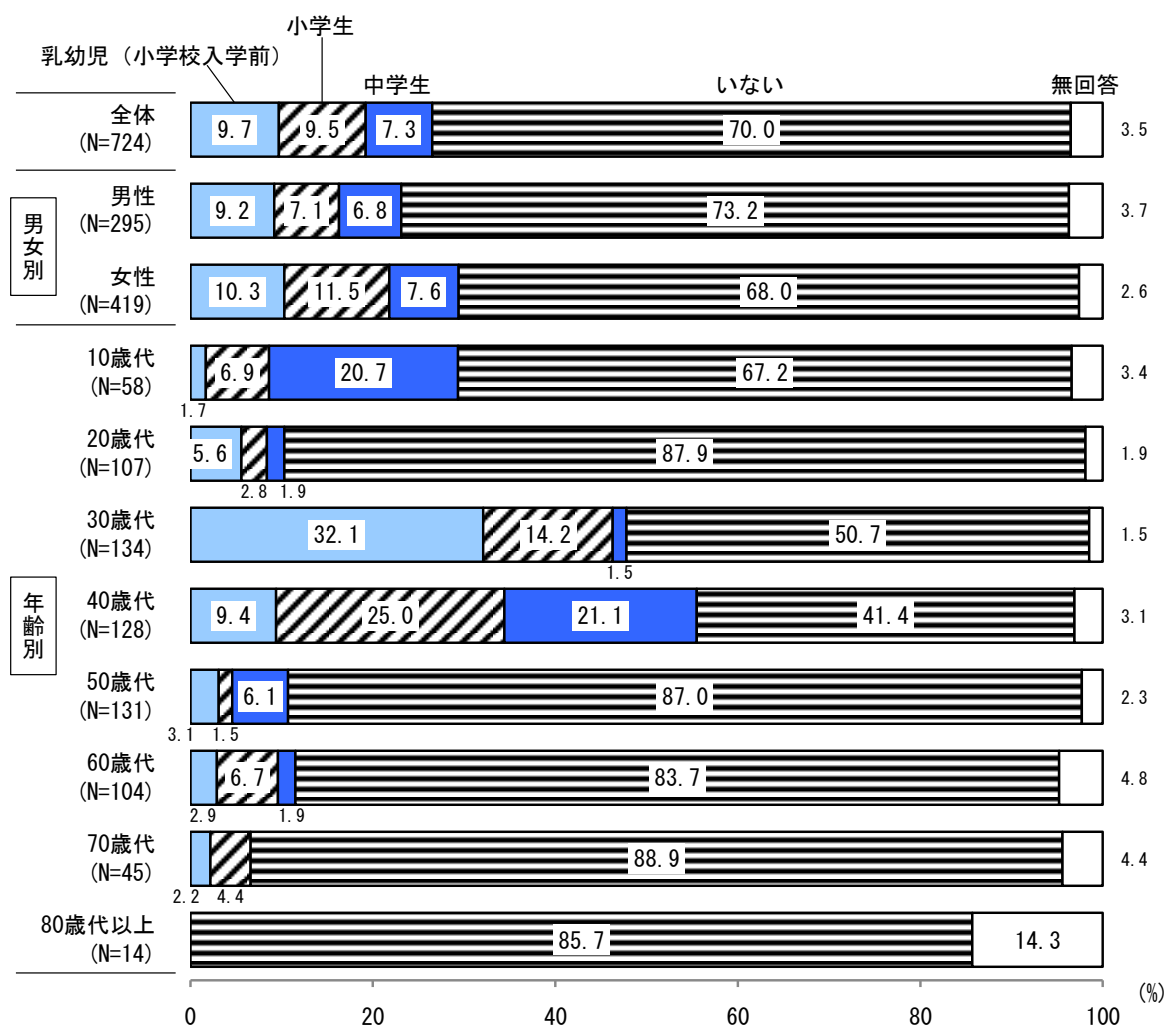
問４－２ 中学生以下の子ども（同居）がいますか。いる場合、一番年齢の小さな子どもは次のどれですか。【○は１つ】

中学生以下の子供の有無について「いない」と答えた人の割合は、全体で 70.0%となっています。

性別で見ても、「いない」と回答したのは男性で 73.2%、女性で 68.0%と割合として最も高くなっています。

年齢別では、すべての世代で「いない」の回答率が高くなっています。

【全体・男女別・年齢別】



〔 6 〕 職 業

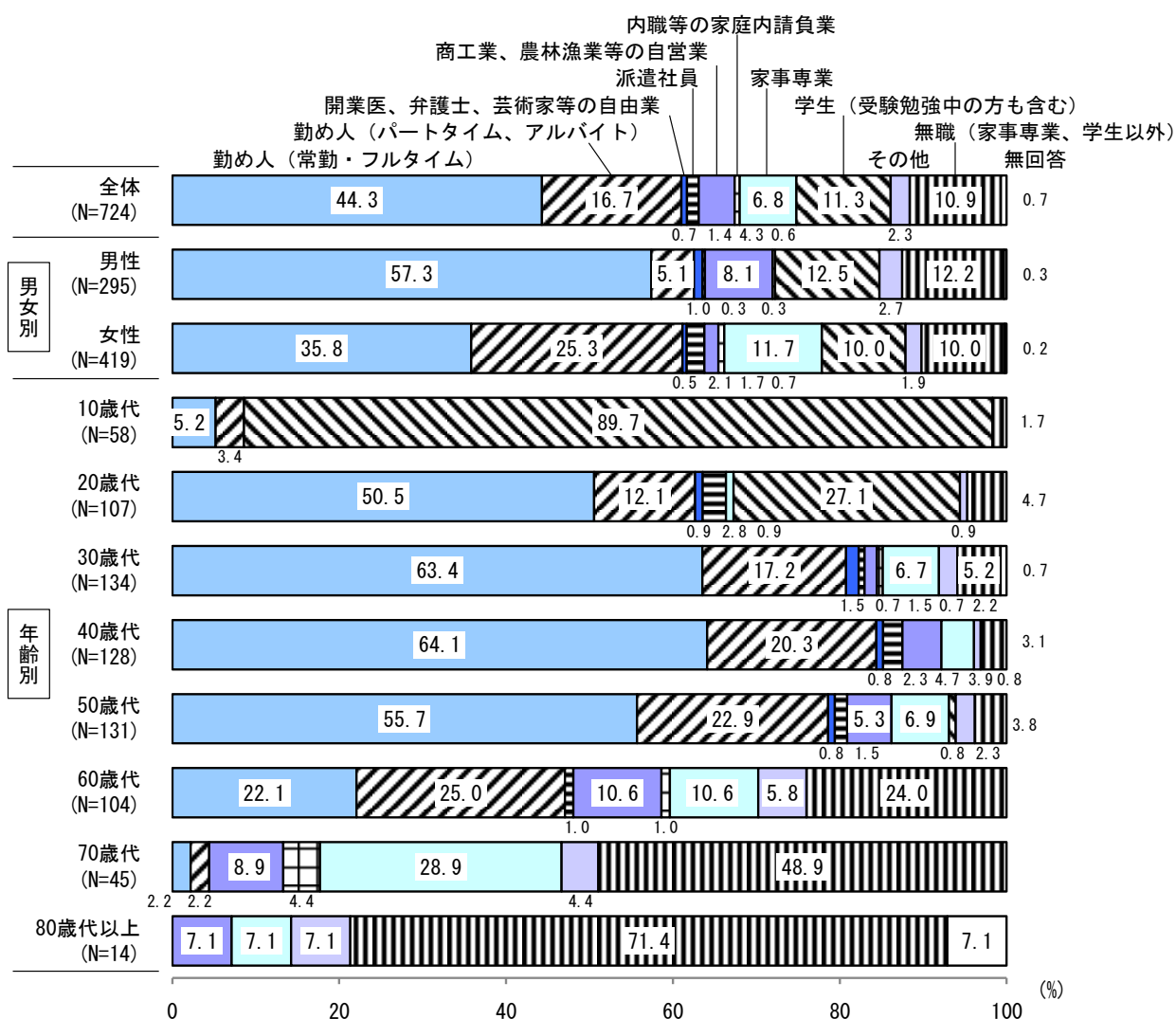
問 5 あなたの現在のご職業に最も近いものはどれですか。【○は1つ】

職業では、全体の割合として「勤め人（常勤・フルタイム）」が 44.3%と最も高く、次いで「勤め人（パートタイム、アルバイト）」が 16.7%と高くなっています。

性別では、「勤め人（常勤・フルタイム）」が男性（57.3%）、女性（35.8%）共に割合が高くなっています。

年齢別でみると、20 歳代～50 歳代で「勤め人（常勤・フルタイム）」の割合が 5 割を超え、60 歳代～80 歳代にかけて「無職（家事専業、学生以外）」の割合が高まっています。

【全体・男女別・年齢別】



〔 7 〕 居住地区

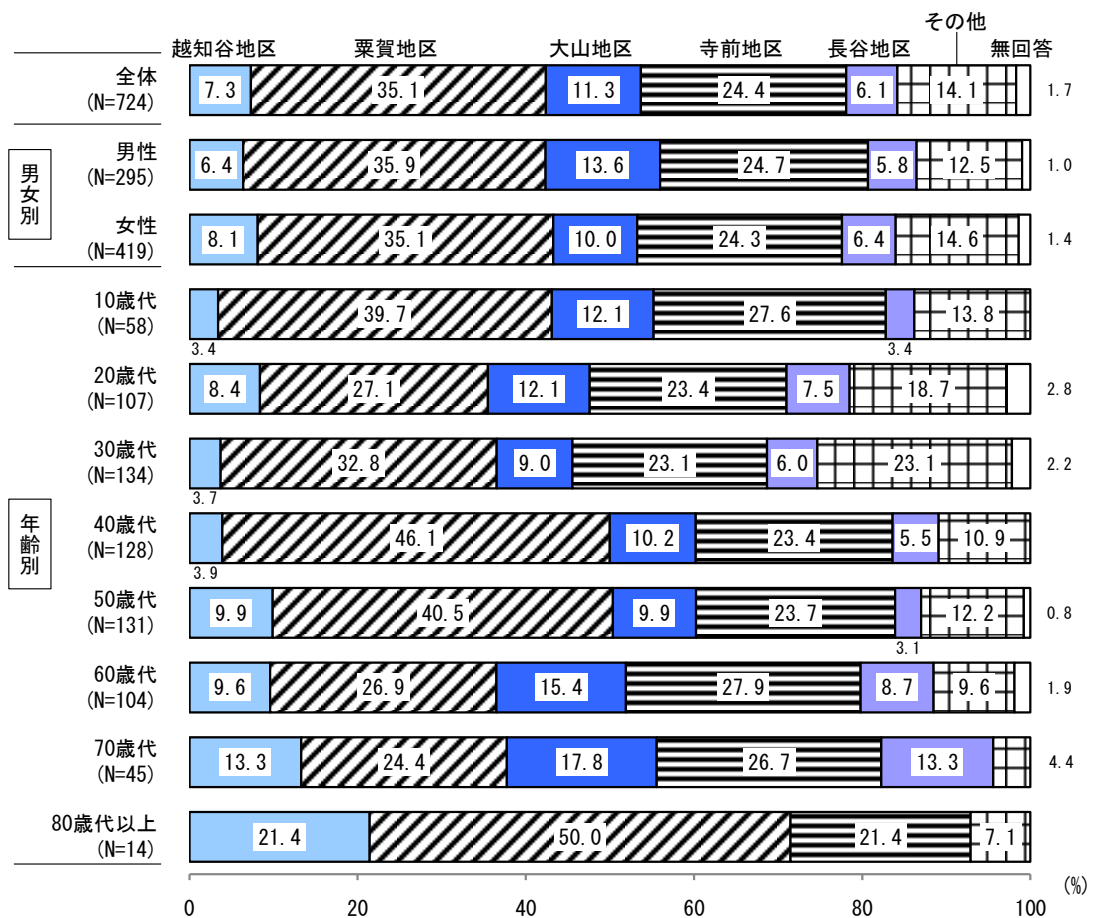
問 6 あなたお住まいの地区は次のどれですか。【○は1つ】

居住地区では、全体として「栗賀地区」が 35.1%と割合が高くなっています。

性別では、男性（35.9%）、女性（35.1%）共に「栗賀地区」での居住の割合が最も高くなっています。

年齢別では、60 歳代と 70 歳代は「寺前地区」での居住の割合が最高ですが、その他のすべての世代で「栗賀地区」での居住の割合が最高となっています。

【全体・男女別・年齢別】



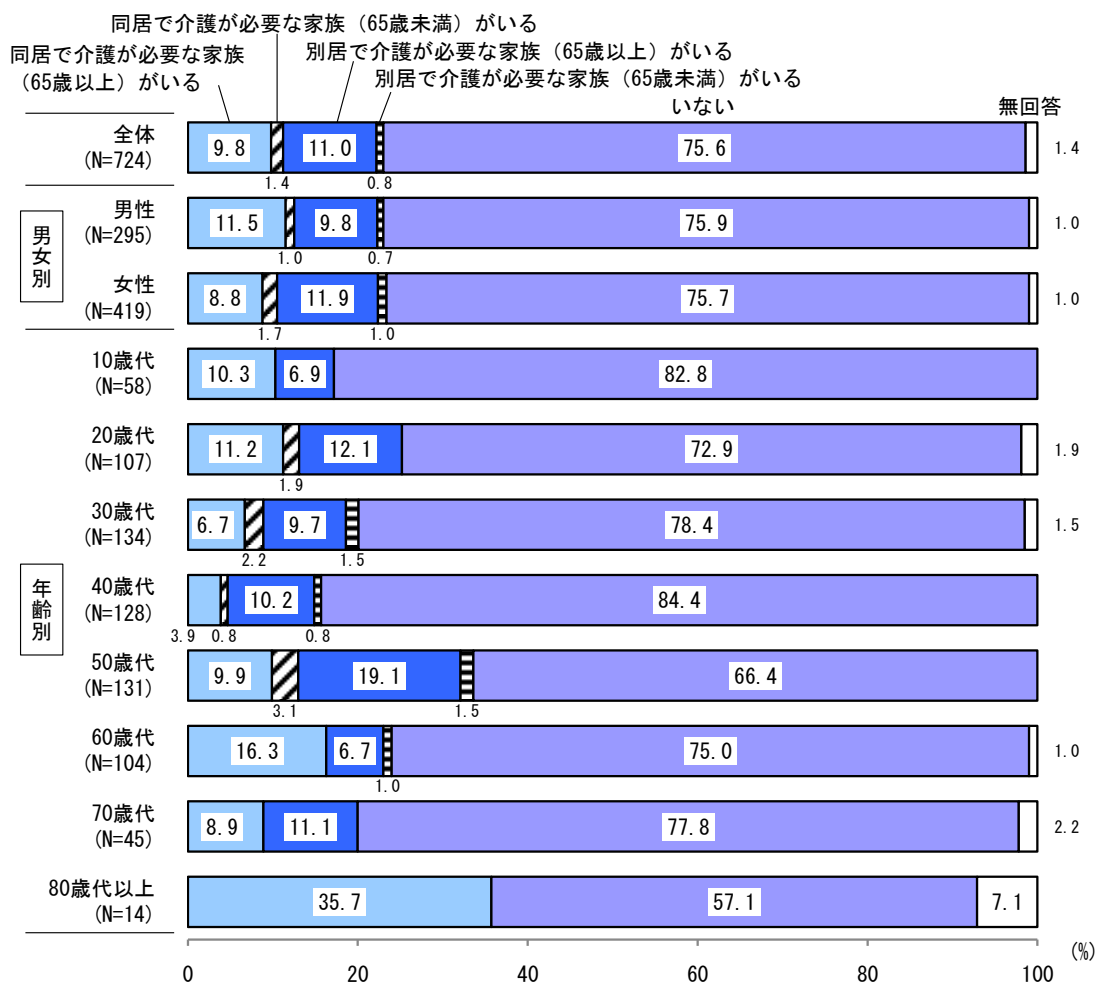
〔 8 〕 介護が必要な家族の有無

問 7 あなたの家族に介護が必要な方がいますか。【○は1つ】

介護が必要な家族の有無では、「いない」と答えた割合が全体で 75.6%を占めています。
性別で見ても、「いない」の割合が男女ともに 7 割を超えています。

年齢別では、10 歳代～80 歳代までの世代で「いない」と答えた人の割合は、5 割～8 割の間で推移しています。

【全体・男女別・年齢別】



2 男女平等・性別による役割分担について

〔1〕「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について

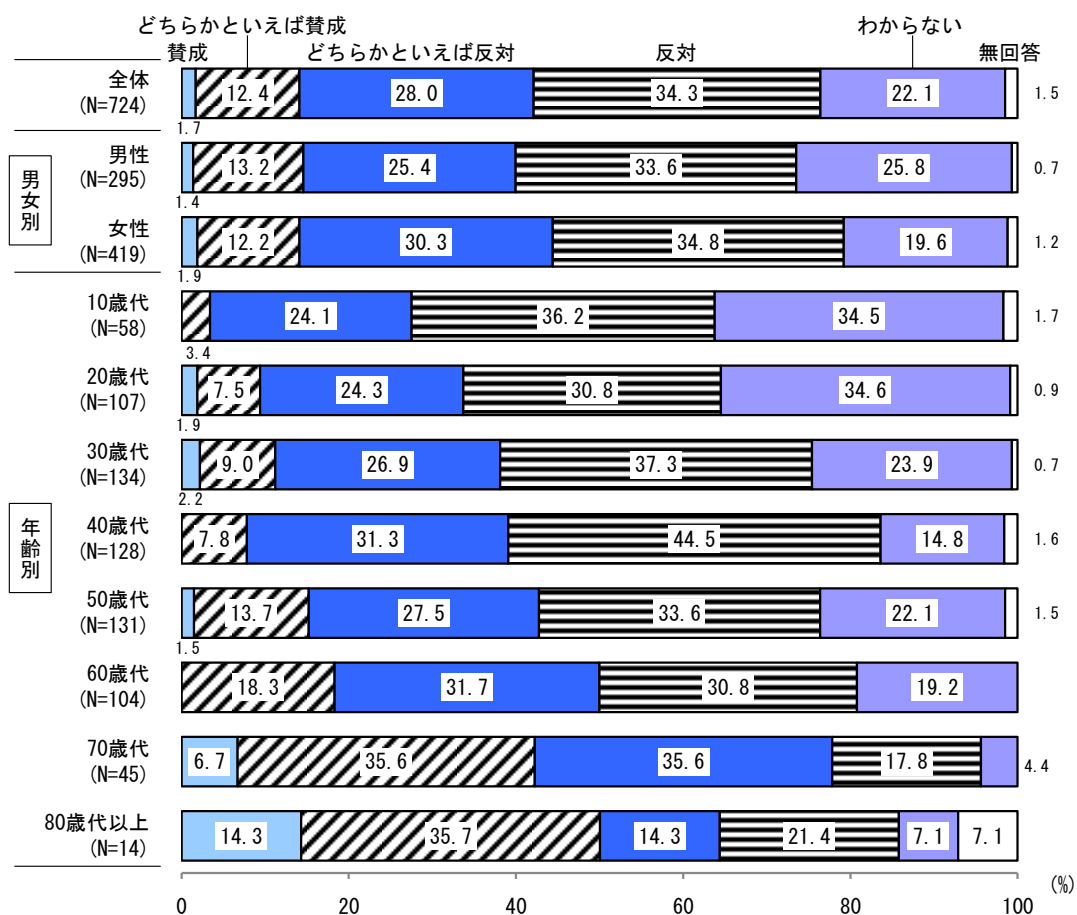
問 8 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、あなたはどのようにお考えですか。【○は1つ】

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に対して、全体的に「反対」の割合が最も高くなっています。

また、性別で見ても、「反対」の割合が男性（33.6%）と女性（34.8%）共に最も高くなっています。

年齢別で見ると、10歳代～60歳代までで「反対」の割合が30%以上となっていますが、70歳代と80歳代では「賛成」「どちらかといえば賛成」の割合が高まっています。

【全体・男女別・年齢別】



【拡大集計】

	調査数	賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対	わからない	無回答
R2調査(拡大集計なし)	724	1.7	12.4	28.0	34.3	22.1	1.5
拡大集計①(人口比)	1,172	1.6	13.1	27.9	34.3	22.1	0.9
拡大集計②(H27調査比)	2,797	2.1	17.6	29.5	31.9	18.1	0.9
H27調査	525	7.4	36.2	20.4	14.9	12.8	8.4

【目標値】

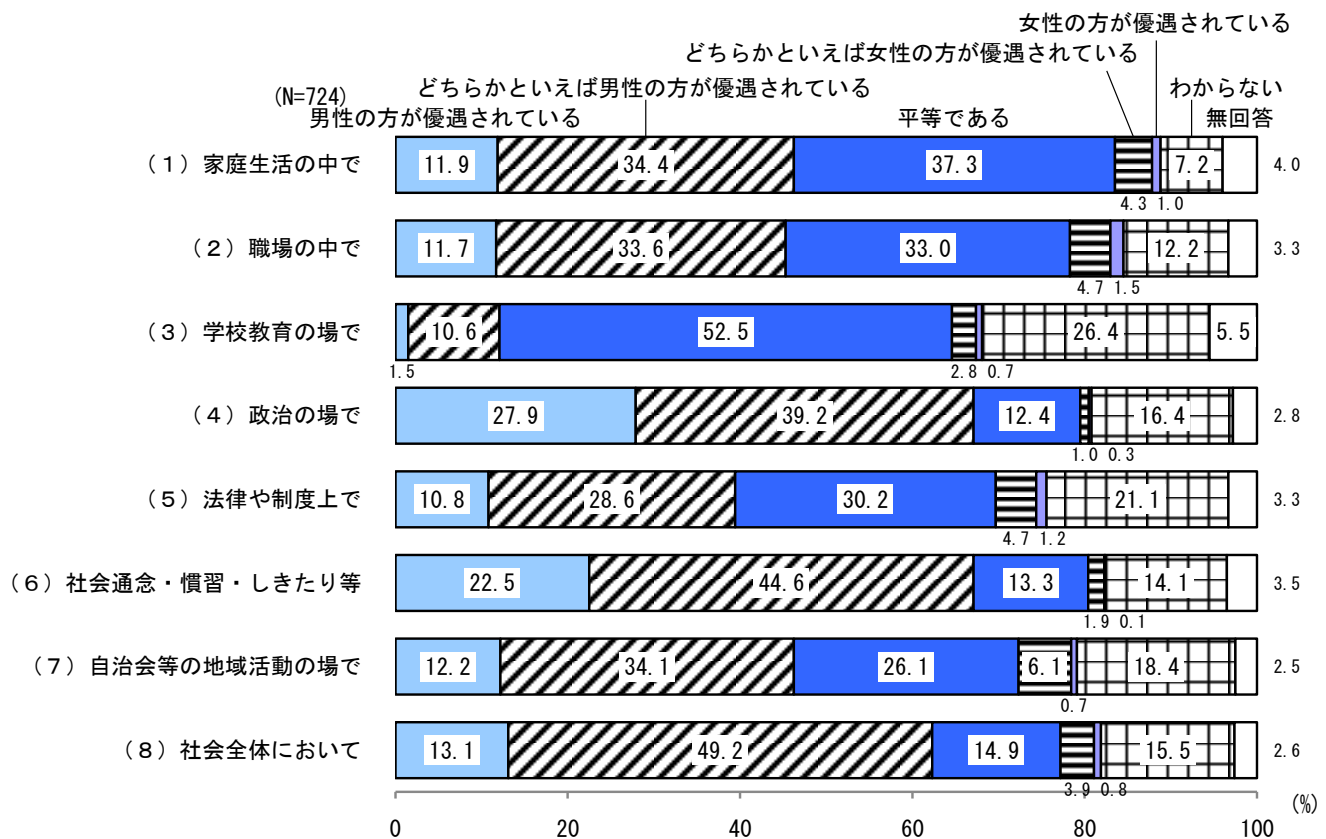
指標	平成 26 年度 実績値	平成 31 年度 目標値	令和2年度 実績値
「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方に同感しない住民意識の割合	35.3%	45.0%	62.3% 62.2% 61.4%

〔２〕男女の地位は平等になっていると思うか

問 9 あなたは、次の分野で男女の地位は平等になっていると思いますか。【それぞれに1つずつ○】

男女の地位の平等について、「(3) 学校教育の場で」を除き、ほぼすべての項目で男性優位の割合が高くなっています。

【全体】



（１） 家庭生活の中で

「（１）家庭生活の中で」の項目について、全体としては平等の割合（37.3%）が最高となっています。

しかし、性別で見ると、平等との見方をする男性が 48.5%となるのに対し、女性は 29.8%と男女間での平等の認識に差が出ています。

年齢別では、「平等である」の割合が 10 歳代～30 歳代の世代で 4 割以上となるのに対し、40 歳代～80 歳代以上では、男性優位と見る割合が高まる傾向にあります。

【全体・男女別・年齢別】

		N	男性の方が優遇さ	男性の方が優遇さ	平等である	女性の方が優遇さ	女性の方が優遇さ	わからない	無回答
全体		724	11.9	34.4	37.3	4.3	1.0	7.2	4.0
男女別	男性	295	7.1	29.5	48.5	5.4	1.0	5.4	3.1
	女性	419	15.5	38.4	29.8	3.3	1.0	8.1	3.8
年齢別	10歳代	58	5.2	25.9	44.8	6.9	1.7	13.8	1.7
	20歳代	107	6.5	24.3	49.5	5.6	0.9	11.2	1.9
	30歳代	134	11.2	33.6	40.3	3.0	0.7	8.2	3.0
	40歳代	128	14.1	39.1	33.6	3.9	0.0	5.5	3.9
	50歳代	131	18.3	40.5	26.7	5.3	2.3	3.8	3.1
	60歳代	104	11.5	35.6	39.4	1.9	1.0	6.7	3.8
	70歳代	45	6.7	40.0	37.8	6.7	0.0	2.2	6.7
	80歳代以上	14	28.6	35.7	7.1	0.0	0.0	7.1	21.4

【拡大集計】

	調査数	男性の方が優遇されて	男性の方が優遇されて	平等である	女性の方が優遇されて	女性の方が優遇されて	わからない	無回答
R2調査(拡大集計なし)	724	11.9	34.4	37.3	4.3	1.0	7.2	4.0
拡大集計①(人口比)	1,172	11.6	34.3	38.7	4.3	1.0	6.6	3.5
拡大集計②(H27調査比)	2,797	12.6	36.3	36.2	3.9	0.9	5.7	4.3
H27調査	525	5.5	41.3	40.8	3.0	1.5	5.1	2.7

【目標値】

指標	平成 26 年度 実績値	平成 31 年度 目標値	令和2年度 実績値
家庭の中で見て、男女の地位が「平等である」と思う住民意識の割合	40.8%	50.0%	37.3% 38.7% 36.2%

(2) 職場の中で

「(2) 職場の中で」では、全体として「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合(33.6%)が最高となっています。

性別で見ると、男性の37.6%が平等とみなしていますが、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」と答えた女性の割合が最高となっていることから、男女間で認識の差が出ています。

年齢別では、10歳代～40歳代で「平等である」の割合が高まる傾向があるのに対し、50歳代～70歳代で男性優位の割合が高まっています。

【全体・男女別・年齢別】

		N	男性の方が優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている	わからない	無回答
全体		724	11.7	33.6	33.0	4.7	1.5	12.2	3.3
男女別	男性	295	7.8	33.2	37.6	7.8	2.0	9.5	2.0
	女性	419	14.6	34.1	30.3	2.6	1.2	13.8	3.3
年齢別	10歳代	58	6.9	24.1	34.5	1.7	0.0	31.0	1.7
	20歳代	107	5.6	28.0	33.6	12.1	1.9	15.0	3.7
	30歳代	134	15.7	33.6	32.8	4.5	2.2	10.4	0.7
	40歳代	128	14.8	36.7	39.1	0.8	0.8	6.3	1.6
	50歳代	131	16.0	35.1	29.8	6.9	1.5	8.4	2.3
	60歳代	104	8.7	39.4	31.7	3.8	1.9	9.6	4.8
	70歳代	45	8.9	40.0	26.7	0.0	2.2	15.6	6.7
	80歳代以上	14	7.1	14.3	35.7	0.0	0.0	28.6	14.3

【拡大集計】

	調査数	男性の方が優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が優遇されている	わからない	無回答
R2調査(拡大集計なし)	724	11.7	33.6	33.0	4.7	1.5	12.2	3.3
拡大集計①(人口比)	1,172	11.2	33.7	34.0	5.0	1.6	11.7	2.8
拡大集計②(H27調査比)	2,797	10.9	35.8	32.7	3.8	1.7	11.4	3.8
H27調査	525	6.9	38.5	29.1	4.2	0.5	12.0	8.8

【目標値】

指標	平成26年度 実績値	平成31年度 目標値	令和2年度 実績値
職場の中で見て、男女の地位が「平等である」と思う住民意識の割合	29.1%	35.0%	33.0% 34.0% 32.7%

(3) 学校教育の場で

「(3) 学校教育の場で」では、全体・性別・年齢別のすべてで「平等である」の割合が最も高くなっています。

【全体・男女別・年齢別】

(%)

		N	男性 の方 が優 遇さ る	男性 の方 が優 遇さ る	ど ち か と い え ば	平 等 で あ る	女 性 の方 が優 遇さ る	女 性 の方 が優 遇さ る	わ か ら な い	無 回 答
全体		724	1.5	10.6	52.5		2.8	0.7	26.4	5.5
男女別	男性	295	1.0	7.8	58.3		4.7	1.4	23.1	3.7
	女性	419	1.9	12.6	48.9		1.4	0.2	28.9	6.0
年齢別	10歳代	58	0.0	15.5	63.8		3.4	3.4	12.1	1.7
	20歳代	107	0.9	8.4	57.9		5.6	0.0	25.2	1.9
	30歳代	134	3.0	11.2	47.8		3.7	0.7	31.3	2.2
	40歳代	128	0.0	9.4	58.6		1.6	1.6	21.1	7.8
	50歳代	131	3.1	11.5	45.0		3.8	0.0	31.3	5.3
	60歳代	104	1.9	9.6	52.9		0.0	0.0	27.9	7.7
	70歳代	45	0.0	15.6	48.9		0.0	0.0	26.7	8.9
	80歳代以上	14	0.0	0.0	42.9		0.0	0.0	42.9	14.3

(4) 政治の場で

「(4) 政治の場で」では、全体・性別・年齢別のほぼすべてで男性優位との見方が強まっています。

【全体・男女別・年齢別】

(%)

		N	男性 の方 が優 遇さ	男性 の方 が優 遇さ	ど ち か と い え ば	平 等 で あ る	女 性 の方 が優 遇さ	女 性 の方 が優 遇さ	わ か ら な い	無 回 答
全体		724	27.9	39.2	12.4	1.0	0.3	16.4	2.8	
男女別	男性	295	17.6	41.7	18.6	1.7	0.7	18.0	1.7	
	女性	419	34.8	38.2	8.4	0.5	0.0	15.5	2.6	
年齢別	10歳代	58	22.4	36.2	19.0	0.0	0.0	22.4	0.0	
	20歳代	107	16.8	39.3	15.0	0.0	0.0	28.0	0.9	
	30歳代	134	38.8	36.6	9.7	1.5	0.7	12.7	0.0	
	40歳代	128	36.7	40.6	7.0	0.0	0.0	14.1	1.6	
	50歳代	131	27.5	39.7	15.3	2.3	0.8	10.7	3.8	
	60歳代	104	27.9	40.4	12.5	1.0	0.0	15.4	2.9	
	70歳代	45	13.3	53.3	11.1	0.0	0.0	13.3	8.9	
	80歳代以上	14	7.1	14.3	21.4	7.1	0.0	35.7	14.3	

（５） 法律や制度上で

「（５）法律や制度上で」では、全体として「平等である」の割合が30.2%と最も高くなっています。

性別で見ると、男性の39.3%が平等とみなしていますが、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」と答えた女性の割合が最高となっていることから、男女間で認識の差が出ています。

年齢別では、10歳代～80歳代以上の多くの世代で「平等である」と答えた割合が最も高くなっています。

【全体・男女別・年齢別】

		N	男性の方が優遇さ	男性の方が優遇さ	どちらかともいえない	平等である	女性の方が優遇さ	女性の方が優遇さ	わからない	無回答
全体		724	10.8	28.6	30.2	4.7	1.2	21.1	3.3	
男女別	男性	295	4.1	26.8	39.3	7.1	2.0	18.0	2.7	
	女性	419	15.3	30.3	24.3	2.9	0.7	23.6	2.9	
年齢別	10歳代	58	3.4	25.9	34.5	10.3	1.7	24.1	0.0	
	20歳代	107	5.6	22.4	28.0	8.4	2.8	31.8	0.9	
	30歳代	134	13.4	31.3	25.4	6.7	1.5	21.6	0.0	
	40歳代	128	16.4	32.0	29.7	1.6	2.3	15.6	2.3	
	50歳代	131	15.3	27.5	32.1	4.6	0.0	16.8	3.8	
	60歳代	104	7.7	31.7	35.6	1.9	0.0	17.3	5.8	
	70歳代	45	6.7	33.3	33.3	0.0	0.0	17.8	8.9	
	80歳代以上	14	0.0	7.1	21.4	0.0	0.0	57.1	14.3	

（６） 社会通念・慣習・しきたり等

「（６）社会通念・慣習・しきたり等」では、全体・性別・年齢別のすべての世代で男性優位との見方が強まっています。

【全体・男女別・年齢別】

		N	男性の方が優遇さ	男性の方が優遇さ	どちらかともいえない	平等である	女性の方が優遇さ	女性の方が優遇さ	わからない	無回答
全体		724	22.5	44.6	13.3	1.9	0.1	14.1	3.5	
男女別	男性	295	14.6	46.1	19.3	3.1	0.0	14.2	2.7	
	女性	419	28.4	43.7	9.3	1.2	0.2	14.1	3.1	
年齢別	10歳代	58	10.3	41.4	24.1	1.7	0.0	22.4	0.0	
	20歳代	107	17.8	28.0	20.6	2.8	0.9	28.0	1.9	
	30歳代	134	30.6	41.8	10.4	2.2	0.0	13.4	1.5	
	40歳代	128	25.8	50.8	8.6	1.6	0.0	11.7	1.6	
	50歳代	131	29.8	48.9	10.7	2.3	0.0	5.3	3.1	
	60歳代	104	18.3	51.0	11.5	1.0	0.0	11.5	6.7	
	70歳代	45	13.3	55.6	17.8	0.0	0.0	6.7	6.7	
	80歳代以上	14	0.0	42.9	7.1	7.1	0.0	28.6	14.3	

(7) 自治会等の地域活動の場で

「(7) 自治会等の地域活動の場で」では、全体として「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合が 34.1%と最も高くなっています。

性別で見ると、男性の 37.6%が平等とみなしていますが、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」と答えた女性の割合が最高となっていることから、男女間で認識の差が出ています。

年齢別では、多くの世代で男性優位との見方が強まっています。

【全体・男女別・年齢別】

(%)

	N	男性 優遇さ れている	男性 優遇さ れている	男性 優遇さ れている	男性 優遇さ れている	男性 優遇さ れている	男性 優遇さ れている	男性 優遇さ れている	男性 優遇さ れている
全体	724	12.2	34.1	26.1	6.1	0.7	18.4	2.5	
男女別									
男性	295	8.8	30.2	37.6	7.1	1.4	13.6	1.4	
女性	419	14.3	37.5	18.4	5.5	0.2	21.7	2.4	
年齢別									
10歳代	58	5.2	24.1	44.8	3.4	0.0	22.4	0.0	
20歳代	107	8.4	19.6	30.8	2.8	0.9	36.4	0.9	
30歳代	134	17.9	36.6	18.7	3.7	2.2	20.9	0.0	
40歳代	128	11.7	38.3	23.4	7.8	0.8	16.4	1.6	
50歳代	131	14.5	42.7	22.1	10.7	0.0	7.6	2.3	
60歳代	104	9.6	35.6	27.9	7.7	0.0	15.4	3.8	
70歳代	45	17.8	33.3	35.6	2.2	0.0	4.4	6.7	
80歳代以上	14	0.0	42.9	7.1	7.1	0.0	28.6	14.3	

【拡大集計】

	調査数	男性 優遇さ れている	男性 優遇さ れている	男性 優遇さ れている	男性 優遇さ れている	男性 優遇さ れている	男性 優遇さ れている	男性 優遇さ れている	男性 優遇さ れている
R2調査(拡大集計なし)	724	12.2	34.1	26.1	6.1	0.7	18.4	2.5	
拡大集計①(人口比)	1,172	11.5	34.1	28.0	6.5	0.7	17.1	2.1	
拡大集計②(H27調査比)	2,797	12.0	36.0	27.1	6.9	0.4	14.5	3.2	
H27調査	525	7.0	39.8	31.4	4.4	0.6	11.4	5.3	

【目標値】

指標	平成 26 年度 実績値	平成 31 年度 目標値	令和2年度 実績値
自治会等の地域活動の場でみて、男女の 地位が「平等である」と思う住民意識の割 合	31.4%	40.0%	26.1% 28.0% 27.1%

(8) 社会全体において

「(8) 社会全体において」では、全体・性別・年齢別のすべてで男性優位との見方が強まっています。

【全体・男女別・年齢別】

		N	男性の方が優遇されている	どちらが優遇されているかわからない	平等である	どちらが優遇されているかわからない	女性の方が優遇されている	わからない	無回答
全体		724	13.1	49.2	14.9	3.9	0.8	15.5	2.6
男女別	男性	295	7.8	47.8	21.7	5.8	2.0	12.9	2.0
	女性	419	16.9	50.8	10.5	2.4	0.0	17.2	2.1
年齢別	10歳代	58	6.9	39.7	22.4	5.2	1.7	24.1	0.0
	20歳代	107	7.5	31.8	26.2	3.7	0.0	29.0	1.9
	30歳代	134	14.9	51.5	9.0	5.2	1.5	17.9	0.0
	40歳代	128	13.3	62.5	10.2	3.1	0.8	8.6	1.6
	50歳代	131	19.8	48.9	13.7	4.6	1.5	8.4	3.1
	60歳代	104	15.4	51.9	14.4	2.9	0.0	12.5	2.9
	70歳代	45	8.9	62.2	15.6	2.2	0.0	4.4	6.7
	80歳代以上	14	0.0	28.6	14.3	0.0	0.0	42.9	14.3

【拡大集計】

	調査数	男性の方が優遇されている	どちらが優遇されているかわからない	平等である	どちらが優遇されているかわからない	女性の方が優遇されている	わからない	無回答
R2調査(拡大集計なし)	724	13.1	49.2	14.9	3.9	0.8	15.5	2.6
拡大集計①(人口比)	1,172	12.6	49.4	16.2	3.9	1.0	14.6	2.3
拡大集計②(H27調査比)	2,797	13.6	51.8	14.8	3.3	0.6	12.7	3.1
H27調査	525	6.1	54.3	17.1	3.4	1.0	13.0	5.1

【目標値】

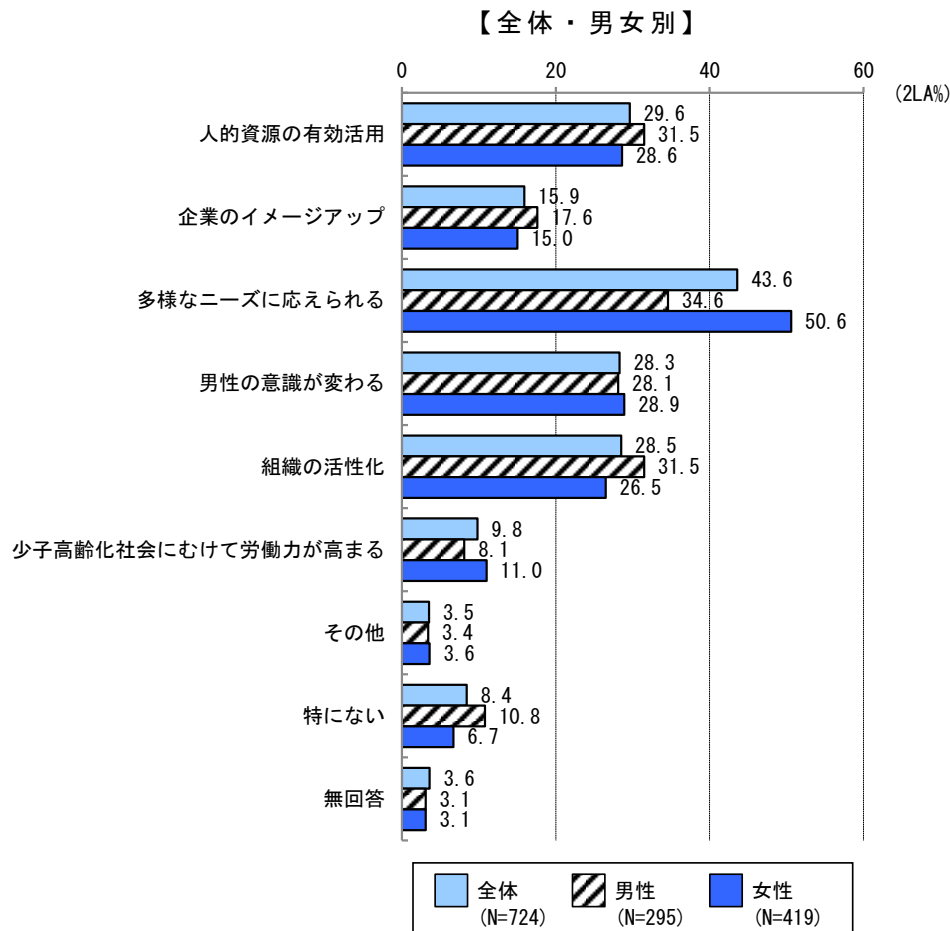
指標	平成 26 年度 実績値	平成 31 年度 目標値	令和2年度 実績値
社会全体でみて、男女の地位が「平等である」と思う住民意識の割合	17.1%	25.0%	14.9% 16.2% 14.8%

〔3〕女性従業員を管理職として登用するメリット

問10 あなたは、女性従業員を管理職として登用するメリットとしてどんなこと
があると思いますか。【○は2つ】

女性従業員の管理職登用のメリットについて、【全体・男女別】では、「多様なニーズに応えられる」と答えた人の割合が、43.6%（全体）、34.6%（男性）、50.6%（女性）と最も高くなっています。

また、【全体・年齢別】で見ても、多くの世代で「多様なニーズに応えられる」の割合が最も高くなっています。



【全体・年齢別】

		N	人的資源の有効活用	企業のイメージアップ	多様なニーズに応えられる	男性の意識が変わる	組織の活性化	少子高齢化社会にむけて労働力が高まる	その他	特にない	無回答
全体		724	29.6	15.9	43.6	28.3	28.5	9.8	3.5	8.4	3.6
年齢別	10歳代	58	19.0	17.2	41.4	20.7	27.6	10.3	3.4	13.8	8.6
	20歳代	107	37.4	21.5	41.1	22.4	27.1	7.5	1.9	9.3	0.9
	30歳代	134	26.9	12.7	50.7	28.4	27.6	8.2	2.2	13.4	0.7
	40歳代	128	33.6	12.5	53.9	29.7	25.0	10.9	4.7	2.3	4.7
	50歳代	131	31.3	19.1	35.1	32.8	30.5	8.4	4.6	8.4	2.3
	60歳代	104	31.7	18.3	44.2	30.8	29.8	7.7	3.8	4.8	2.9
	70歳代	45	15.6	8.9	35.6	31.1	42.2	26.7	2.2	6.7	4.4
	80歳代以上	14	21.4	7.1	21.4	28.6	14.3	7.1	7.1	21.4	14.3

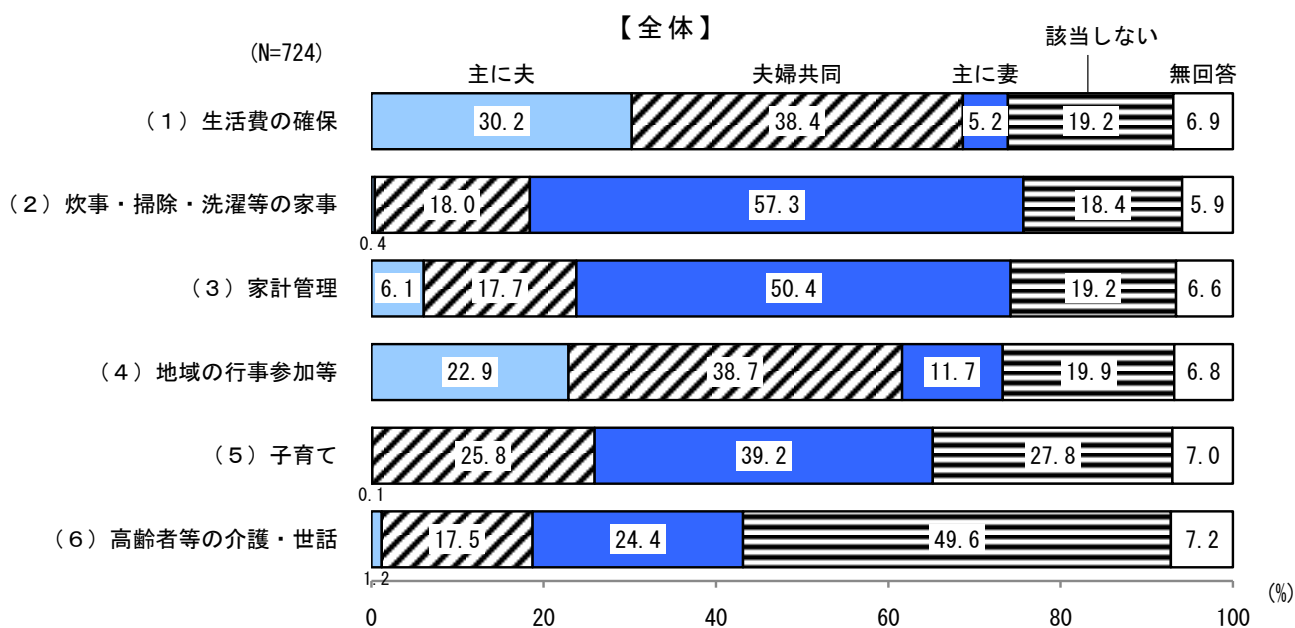
3 家庭生活について

〔1〕家事・仕事等の役割分担

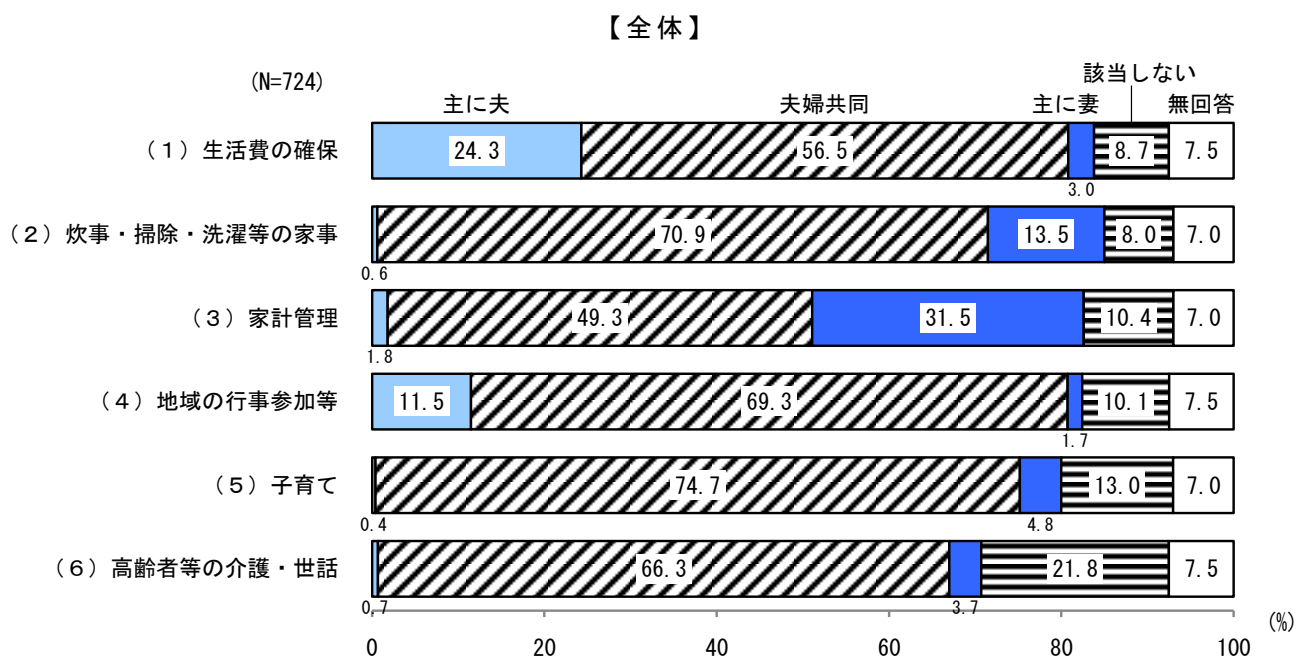
問11 日常的な家事・仕事等の役割分担についてお伺いします。「A 現状」と「B 理想」の両方についてお答えください。【それぞれに1つつ〇】

家事・仕事等の役割分担では、全体の理想（B）としては、すべての項目で「夫婦共同」の比重が大きいことが分かりますが、現状（A）には、「（2）炊事・掃除・洗濯等の家事」、「（3）家計管理」など多くの項目で、「主に妻」の割合が大きくなっています。

A 現状



B 理想



(1) 生活費の確保

「(1) 生活費の確保」について、理想 (B) としては、全体・性別・年齢別のすべてで「夫婦共同」の割合が最も高くなっており、現状 (A) でも「夫婦共同」の割合が最も高いところが多くなっています。

【全体・男女別・年齢別】

		< A現状> (%)						< B理想> (%)				
		N	主に夫	夫婦共同	主に妻	該当しない	無回答	主に夫	夫婦共同	主に妻	該当しない	無回答
全体		724	30.2	38.4	5.2	19.2	6.9	24.3	56.5	3.0	8.7	7.5
男女別	男性	295	28.8	41.7	4.4	16.9	8.1	20.0	58.3	3.1	9.8	8.8
	女性	419	31.7	36.0	6.0	20.5	5.7	27.7	55.4	3.1	7.6	6.2
年齢別	10歳代	58	10.3	37.9	5.2	43.1	3.4	13.8	50.0	5.2	24.1	6.9
	20歳代	107	15.9	27.1	4.7	39.3	13.1	18.7	56.1	1.9	11.2	12.1
	30歳代	134	32.1	36.6	4.5	20.1	6.7	24.6	58.2	0.7	11.9	4.5
	40歳代	128	31.3	49.2	2.3	13.3	3.9	23.4	66.4	2.3	4.7	3.1
	50歳代	131	38.9	39.7	6.9	11.5	3.1	28.2	57.3	3.8	6.1	4.6
	60歳代	104	40.4	40.4	6.7	4.8	7.7	33.7	55.8	2.9	1.9	5.8
	70歳代	45	37.8	31.1	4.4	15.6	11.1	22.2	35.6	6.7	11.1	24.4
	80歳代以上	14	21.4	35.7	21.4	7.1	14.3	14.3	50.0	14.3	0.0	21.4

(2) 炊事・掃除・洗濯等の家事

「(2) 炊事・掃除・洗濯等の家事」について、理想 (B) としては、全体・性別・年齢別のすべてで「夫婦共同」の割合が最も高くなっていますが、現状 (A) では、全体・性別・年齢別の多くで「主に妻」と答えた人の割合が最も高くなっています。

【全体・男女別・年齢別】

		< A現状> (%)						< B理想> (%)				
		N	主に夫	夫婦共同	主に妻	該当しない	無回答	主に夫	夫婦共同	主に妻	該当しない	無回答
全体		724	0.4	18.0	57.3	18.4	5.9	0.6	70.9	13.5	8.0	7.0
男女別	男性	295	1.0	22.7	51.2	17.3	7.8	0.7	63.7	17.6	9.5	8.5
	女性	419	0.0	14.3	62.3	19.1	4.3	0.5	75.9	11.0	6.9	5.7
年齢別	10歳代	58	0.0	20.7	36.2	39.7	3.4	0.0	65.5	5.2	22.4	6.9
	20歳代	107	0.9	12.1	34.6	41.1	11.2	0.0	63.6	12.1	11.2	13.1
	30歳代	134	0.0	22.4	51.5	19.4	6.7	0.7	75.4	9.0	11.2	3.7
	40歳代	128	0.0	21.1	63.3	13.3	2.3	0.8	78.1	13.3	4.7	3.1
	50歳代	131	0.0	16.0	70.2	9.9	3.8	0.8	74.8	13.7	5.3	5.3
	60歳代	104	1.9	17.3	70.2	4.8	5.8	0.0	74.0	20.2	1.9	3.8
	70歳代	45	0.0	17.8	64.4	8.9	8.9	2.2	53.3	20.0	4.4	20.0
	80歳代以上	14	0.0	0.0	85.7	7.1	7.1	0.0	35.7	35.7	7.1	21.4

(3) 家計管理

「(3) 家計管理」について、理想 (B) としては、全体・性別・年齢別のほぼすべてで「夫婦共同」の割合が最も高くなっていますが、現状 (A) では、全体・性別・年齢別のほぼすべてで「主に妻」と答えた人の割合が最も高くなっています。

【全体・男女別・年齢別】

		<A現状> (%)						<B理想> (%)				
		N	主に夫	夫婦共同	主に妻	該当しない	無回答	主に夫	夫婦共同	主に妻	該当しない	無回答
全体		724	6.1	17.7	50.4	19.2	6.6	1.8	49.3	31.5	10.4	7.0
男女別	男性	295	5.4	22.0	46.8	17.3	8.5	2.0	47.1	31.5	10.8	8.5
	女性	419	6.7	14.8	53.0	20.5	5.0	1.7	50.8	31.7	10.0	5.7
年齢別	10歳代	58	0.0	24.1	31.0	41.4	3.4	0.0	51.7	17.2	24.1	6.9
	20歳代	107	4.7	8.4	32.7	42.1	12.1	0.9	41.1	32.7	14.0	11.2
	30歳代	134	5.2	18.7	47.8	21.6	6.7	2.2	50.7	28.4	14.9	3.7
	40歳代	128	6.3	16.4	60.9	13.3	3.1	3.9	50.0	36.7	6.3	3.1
	50歳代	131	8.4	19.1	59.5	9.2	3.8	0.8	61.8	25.2	6.9	5.3
	60歳代	104	7.7	23.1	57.7	5.8	5.8	0.0	47.1	42.3	3.8	6.7
	70歳代	45	11.1	17.8	53.3	8.9	8.9	4.4	40.0	31.1	6.7	17.8
	80歳代以上	14	0.0	14.3	42.9	14.3	28.6	7.1	21.4	35.7	14.3	21.4

(4) 地域の行事参加等

「(4) 地域の行事参加等」について、理想 (B) としては、全体・性別・年齢別のすべてで「夫婦共同」の割合が最も高くなっており、現状 (A) においても、全体・性別・年齢別の多くで「夫婦共同」と答えた人の割合が最も高くなっています。

【全体・男女別・年齢別】

		<A現状> (%)						<B理想> (%)				
		N	主に夫	夫婦共同	主に妻	該当しない	無回答	主に夫	夫婦共同	主に妻	該当しない	無回答
全体		724	22.9	38.7	11.7	19.9	6.8	11.5	69.3	1.7	10.1	7.5
男女別	男性	295	28.5	40.0	6.1	18.0	7.5	9.8	68.5	2.7	10.5	8.5
	女性	419	19.1	38.2	15.5	21.2	6.0	12.6	70.2	1.0	9.8	6.4
年齢別	10歳代	58	12.1	34.5	12.1	37.9	3.4	5.2	60.3	3.4	24.1	6.9
	20歳代	107	9.3	27.1	8.4	43.9	11.2	8.4	63.6	2.8	14.0	11.2
	30歳代	134	27.6	29.1	13.4	22.4	7.5	14.2	65.7	0.7	14.9	4.5
	40歳代	128	21.9	43.8	16.4	14.8	3.1	11.7	76.6	3.1	4.7	3.9
	50歳代	131	29.0	45.0	11.5	9.9	4.6	12.2	73.3	0.8	7.6	6.1
	60歳代	104	30.8	48.1	9.6	5.8	5.8	13.5	77.9	1.0	2.9	4.8
	70歳代	45	24.4	51.1	4.4	11.1	8.9	6.7	66.7	0.0	6.7	20.0
	80歳代以上	14	14.3	28.6	14.3	14.3	28.6	21.4	35.7	0.0	14.3	28.6

（５）子育て

「（５）子育て」について、理想（Ｂ）としては、全体・性別・年齢別のすべてで「夫婦共同」の割合が最も高くなっており、現状（Ａ）では、全体・性別で「主に妻」の割合が最も高く、年齢別においても、半数の世代で「主に妻」の割合が最も高くなっています。

【全体・男女別・年齢別】

		< A現状 > (%)						< B理想 > (%)				
		N	主に夫	夫婦共同	主に妻	該当しない	無回答	主に夫	夫婦共同	主に妻	該当しない	無回答
全体		724	0.1	25.8	39.2	27.8	7.0	0.4	74.7	4.8	13.0	7.0
男女別	男性	295	0.3	29.5	34.9	27.5	7.8	0.7	68.8	8.5	13.9	8.1
	女性	419	0.0	23.6	42.2	27.9	6.2	0.2	79.2	2.4	12.2	6.0
年齢別	10歳代	58	0.0	22.4	34.5	39.7	3.4	1.7	62.1	5.2	24.1	6.9
	20歳代	107	0.0	22.4	19.6	46.7	11.2	0.0	72.0	1.9	15.0	11.2
	30歳代	134	0.7	32.8	32.8	26.9	6.7	0.0	79.1	3.0	14.2	3.7
	40歳代	128	0.0	32.0	49.2	16.4	2.3	1.6	82.0	7.0	6.3	3.1
	50歳代	131	0.0	22.9	51.9	20.6	4.6	0.0	79.4	4.6	10.7	5.3
	60歳代	104	0.0	21.2	51.0	20.2	7.7	0.0	76.0	7.7	11.5	4.8
	70歳代	45	0.0	22.2	24.4	37.8	15.6	0.0	55.6	4.4	17.8	22.2
	80歳代以上	14	0.0	21.4	21.4	35.7	21.4	0.0	57.1	7.1	14.3	21.4

（６）高齢者等の介護・世話

「（６）高齢者等の介護・世話」について、理想（Ｂ）としては、全体・性別・年齢別のすべてで「夫婦共同」の割合が最も高くなっていますが、現状（Ａ）では、全体・性別・年齢別のほぼすべてで、「該当しない」の割合が最も高くなっています。

【全体・男女別・年齢別】

		< A現状 > (%)						< B理想 > (%)				
		N	主に夫	夫婦共同	主に妻	該当しない	無回答	主に夫	夫婦共同	主に妻	該当しない	無回答
全体		724	1.2	17.5	24.4	49.6	7.2	0.7	66.3	3.7	21.8	7.5
男女別	男性	295	1.7	25.4	17.6	47.5	7.8	1.0	62.0	4.7	23.7	8.5
	女性	419	1.0	12.2	29.6	51.1	6.2	0.5	69.9	3.1	20.0	6.4
年齢別	10歳代	58	0.0	22.4	15.5	58.6	3.4	0.0	60.3	3.4	29.3	6.9
	20歳代	107	0.0	17.8	15.0	55.1	12.1	0.0	67.3	1.9	18.7	12.1
	30歳代	134	1.5	11.2	20.1	60.4	6.7	0.7	58.2	2.2	33.6	5.2
	40歳代	128	0.8	10.9	21.9	64.1	2.3	1.6	71.1	3.1	21.1	3.1
	50歳代	131	3.1	22.1	32.8	38.2	3.8	0.8	73.3	5.3	16.0	4.6
	60歳代	104	1.0	24.0	36.5	31.7	6.7	0.0	73.1	4.8	15.4	6.7
	70歳代	45	2.2	24.4	24.4	31.1	17.8	2.2	53.3	8.9	15.6	20.0
	80歳代以上	14	0.0	7.1	35.7	28.6	28.6	0.0	57.1	0.0	21.4	21.4

〔 2 〕 1 日に家事・育児に費やす時間

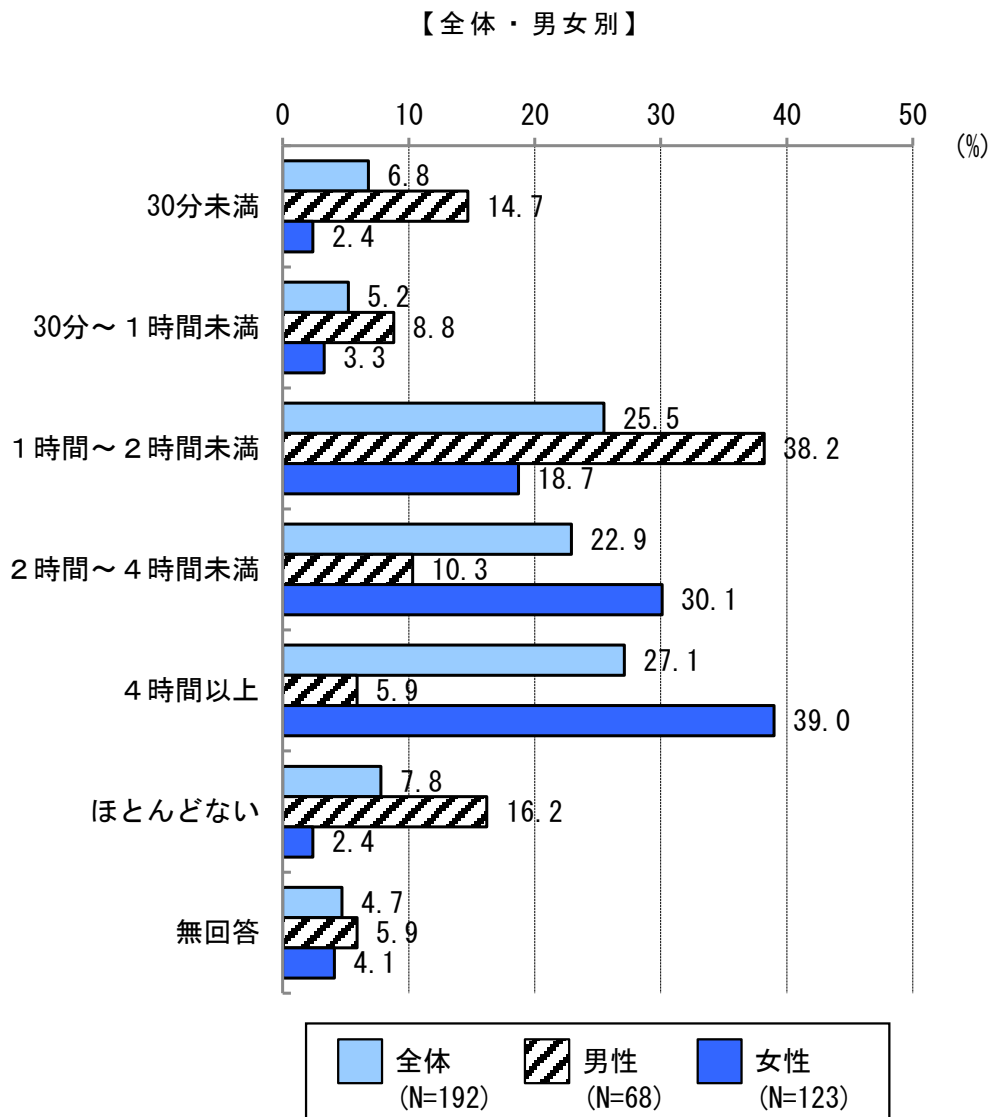
中学生以下の子どもがいる方（問4-2で「乳幼児（小学校入学前）」「小学生」「中学生」と答えた方）のみ

問11-1 あなたが1日に家事・育児（子どもの食事・入浴の世話や送迎等）に費やす時間はどのくらいですか。【○は1つ】

1日に家事・育児に費やす時間について、全体として、「4時間以上」の割合が27.1%と最も高くなっています。

性別においては、費やす時間が長いほど、女性の割合が高まっていくのに対して、男性の場合は、「1時間～2時間未満」をピークとして、割合が減少していく傾向となります。

また、年齢別にみると、20歳代・30歳代をピークとして、40歳代から家事等に費やす時間が減少していくことが分かります。



【全体・年齢別】

		N	3 0 分 未 満	満 3 0 分 ～ 1 時 間 未 満	満 1 時 間 ～ 2 時 間 未 満	満 2 時 間 ～ 4 時 間 未 満	4 時 間 以 上	ほ と ん ど な い	無 回 答
全体		192	6.8	5.2	25.5	22.9	27.1	7.8	4.7
年齢別	10歳代	17	11.8	11.8	0.0	5.9	0.0	52.9	17.6
	20歳代	11	0.0	0.0	18.2	18.2	36.4	18.2	9.1
	30歳代	64	3.1	3.1	25.0	25.0	42.2	0.0	1.6
	40歳代	71	9.9	7.0	28.2	31.0	22.5	0.0	1.4
	50歳代	14	14.3	7.1	28.6	7.1	21.4	21.4	0.0
	60歳代	12	0.0	0.0	41.7	16.7	16.7	8.3	16.7
	70歳代	3	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	33.3
80歳代以上		0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【拡大集計】

	調 査 数	3 0 分 未 満	1 3 時 0 分 分 未 満	2 1 時 時 間 間 未 満	4 2 時 時 間 間 未 満	4 時 間 以 上	ほ と ん ど な い	無 回 答
R2調査(拡大集計なし)	68	14.7	8.8	38.2	10.3	5.9	16.2	5.9
拡大集計①(人口比)	135	15.6	9.1	39.6	8.7	5.3	15.5	6.3
拡大集計②(H27調査比)	236	13.9	7.3	41.5	6.2	6.2	14.6	10.2
H27調査	119	9.2	15.1	16.0	19.3	18.5	5.0	16.8

【目標値】

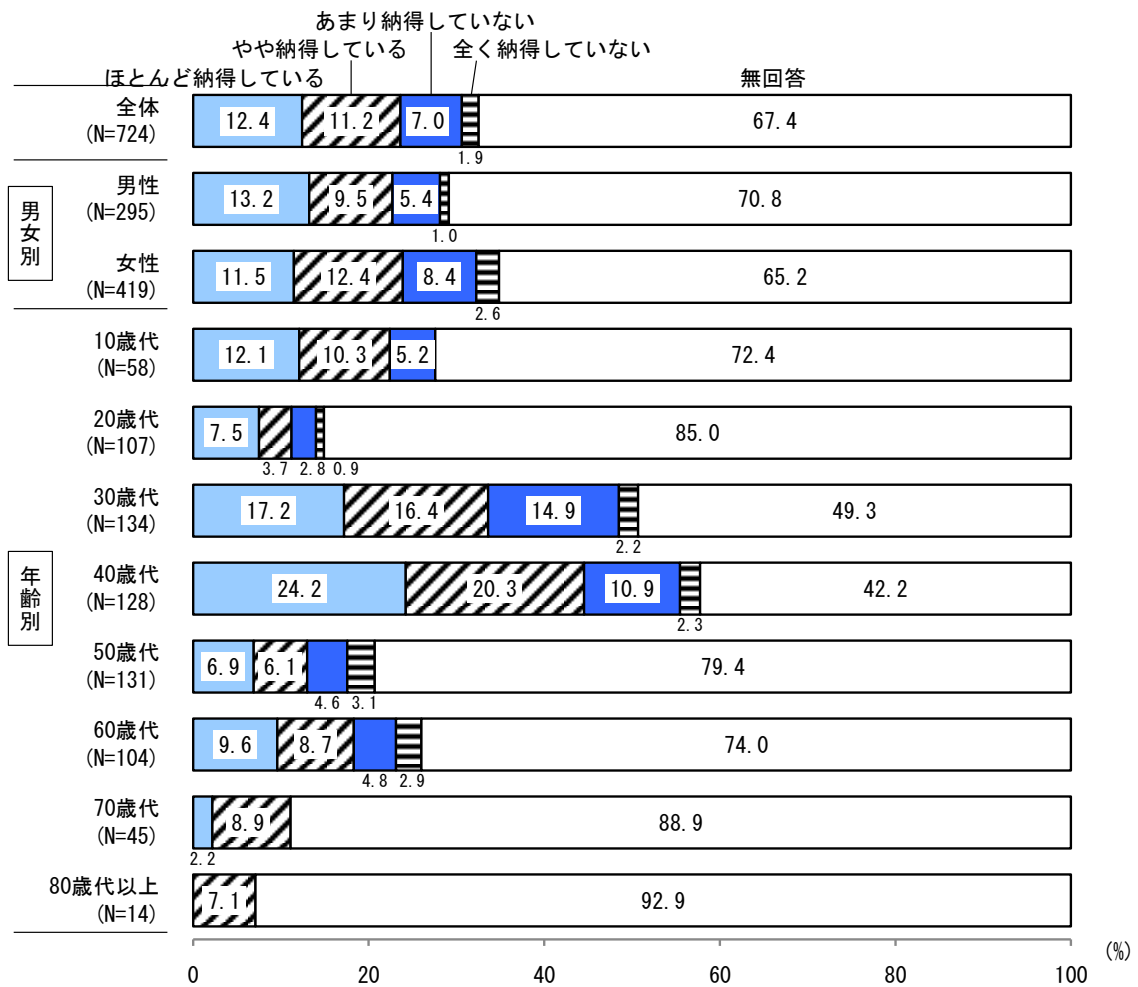
指標	平成 26 年度 実績値	平成 31 年度 目標値	令和2年度 実績値
中学生以下の子どもがいる男性で、1日に家事・育児に費やす時間が1時間未満の人の割合	46.1%	35.0%	23.5% 24.7% 21.2%

〔 3 〕 役割分担に納得しているか

問12 あなたは、問11の役割分担に納得していますか。【○は1つ】

役割分担についての納得度について、全体・性別・年齢別のすべてで納得している人の割合が納得していない人の割合を上回っています。

【全体・男女別・年齢別】



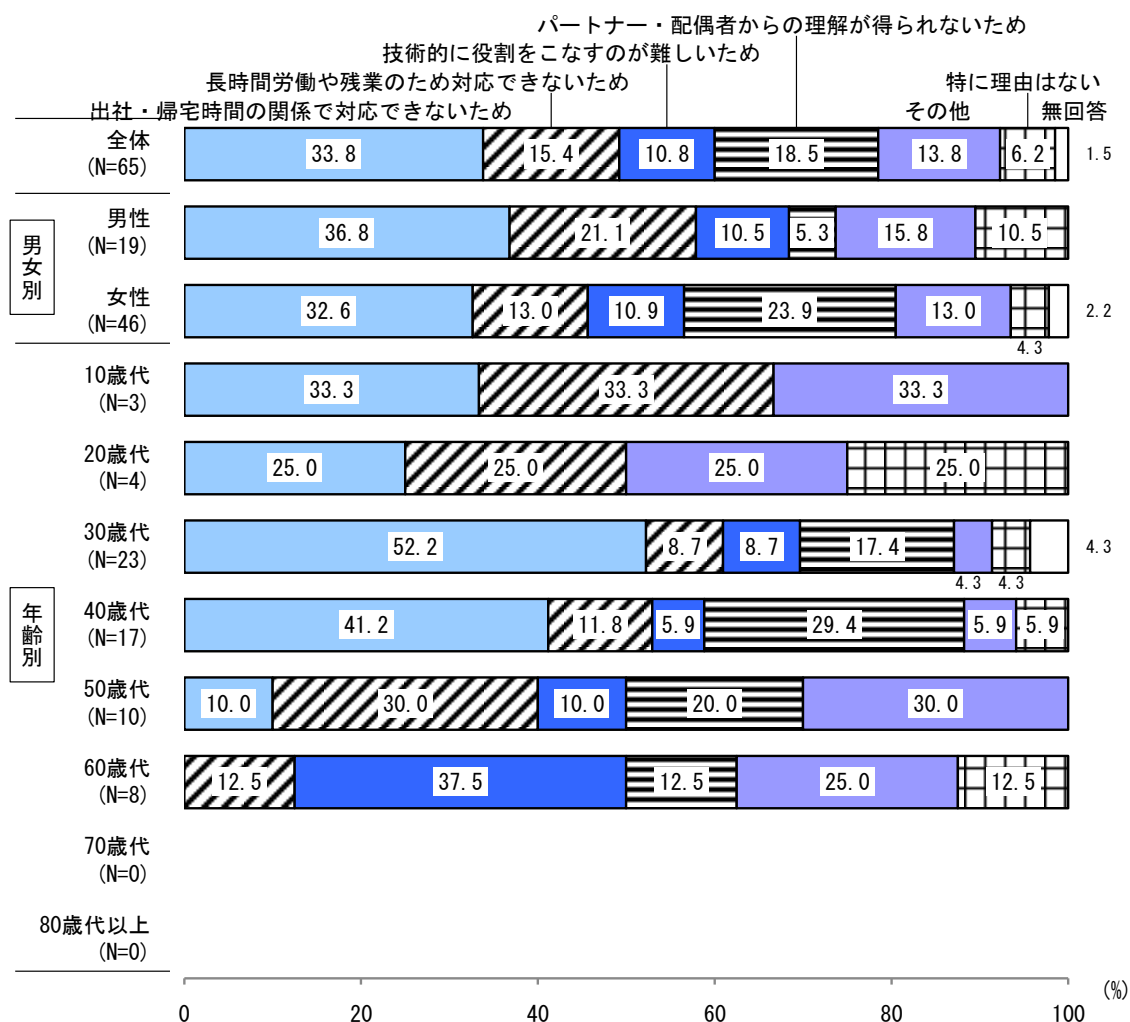
〔４〕 納得する役割分担が困難な理由

問12で、「３．あまり納得していない」又は「４．全く納得していない」と答えた方のみ
問12-1 あなたが納得する役割分担が困難な理由を教えてください。【○は１つ】

納得する役割分担の困難さについて、全体と性別においては、「出社・帰宅時間の関係で対応できないため」の割合が最も高くなっています。

年齢別では、30歳代から50歳代にかけて「出社・帰宅時間の関係で対応できないため」の割合が激減し、それに代わって、「長時間労働や残業のため対応できないため」の割合が増加しています。

【全体・男女別・年齢別】



4 地域生活について

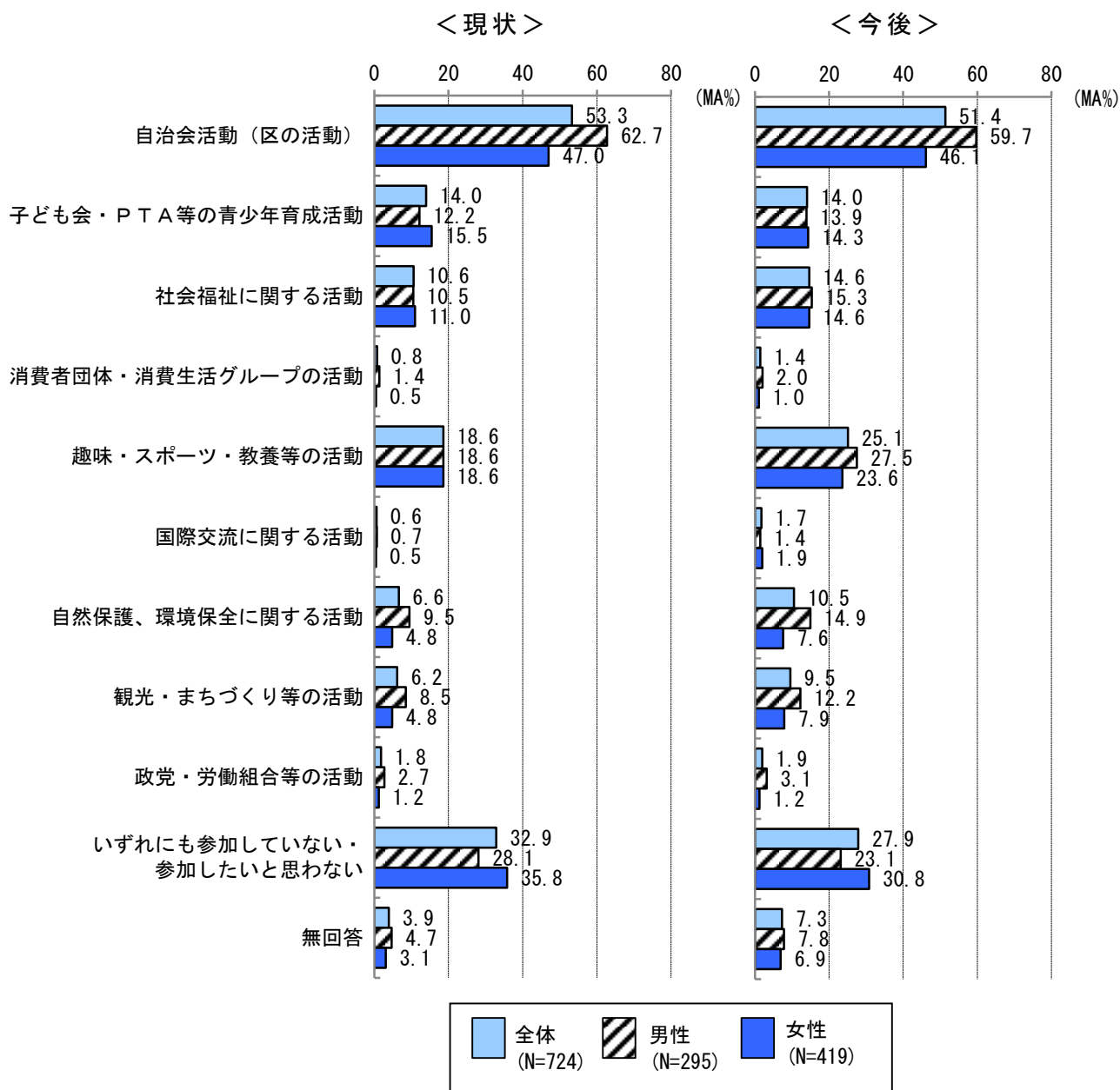
〔１〕 参加したことがある地域活動

問13 ここ１年ほどの間であなたが参加した地域活動にはどのようなものがありますか。【○はそれぞれあてはまるものすべて】

参加したことがある地域活動について、【全体・男女別】において、＜現状＞・＜今後＞ともに「自治会活動（区の活動）」への参加の割合が最も高くなっています。

【全体・年齢別】においても、全体や多くの世代で＜現状＞・＜今後＞ともに「自治会活動（区の活動）」への参加の割合が最も高くなっています。

【全体・男女別】



< 現状 >

【全体・年齢別】

(MA%)													
		N	自治会活動（区の活動）	子ども会・PTA活動	社会福祉に関する活動	生活者グループ・消費生活費	趣味・スポーツ・教養等の活動	国際交流に関する活動	自然保護、環境保全に関する活動	観光・まちづくりの活動	政党・労働組合等の活動	たいてい思わぬ参加し	無回答
全体		724	53.3	14.0	10.6	0.8	18.6	0.6	6.6	6.2	1.8	32.9	3.9
年齢別	10歳代	58	13.8	5.2	10.3	0.0	15.5	0.0	0.0	0.0	0.0	63.8	5.2
	20歳代	107	14.0	0.0	2.8	0.0	7.5	0.0	1.9	1.9	3.7	72.9	4.7
	30歳代	134	42.5	27.6	7.5	0.0	17.2	0.0	3.0	5.2	0.0	41.8	3.0
	40歳代	128	63.3	35.9	7.0	0.8	21.9	3.1	7.8	8.6	3.9	20.3	3.1
	50歳代	131	77.9	7.6	9.9	0.8	14.5	0.0	3.8	8.4	2.3	12.2	2.3
	60歳代	104	81.7	2.9	18.3	1.0	20.2	0.0	15.4	6.7	1.0	9.6	6.7
	70歳代	45	71.1	4.4	37.8	6.7	51.1	0.0	22.2	15.6	0.0	15.6	2.2
80歳代以上		14	21.4	0.0	0.0	0.0	21.4	0.0	7.1	0.0	0.0	57.1	7.1

< 今後 >

【全体・年齢別】

														(MA%)
		N	自治会活動（区の活動）	子ども会・PTA活動	社会福祉に関する活動	生活者グループ・消費生活費	趣味・スポーツ・教養等の活動	国際交流に関する活動	自然保護、環境保全に関する活動	観光・まちづくりの活動	政党・労働組合等の活動	たいてい思わぬ参加し	いずれにも参加しない	無回答
全体		724	51.4	14.0	14.6	1.4	25.1	1.7	10.5	9.5	1.9	27.9	7.3	
年齢別	10歳代	58	20.7	8.6	13.8	0.0	32.8	8.6	8.6	5.2	0.0	44.8	6.9	
	20歳代	107	20.6	2.8	6.5	0.0	15.0	0.9	7.5	6.5	2.8	54.2	9.3	
	30歳代	134	41.8	32.1	9.7	0.7	19.4	1.5	5.2	6.7	0.7	38.8	6.7	
	40歳代	128	62.5	32.0	10.2	0.8	27.3	2.3	10.2	10.9	3.9	18.0	4.7	
	50歳代	131	67.9	3.1	13.7	0.8	22.9	0.0	6.1	12.2	2.3	18.3	5.3	
	60歳代	104	77.9	3.8	27.9	2.9	30.8	1.0	21.2	12.5	1.9	6.7	6.7	
	70歳代	45	57.8	2.2	40.0	8.9	44.4	0.0	26.7	15.6	0.0	15.6	11.1	
	80歳代以上	14	21.4	0.0	0.0	0.0	21.4	0.0	7.1	0.0	0.0	35.7	35.7	

〔２〕参加しなかった理由

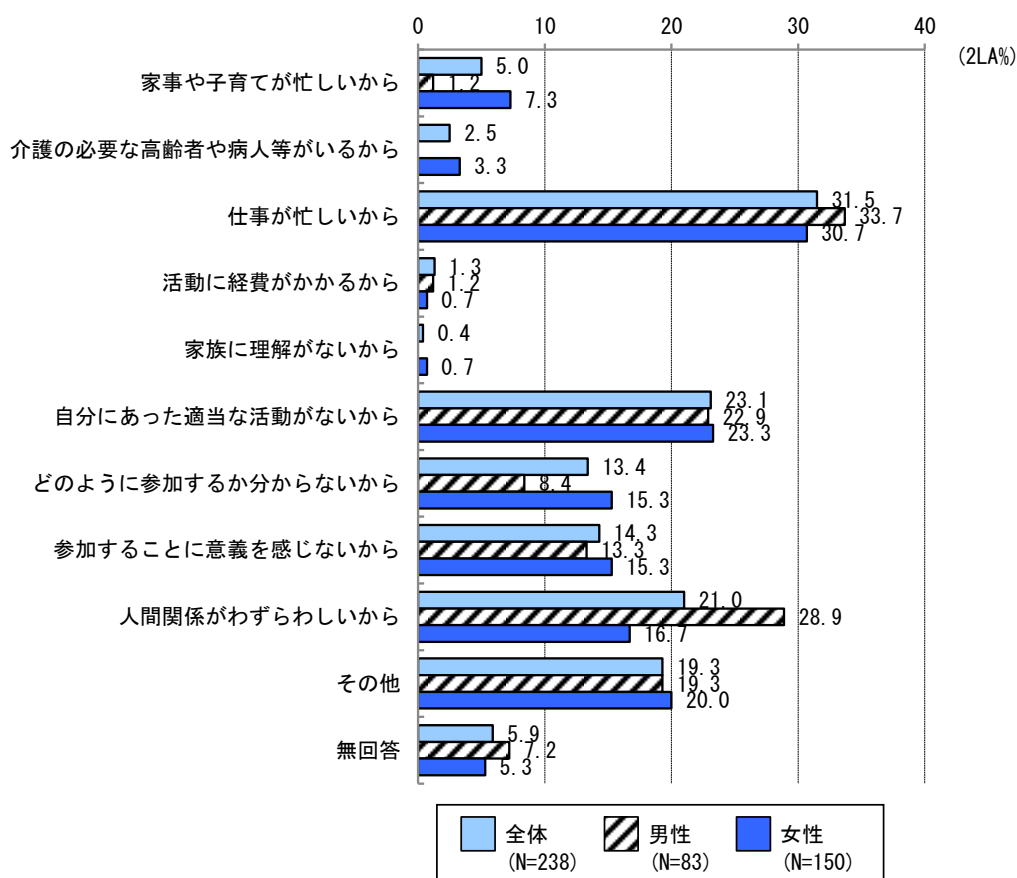
問13で、「10. いずれにも参加していない」と答えた方のみ

問13-1 どれにも参加しなかったのはなぜですか。【○は2つまで】

参加しなかった理由について、【全体・男女別】において、「仕事が忙しいから」の割合が最も高くなっています。

【全体・年齢別】を見ると、全体としては「仕事が忙しいから」の割合が最も高く、また年齢別を見ても、20歳代～40歳代、60歳代で仕事の忙しさが第一位の理由として挙げられています。

【全体・男女別】



【全体・年齢別】

		N	家事や子育てが忙しいから	介護の必要な高齢者や病人等がいるから	仕事が忙しいから	活動に経費がかかるから	家族に理解がないから	活動に自分にあつた適当な活動がないから	どのように参加するか分からないから	意義を感じることに加わらないから	人間関係がわずらわしいから	その他	無回答
全体		238	5.0	2.5	31.5	1.3	0.4	23.1	13.4	14.3	21.0	19.3	5.9
年齢別	10歳代	37	0.0	2.7	10.8	0.0	0.0	32.4	13.5	16.2	10.8	37.8	8.1
	20歳代	78	2.6	0.0	35.9	2.6	0.0	16.7	14.1	11.5	16.7	20.5	7.7
	30歳代	56	10.7	0.0	39.3	1.8	0.0	16.1	17.9	17.9	19.6	12.5	3.6
	40歳代	26	7.7	3.8	46.2	0.0	3.8	34.6	11.5	7.7	30.8	11.5	0.0
	50歳代	16	6.3	12.5	25.0	0.0	0.0	25.0	12.5	31.3	37.5	18.8	0.0
	60歳代	10	10.0	0.0	40.0	0.0	0.0	30.0	0.0	10.0	30.0	10.0	10.0
	70歳代	7	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0	57.1	0.0	0.0	42.9	0.0	14.3
	80歳代以上	8	0.0	12.5	0.0	0.0	0.0	12.5	12.5	12.5	25.0	25.0	12.5

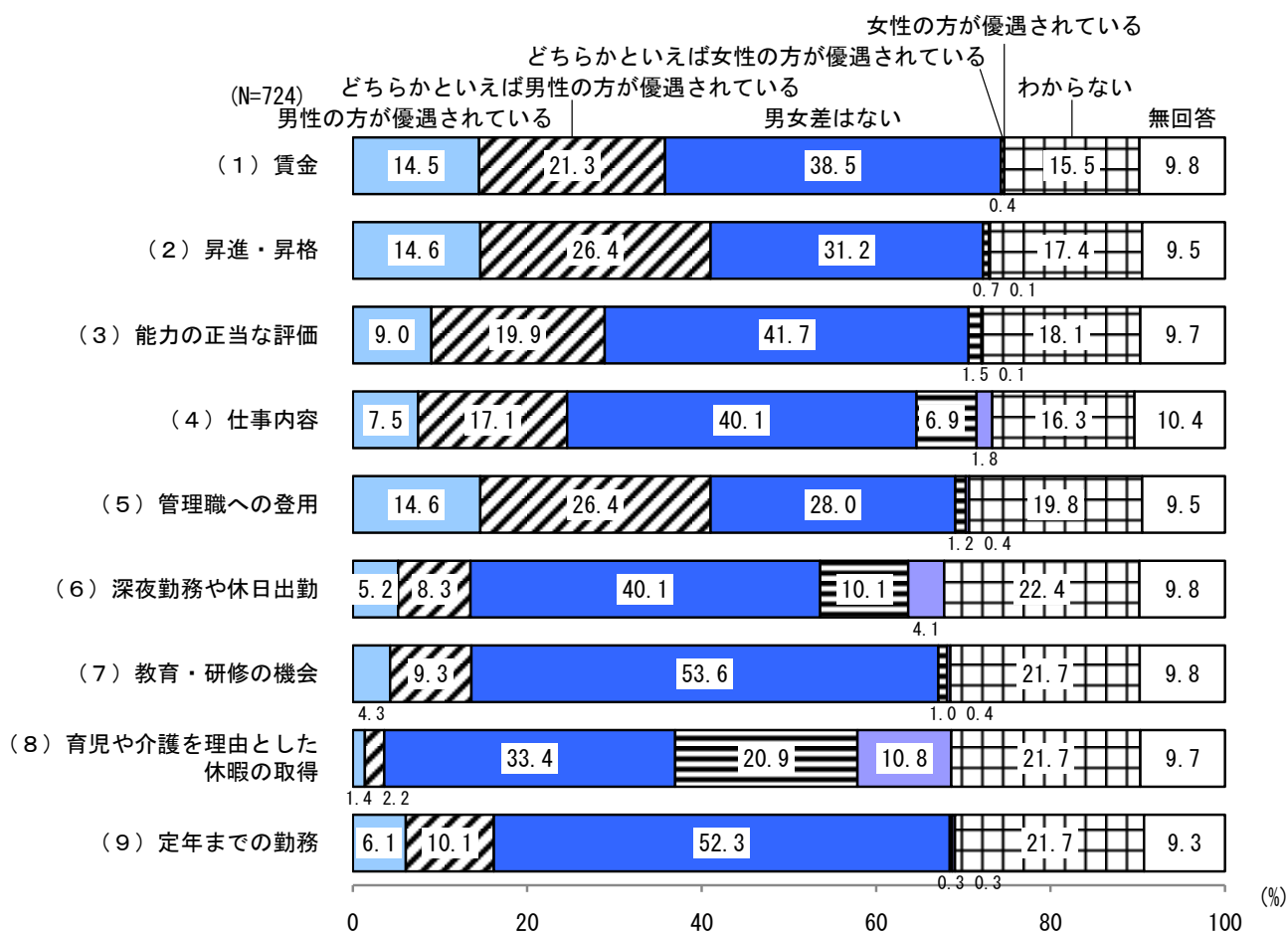
5 仕事について

〔1〕職場において仕事の内容や待遇面で性別によって違いがあると思うか

問14 あなたは職場において、仕事の内容や待遇面で、性別によって違いがあると思いますか。【それぞれに1つずつ○】

仕事内容や待遇面での男女差について、【全体・男女別・年齢別】では、概ね男女差が解消されている結果となっていることが分かります。

【全体・男女別・年齢別】



(1) 賃金

賃金における男女差について、【全体・男女別・年齢別】では、ほぼすべてで「男女差はない」の割合が最も高くなっています。

【全体・男女別・年齢別】

		(%)						
		N	男性の方が優遇さ	男性の方が優遇さ	男女差はない	女性の方が優遇さ	女性の方が優遇さ	わからない
全体		724	14.5	21.3	38.5	0.4	0.0	15.5
男女別	男性	295	8.8	23.4	43.1	0.3	0.0	14.9
	女性	419	18.6	19.6	35.8	0.5	0.0	15.5
年齢別	10歳代	58	8.6	17.2	20.7	0.0	0.0	41.4
	20歳代	107	7.5	16.8	43.9	0.9	0.0	23.4
	30歳代	134	16.4	21.6	44.8	0.7	0.0	9.7
	40歳代	128	13.3	21.9	54.7	0.0	0.0	7.8
	50歳代	131	19.1	19.8	41.2	0.8	0.0	14.5
	60歳代	104	19.2	27.9	27.9	0.0	0.0	12.5
	70歳代	45	15.6	24.4	11.1	0.0	0.0	2.2
	80歳代以上	14	0.0	14.3	7.1	0.0	0.0	50.0

(2) 昇進・昇格

昇進・昇格における男女差について、全体・性別・年齢別の多くで「男女差はない」の割合が最も高くなっています。

【全体・男女別・年齢別】

		(%)						
		N	男性の方が優遇さ	男性の方が優遇さ	男女差はない	女性の方が優遇さ	女性の方が優遇さ	わからない
全体		724	14.6	26.4	31.2	0.7	0.1	17.4
男女別	男性	295	7.5	31.9	32.5	1.7	0.3	16.3
	女性	419	20.0	22.4	30.8	0.0	0.0	17.4
年齢別	10歳代	58	6.9	25.9	19.0	0.0	0.0	36.2
	20歳代	107	10.3	18.7	38.3	0.0	0.0	25.2
	30歳代	134	17.2	28.4	32.8	0.7	0.0	14.9
	40歳代	128	14.1	25.0	47.7	0.8	0.0	10.2
	50歳代	131	19.8	22.9	35.9	2.3	0.0	15.3
	60歳代	104	18.3	35.6	18.3	0.0	0.0	14.4
	70歳代	45	11.1	33.3	4.4	0.0	0.0	4.4
	80歳代以上	14	0.0	21.4	0.0	0.0	0.0	50.0

(3) 能力の正当な評価

能力の正当な評価における男女差について、全体・性別・年齢別のほぼすべてで「男女差はない」の割合が最も高くなっています。

【全体・男女別・年齢別】

			(%)						
		N	男性の方が優遇さ	男性の方が優遇さ	男女差はない	女性の方が優遇さ	女性の方が優遇さ	わからない	無回答
全体		724	9.0	19.9	41.7	1.5	0.1	18.1	9.7
男女別	男性	295	4.4	20.7	45.1	2.0	0.3	18.3	9.2
	女性	419	11.9	19.3	40.3	1.2	0.0	17.4	9.8
年齢別	10歳代	58	8.6	17.2	22.4	1.7	0.0	37.9	12.1
	20歳代	107	4.7	11.2	50.5	2.8	0.0	23.4	7.5
	30歳代	134	11.9	21.6	42.5	2.2	0.7	15.7	5.2
	40歳代	128	9.4	17.2	58.6	0.8	0.0	11.7	2.3
	50歳代	131	10.7	23.7	43.5	2.3	0.0	15.3	4.6
	60歳代	104	10.6	27.9	33.7	0.0	0.0	16.3	11.5
	70歳代	45	4.4	22.2	17.8	0.0	0.0	6.7	48.9
	80歳代以上	14	0.0	0.0	21.4	0.0	0.0	50.0	28.6

(4) 仕事内容

仕事内容における男女差について、全体・性別・年齢別のすべてで「男女差はない」の割合が最も高くなっています。

【全体・男女別・年齢別】

			(%)						
		N	男性の方が優遇さ	男性の方が優遇さ	男女差はない	女性の方が優遇さ	女性の方が優遇さ	わからない	無回答
全体		724	7.5	17.1	40.1	6.9	1.8	16.3	10.4
男女別	男性	295	4.1	17.6	38.6	11.5	3.7	13.9	10.5
	女性	419	10.0	16.5	41.8	3.8	0.5	17.4	10.0
年齢別	10歳代	58	5.2	15.5	17.2	6.9	0.0	43.1	12.1
	20歳代	107	1.9	9.3	46.7	10.3	0.0	23.4	8.4
	30歳代	134	9.0	21.6	40.3	6.7	3.0	13.4	6.0
	40歳代	128	3.9	20.3	54.7	5.5	0.8	12.5	2.3
	50歳代	131	12.2	13.7	45.0	7.6	4.6	12.2	4.6
	60歳代	104	13.5	21.2	35.6	7.7	1.9	6.7	13.5
	70歳代	45	4.4	17.8	20.0	2.2	0.0	4.4	51.1
	80歳代以上	14	0.0	7.1	7.1	0.0	0.0	57.1	28.6

（５） 管理職への登用

管理職への登用における男女差について、全体としては「男女差はない」の割合が最も高くなっています。

性別で見ると、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」と答える男性の割合（30.2%）が最も高い一方で、「男女差はない」と答える女性の割合（28.4%）が最も高くなっており、男女間での認識の差が表れています。

年齢別では、20歳代～50歳代で「男女差はない」の割合が最も高くなっていますが、10歳代と60歳代～80歳代以上では、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」の割合が最も高くなっています。

【全体・男女別・年齢別】

		(%)						
	N	男性の方が優遇さ	男性の方が優遇さば	男女差はない	女性の方が優遇さば	女性の方が優遇さ	わからない	無回答
全体	724	14.6	26.4	28.0	1.2	0.4	19.8	9.5
男女別	男性	295	9.8	30.2	28.5	1.7	1.0	19.0
	女性	419	18.1	23.9	28.4	1.0	0.0	19.3
年齢別	10歳代	58	8.6	15.5	13.8	0.0	3.4	46.6
	20歳代	107	8.4	20.6	32.7	0.9	0.0	29.0
	30歳代	134	18.7	27.6	28.4	2.2	0.0	17.9
	40歳代	128	14.8	29.7	39.8	0.0	0.0	13.3
	50歳代	131	17.6	22.1	38.9	2.3	0.8	14.5
	60歳代	104	20.2	35.6	15.4	1.0	0.0	15.4
	70歳代	45	4.4	35.6	6.7	2.2	0.0	4.4
	80歳代以上	14	7.1	14.3	7.1	0.0	0.0	42.9

（６） 深夜勤務や休日出勤

深夜勤務や休日出勤における男女差について、全体・性別・年齢別の多くで「男女差はない」の割合が最も高くなっています。

【全体・男女別・年齢別】

		(%)						
	N	男性の方が優遇さ	男性の方が優遇さば	男女差はない	女性の方が優遇さば	女性の方が優遇さ	わからない	無回答
全体	724	5.2	8.3	40.1	10.1	4.1	22.4	9.8
男女別	男性	295	6.4	10.8	35.3	12.5	6.8	17.6
	女性	419	4.5	6.7	43.9	8.1	2.4	25.1
年齢別	10歳代	58	5.2	5.2	22.4	5.2	1.7	48.3
	20歳代	107	1.9	3.7	39.3	15.0	2.8	29.0
	30歳代	134	8.2	9.0	44.0	9.0	5.2	19.4
	40歳代	128	3.1	7.0	64.1	5.5	4.7	12.5
	50歳代	131	6.1	9.9	44.3	12.2	5.3	18.3
	60歳代	104	7.7	12.5	31.7	10.6	1.9	22.1
	70歳代	45	4.4	8.9	4.4	15.6	8.9	11.1
	80歳代以上	14	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	57.1

(7) 教育・研修の機会

教育・研修の機会における男女差について、全体・性別・年齢別のすべてで「男女差はない」の割合が最も高くなっています。

【全体・男女別・年齢別】

									(%)
		N	男性の方が優遇さ	男性の方が優遇さ	男女差はない	女性の方が優遇さ	女性の方が優遇さ	わからない	無回答
全体		724	4.3	9.3	53.6	1.0	0.4	21.7	9.8
男女別	男性	295	2.0	8.8	58.6	1.4	0.7	18.6	9.8
	女性	419	5.7	9.8	50.8	0.7	0.2	23.2	9.5
年齢別	10歳代	58	5.2	1.7	32.8	1.7	0.0	46.6	12.1
	20歳代	107	2.8	5.6	52.3	1.9	0.9	28.0	8.4
	30歳代	134	5.2	14.2	54.5	0.7	0.7	19.4	5.2
	40歳代	128	2.3	13.3	68.0	0.0	0.0	13.3	3.1
	50歳代	131	6.1	9.2	61.8	0.8	0.8	16.8	4.6
	60歳代	104	6.7	10.6	47.1	1.9	0.0	22.1	11.5
	70歳代	45	0.0	2.2	44.4	0.0	0.0	6.7	46.7
	80歳代以上	14	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	57.1	28.6

(8) 育児や介護を理由とした休暇の取得

育児や介護を理由とした休暇の取得における男女差について、全体・性別・年齢別の多くで「男女差はない」の割合が最も高くなっています。

【全体・男女別・年齢別】

									(%)
		N	男性の方が優遇さ	男性の方が優遇さ	男女差はない	女性の方が優遇さ	女性の方が優遇さ	わからない	無回答
全体		724	1.4	2.2	33.4	20.9	10.8	21.7	9.7
男女別	男性	295	1.0	2.0	33.9	20.7	14.2	18.3	9.8
	女性	419	1.7	2.4	33.9	21.2	8.6	22.9	9.3
年齢別	10歳代	58	3.4	0.0	19.0	13.8	8.6	43.1	12.1
	20歳代	107	0.9	3.7	31.8	20.6	10.3	25.2	7.5
	30歳代	134	0.7	1.5	33.6	27.6	14.2	17.2	5.2
	40歳代	128	2.3	2.3	50.8	16.4	10.9	13.3	3.9
	50歳代	131	1.5	2.3	43.5	22.1	7.6	19.1	3.8
	60歳代	104	1.0	3.8	23.1	25.0	12.5	23.1	11.5
	70歳代	45	0.0	0.0	13.3	15.6	11.1	13.3	46.7
	80歳代以上	14	0.0	0.0	0.0	7.1	7.1	57.1	28.6

(9) 定年までの勤務

定年までの勤務における男女差について、全体・性別・年齢別のすべてで「男女差はない」の割合が最も高くなっています。

【全体・男女別・年齢別】

		(%)							
		N	男性の方が優遇さ	男性の方が優遇さば	男女差はない	女性の方が優遇さ	女性の方が優遇さ	わからない	無回答
全体		724	6.1	10.1	52.3	0.3	0.3	21.7	9.3
男女別	男性	295	5.8	9.8	56.3	0.3	0.7	18.0	9.2
	女性	419	6.4	10.5	50.1	0.2	0.0	23.4	9.3
年齢別	10歳代	58	5.2	10.3	24.1	0.0	0.0	48.3	12.1
	20歳代	107	2.8	8.4	50.5	0.0	0.0	30.8	7.5
	30歳代	134	6.7	10.4	52.2	1.5	1.5	22.4	5.2
	40歳代	128	3.1	10.2	71.1	0.0	0.0	13.3	2.3
	50歳代	131	9.9	5.3	67.9	0.0	0.0	13.0	3.8
	60歳代	104	9.6	14.4	44.2	0.0	0.0	20.2	11.5
	70歳代	45	4.4	20.0	24.4	0.0	0.0	4.4	46.7
	80歳代以上	14	0.0	0.0	14.3	0.0	0.0	57.1	28.6

〔２〕育児休業・介護休業制度の利用

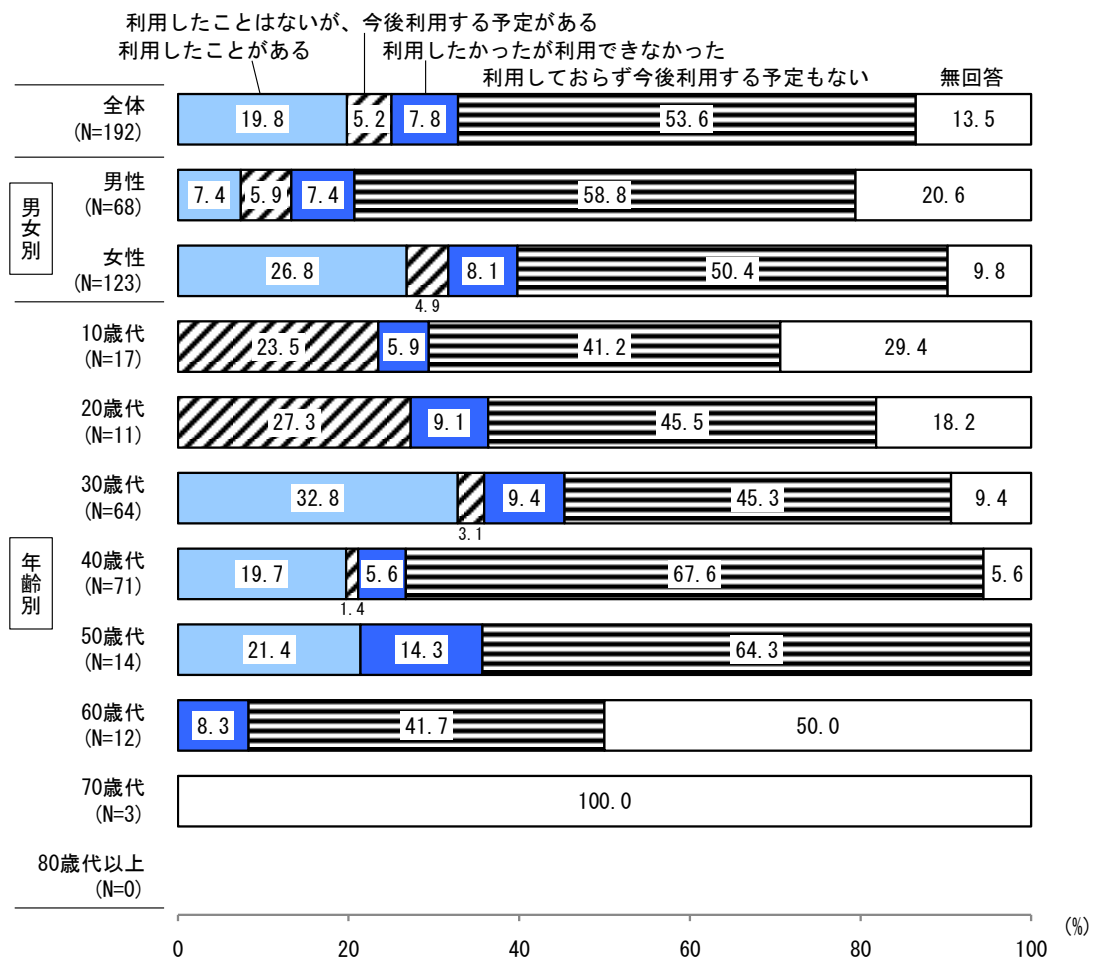
中学生以下の子どもがいる方、または家族に介護が必要な高齢者がいる方のみ

問15 あなたは、育児休業・介護休業制度を利用されましたか。また、今後利用する予定がありますか。【それぞれに1つずつ○】

（１）育児休業制度

育児休業制度の利用について、全体・性別・年齢別のすべてで「利用しておらず今後も利用する予定もない」の割合が最も高くなっています。

【全体・男女別・年齢別】



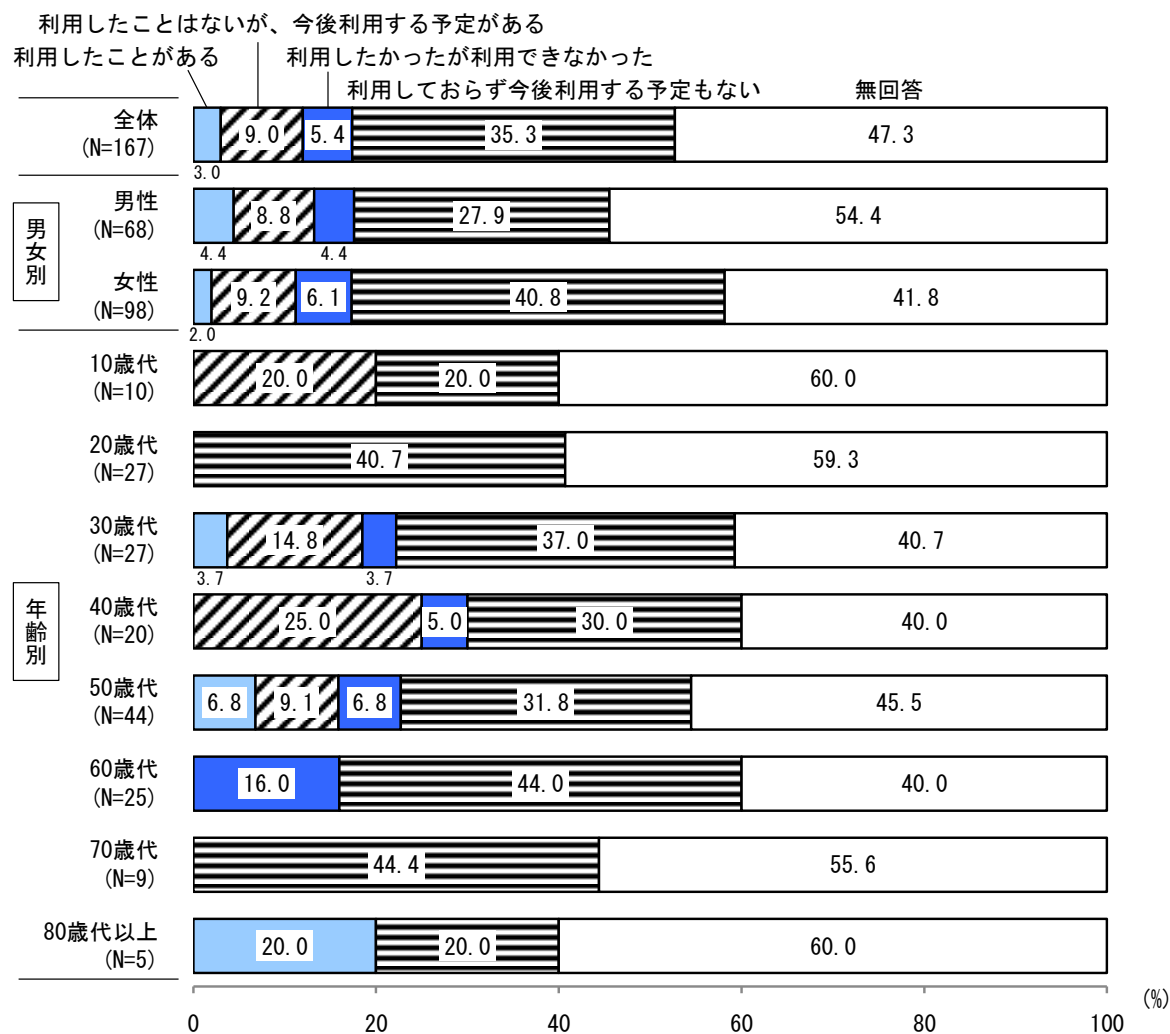
【目標値】

指標	平成26年度 実績値	平成31年度 目標値	令和2年度 実績値
男性の育児休業の取得状況	1.9%	増加	7.4%

(2) 介護休業制度

介護休業制度の利用について、全体・性別・年齢別のほぼすべてで「利用しておらず今後も利用する予定もない」の割合が最も高くなっています。

【全体・男女別・年齢別】



〔３〕利用しなかった・できなかった理由

問15で、「３．利用したいが、利用できなかった」と答えた方のみ

問15-1 育児休業や介護休業制度を利用しなかった・できなかった理由を教えてください。【それぞれに1つずつ○】

（１）育児休業制度

育児休業制度を使用・利用できなかった理由として、全体・性別・年齢別のほぼすべてで「職場が育児・介護休業制度を利用する雰囲気ではないから」の割合が占めています。

【全体・男女別・年齢別】

		(%)												
	N	利用しないから	方が利用するから	夫婦の収入が少ない	育児・介護は、妻が行う方	育児・介護は、夫が行う方	育児・介護は、両方で行う方	育児・介護は、両方で行う方	育児・介護は、両方で行う方	育児・介護は、両方で行う方	育児・介護は、両方で行う方	育児・介護は、両方で行う方	育児・介護は、両方で行う方	無回答
全体	15	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	60.0	13.3	0.0	0.0	0.0	0.0	26.7	0.0
男女別	男性	5	0.0	0.0	0.0	0.0	40.0	40.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0
	女性	10	0.0	0.0	0.0	0.0	70.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	30.0	0.0
年齢別	10歳代	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	20歳代	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	30歳代	6	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	16.7	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	0.0
	40歳代	4	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	50歳代	2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0
	60歳代	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0
	70歳代	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	80歳代以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

(2) 介護休業制度

介護休業制度を使用・利用できなかった理由として、全体・性別・年齢別のほぼすべてで「仕事に支障が出るから」の割合が最も高くなっています。

【全体・男女別・年齢別】

(%)

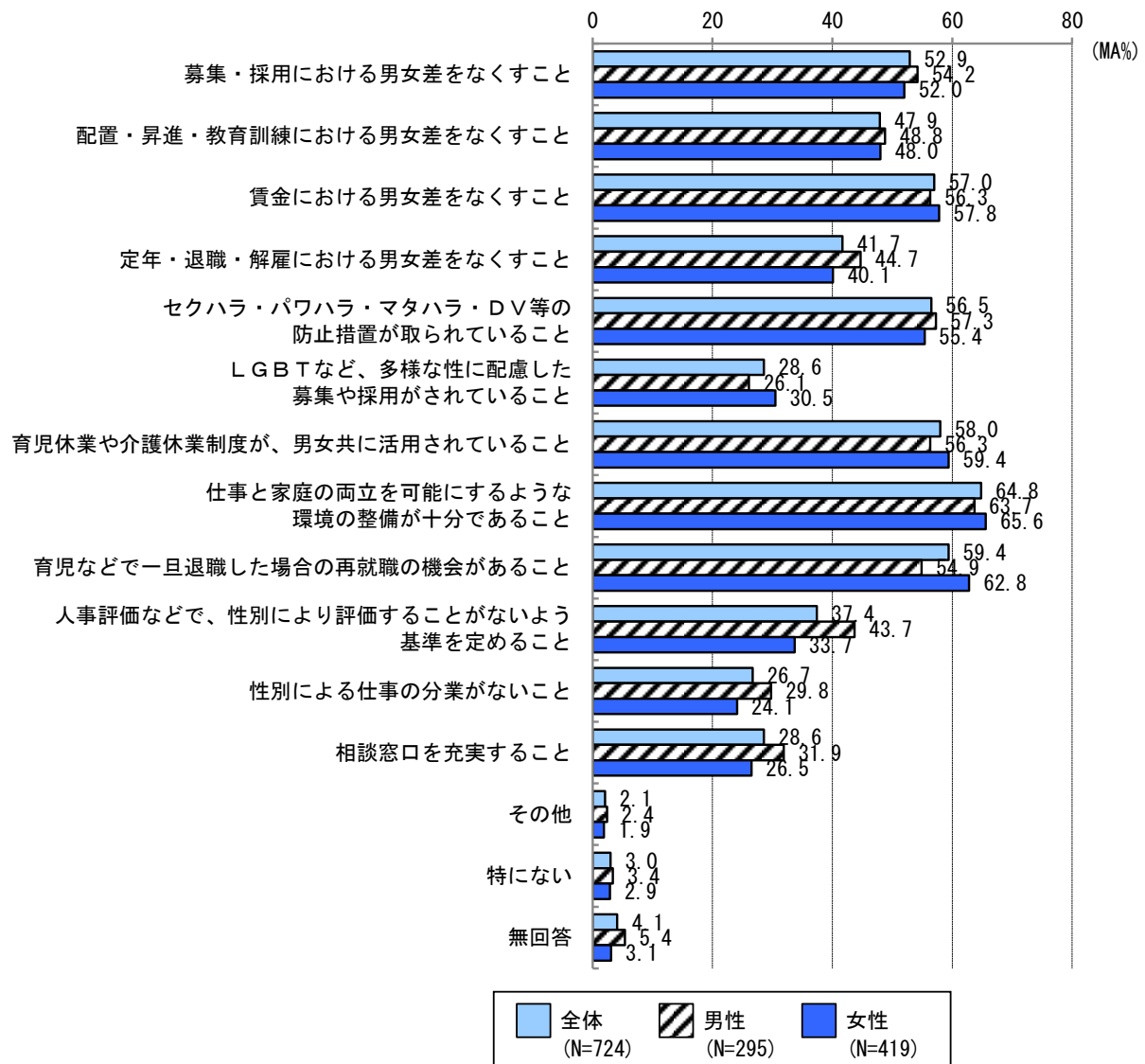
		N	利用しないから	夫婦のうち、収入の少ない方が利用するため、自分はい	育児・介護は、妻が行う方が適しているから	育児・介護は、夫が行う方が適しているから	育児・介護休業制度を利用すると昇進にさしさわりがあ	職場が育児・介護休業制度を利用する雰囲気ではない	仕事に支障がでるから	職場に育児・介護休業制度がないから	育児・介護をしたくないから	育児・介護の仕方がわからないから	祖父母がみてくれるから	その他	無回答
全体		9	0.0	0.0	0.0	0.0	22.2	33.3	11.1	0.0	0.0	0.0	22.2	11.1	
男女別	男性	3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	女性	6	0.0	0.0	0.0	0.0	16.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	16.7	
年齢別	10歳代	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	20歳代	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	30歳代	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	
	40歳代	1	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	50歳代	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	
	60歳代	4	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	
	70歳代	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	80歳代以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

〔４〕企業・事業所が取り組むべきこと

問16 男女が共に働きやすい社会環境をつくるために、企業・事業所が取り組むべきと考えることは何ですか。【あてはまるものすべてに○】

企業の取り組むべきことについて、【全体・男女別】では「仕事と家庭の両立を可能にするような環境の整備が十分であること」と回答した人の割合が最も高くなっています。

【全体・男女別】



【全体・年齢別】

		(MA%)																							
		N	差をなくすこと	募集・採用における男女	とおける男女差をなくすこと	配置・昇進・教育訓練に	賃金における男女差をなくすこと	定年・退職・解雇における男女差をなくすこと	置がら・D・V等の防止・措置	セクハラ・パワハラ・多様な働き方	性的配慮した募集・採用	LGBT※など、多様な働き方	が、男女共に活用されて	育児休業や介護休業制度	に十分である環境の整備	仕事と家庭の両立を可能	場合の再就職の機会があ	育兒な標準を定めることがない	より評価することがない	人事評価などで、性別による仕事の分業がないこと	性別による仕事の分業がないこと	相談窓口を充実すること	その他	特にな	無回答
全体		724	52.9	47.9	57.0	41.7	56.5	28.6	58.0	64.8	59.4	37.4	26.7	28.6	2.1	3.0	4.1								
年齢別	10歳代	58	60.3	51.7	63.8	51.7	67.2	44.8	58.6	58.6	53.4	36.2	34.5	37.9	1.7	3.4	8.6								
	20歳代	107	42.1	40.2	48.6	29.0	53.3	30.8	62.6	64.5	58.9	29.9	22.4	21.5	0.0	4.7	3.7								
	30歳代	134	56.0	53.0	58.2	45.5	64.2	38.1	66.4	68.7	69.4	41.0	36.6	33.6	2.2	1.5	3.7								
	40歳代	128	53.9	56.3	62.5	47.7	55.5	24.2	61.7	77.3	58.6	40.6	25.8	27.3	2.3	1.6	2.3								
	50歳代	131	48.9	46.6	59.5	38.9	51.1	28.2	52.7	61.8	55.0	37.4	25.2	25.2	2.3	4.6	3.1								
	60歳代	104	58.7	47.1	57.7	39.4	54.8	25.0	57.7	60.6	59.6	38.5	26.9	28.8	4.8	1.9	1.0								
	70歳代	45	62.2	42.2	51.1	53.3	55.6	6.7	40.0	57.8	64.4	46.7	8.9	37.8	0.0	2.2	8.9								
	80歳代以上	14	28.6	7.1	28.6	21.4	28.6	0.0	21.4	21.4	28.6	7.1	7.1	7.1	0.0	14.3	28.6								

6 ワーク・ライフ・バランスについて

〔1〕「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」の優先度

問17 生活の中での「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活（地域活動・学習・趣味・付き合い等）」の優先度についておうかがいします。「A. 現実」と「B. 希望」の両方についてお答えください。【〇はそれぞれ1つ】

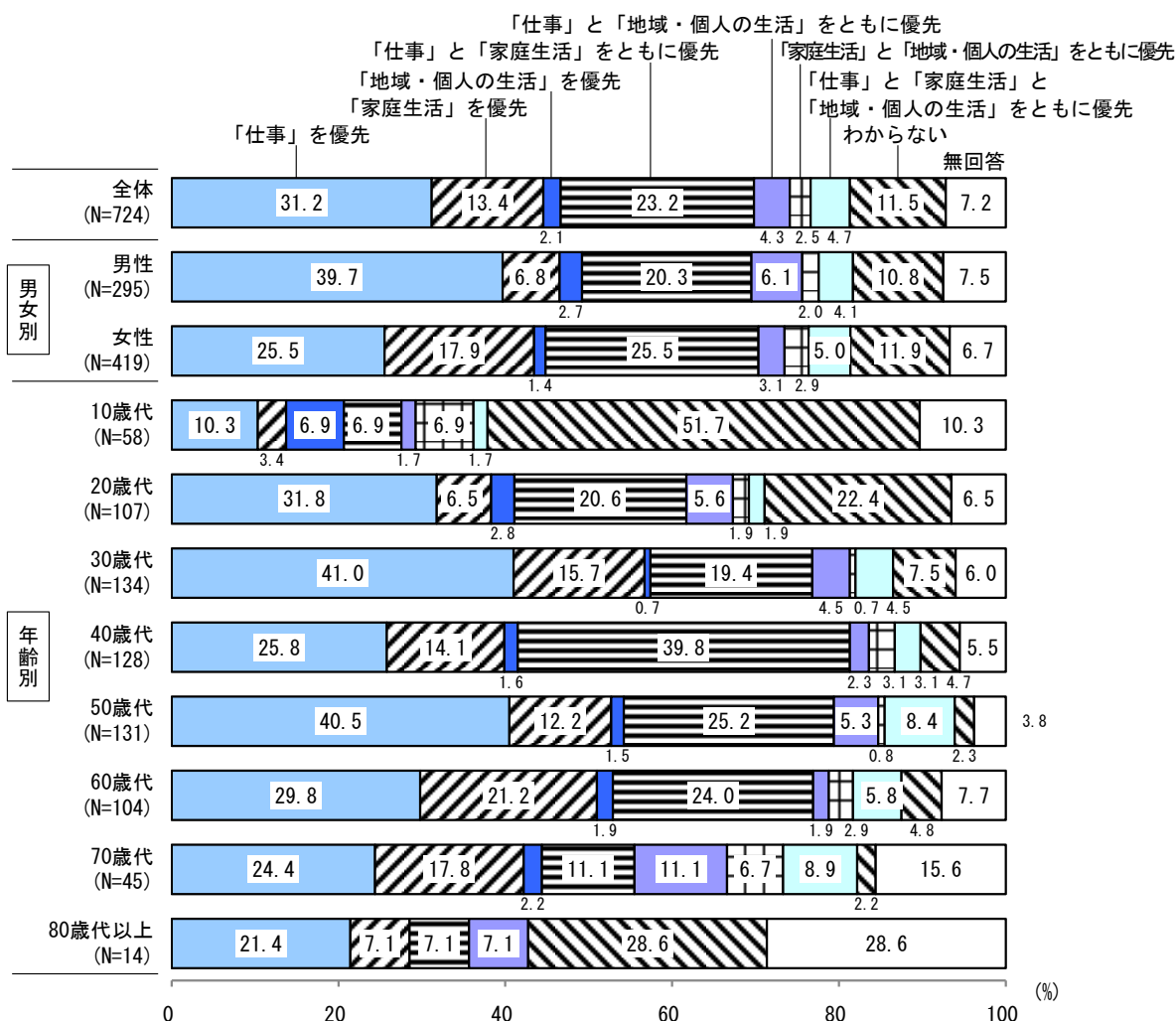
A. 現実

生活の中での優先順位について、全体として『仕事』を優先」と回答した人の割合が31.2%と最も高く、次いで『仕事』と『家庭生活』をともに優先」の割合が23.2%となっております。

性別では、男性が『仕事』を優先」する割合が39.7%と最も高いのに対し、女性では『仕事』を優先」と共に『仕事』と『家庭生活』をともに優先」の割合が25.5%と最も高くなっています。

年齢別では、30歳代と50歳代で特に『仕事』を優先」の回答が高くなっています。

【全体・男女別・年齢別】

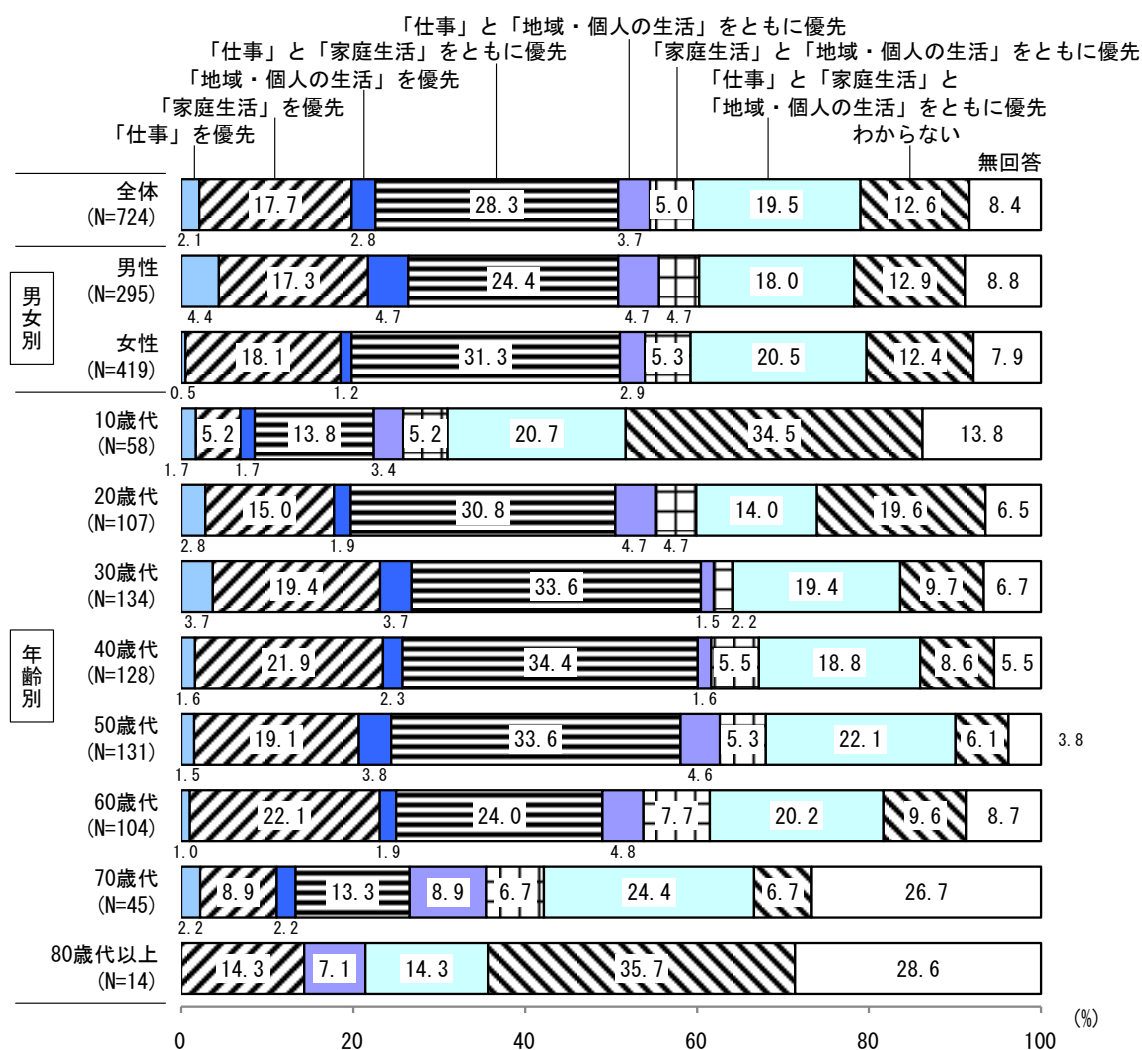


B. 希望

生活の中での優先順位について、全体・性別では、男女共に『仕事』と『家庭生活』をともに優先」を希望する人の割合が最も高くなっています。

年齢別として、20歳代～50歳代の間で『仕事』と『家庭生活』をともに優先」を希望する傾向が強まり、60歳代～80歳代以上にかけて、その傾向が減少していることが分かります。

【全体・男女別・年齢別】



【拡大集計】

	調査数	一致している	一致していない	無回答
R2調査(拡大集計なし)	724	26.5	61.6	11.9
拡大集計①(人口比)	1,172	27.1	61.1	11.7
拡大集計②(H27調査比)	2,797	27.7	59.9	12.4

【目標値】

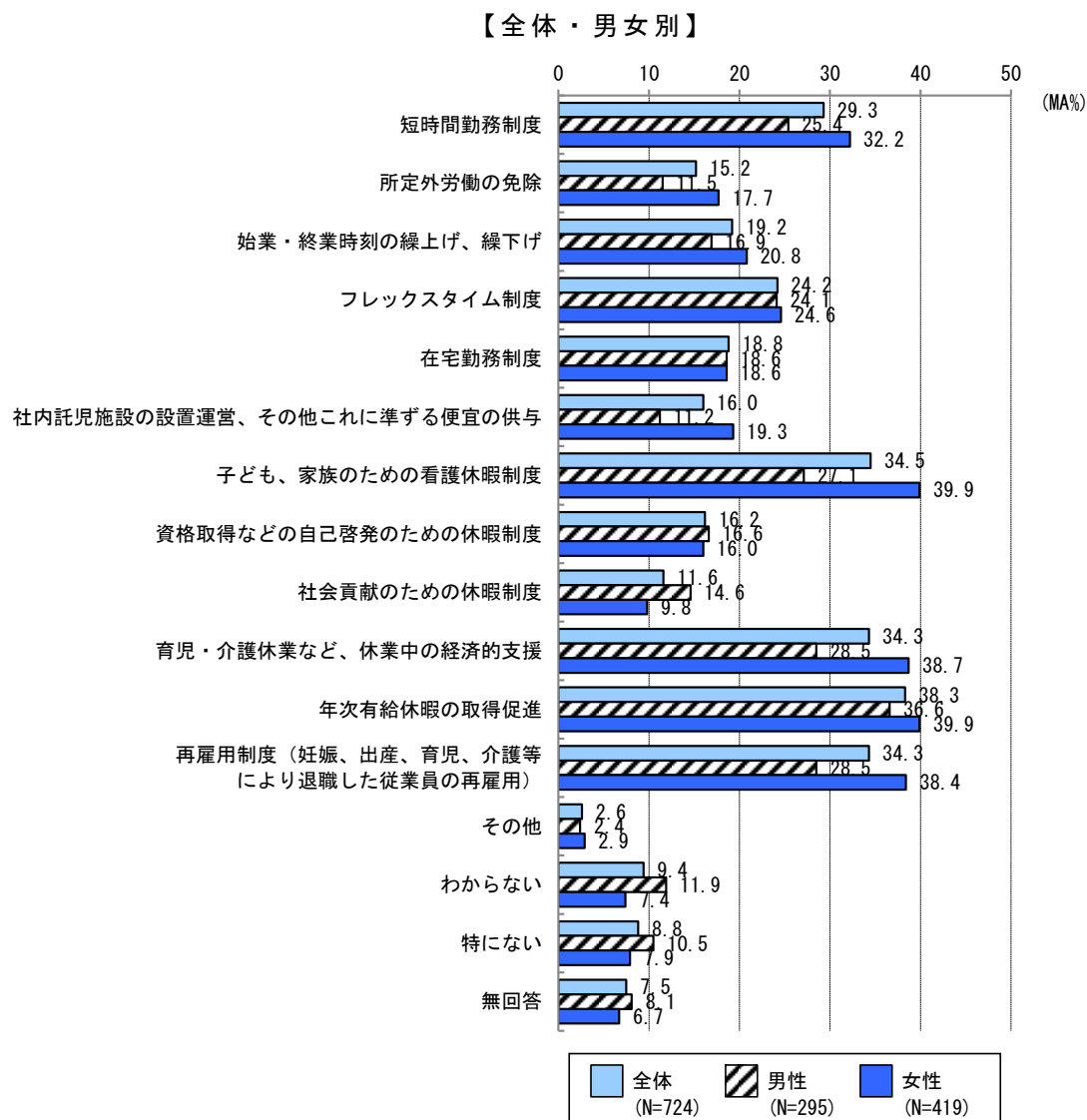
指標	平成 26 年度 実績値	平成 31 年度 目標値	令和2年度 実績値
ワーク・ライフ・バランスの希望がかなっていない人の割合(生活の中における優先度で希望と現実が異なっている人の割合)	63.8%	50.0%	61.6% 61.1% 59.9%

〔２〕「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」を推進するために、職場に取り組んでほしいこと

問18 「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」を推進するために、職場に取り組んでほしいことはありますか。【あてはまるものすべてに○】

「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」の推進のため、職場に期待することについて、【全体・男女別】では「年次有給休暇の取得促進」と回答した人の割合が、他の項目に比べて最も高くなっています。

年齢別では、40歳代までが特に「育児・介護休業など、休業中の経済的支援」を求める回答が高くなっています。



【全体・年齢別】

(MA%)

		N	短時間勤務制度	所定外労働の免除	始業・終業時刻の繰上げ、繰下げ	フレックスタイム制度	在宅勤務制度	社内託児施設の設置運営、その他これに準ずる便宜の供与	子ども、家族のための看護休暇制度	資格取得などの自己啓発のための休暇制度	社会貢献のための休暇制度	育児・介護休業など、休業中の経済的支援	年次有給休暇の取得促進	再雇用制度（妊娠、出産、育児、介護等により退職した従業員の再雇用）	その他	わからない	特にない	無回答
全体		724	29.3	15.2	19.2	24.2	18.8	16.0	34.5	16.2	11.6	34.3	38.3	34.3	2.6	9.4	8.8	7.5
年齢別	10歳代	58	31.0	17.2	20.7	12.1	19.0	10.3	25.9	19.0	8.6	31.0	24.1	25.9	0.0	34.5	8.6	8.6
	20歳代	107	29.0	14.0	18.7	20.6	18.7	11.2	32.7	15.9	11.2	39.3	39.3	33.6	0.9	10.3	9.3	7.5
	30歳代	134	48.5	25.4	29.1	33.6	29.9	20.9	39.6	24.6	16.4	43.3	50.0	38.1	3.7	7.5	4.5	3.0
	40歳代	128	26.6	14.1	21.1	28.9	17.2	16.4	43.0	13.3	8.6	35.9	42.2	39.8	3.1	3.1	10.2	1.6
	50歳代	131	21.4	10.7	12.2	26.7	16.0	12.2	30.5	9.2	11.5	26.7	35.1	24.4	3.1	6.9	13.7	6.1
	60歳代	104	25.0	12.5	17.3	18.3	14.4	19.2	34.6	17.3	11.5	29.8	35.6	38.5	3.8	8.7	7.7	9.6
	70歳代	45	20.0	6.7	15.6	22.2	15.6	22.2	31.1	17.8	13.3	33.3	33.3	44.4	2.2	2.2	6.7	26.7
	80歳代以上	14	7.1	7.1	0.0	0.0	0.0	7.1	7.1	7.1	7.1	14.3	7.1	14.3	0.0	28.6	7.1	35.7

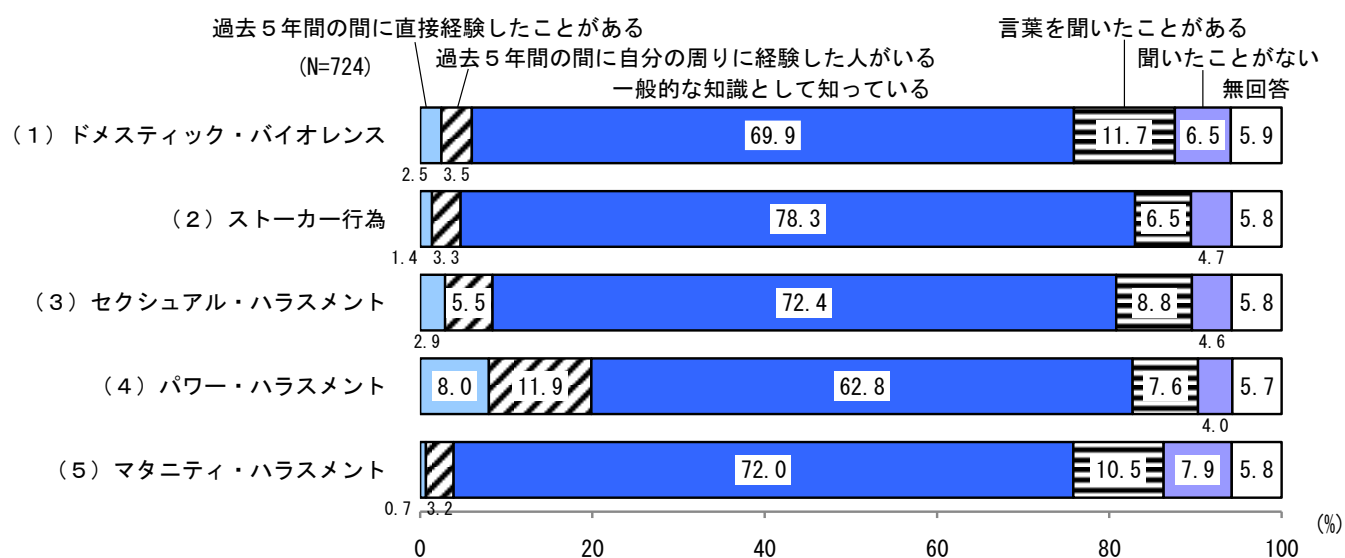
7 DV（ドメスティック・バイオレンス）について

〔1〕 ハラスメント等の経験

問19 ドメスティック・バイオレンス、ストーカー行為、セクシュアル・ハラスメント、パワー・ハラスメント、マタニティ・ハラスメントについて、経験したり、見聞きしたことがありますか。【それぞれに1つずつ○】

ハラスメント等の経験等について、全体としては「一般的な知識として知っている」の割合が、各項目で最も高くなっています。

【全体】



(1) ドメスティック・バイオレンス

DVについて、全体・性別・年齢別のほぼすべてで「一般的な知識として知っている」の割合が最も高くなっています。

【全体・男女別・年齢別】

		N	がある	直接経験したことがある	過去5年間の間に経験したことがある	過去5年間の間に経験したことがある	一般的ない知識として知っている	言葉聞いたこと	聞いたことがない	(%) 無回答
全体		724	2.5	3.5	69.9	11.7	6.5	5.9		
男女別	男性	295	1.0	2.7	69.5	12.9	7.5	6.4		
	女性	419	3.3	3.8	70.9	11.0	5.7	5.3		
年齢別	10歳代	58	1.7	0.0	67.2	22.4	6.9	1.7		
	20歳代	107	2.8	1.9	79.4	10.3	0.0	5.6		
	30歳代	134	1.5	6.7	73.9	10.4	5.2	2.2		
	40歳代	128	5.5	5.5	70.3	7.8	8.6	2.3		
	50歳代	131	2.3	1.5	73.3	11.5	6.1	5.3		
	60歳代	104	1.9	3.8	67.3	13.5	7.7	5.8		
	70歳代	45	0.0	0.0	53.3	13.3	11.1	22.2		
	80歳代以上	14	0.0	0.0	14.3	14.3	21.4	50.0		

【拡大集計】

	調査数	過去5年間の間に直接経験したことがある	過去の5年間の間に自分の周りに経験した人がある	一般的知識として知っている	言葉聞いたことがある	聞いたことがない	無回答
R2調査(拡大集計なし)	419	3.3	3.8	70.9	11.0	5.7	5.3
拡大集計①(人口比)	589	3.2	3.4	70.7	10.8	5.9	5.9
拡大集計②(H27調査比)	1,531	2.6	2.9	65.5	10.7	7.3	10.9
	調査数	と直接経験したことがある	自分の周りの人に経験した人がある	一般的知識として知っている	言葉聞いたことがある	聞いたことがない	無回答
H27調査	291	6.5	7.9	49.8	13.4	12.4	10.0

【目標値】

指標	平成 26 年度 実績値	平成 31 年度 目標値	令和2年度 実績値
DVを経験したことがある女性の割合	6.5%	0.0%	3.3%
			3.2%
			2.6%

（２） ストーカー行為

ストーカー行為について、全体・性別・年齢別のすべてで「一般的な知識として知っている」の割合が最も高くなっています。

【全体・男女別・年齢別】

(%)

		N	が直 あ接 る経 験 し た こ と に	過 去 5 年 間 に	自 分 の 周 り に 経 験 に	一 般 的 な 知 識 と し	言 葉 を 聞 いた こ と	聞 いた こ と が な い	無 回 答
全体		724	1.4		3.3	78.3	6.5	4.7	5.8
男女別	男性	295	0.7		4.1	78.0	6.1	5.4	5.8
	女性	419	1.7		2.6	79.5	6.7	4.1	5.5
年齢別	10歳代	58	1.7		1.7	82.8	10.3	1.7	1.7
	20歳代	107	1.9		4.7	82.2	6.5	0.0	4.7
	30歳代	134	3.0		3.7	79.1	7.5	4.5	2.2
	40歳代	128	0.8		2.3	82.0	5.5	7.0	2.3
	50歳代	131	0.0		3.8	80.2	4.6	6.9	4.6
	60歳代	104	1.0		2.9	76.9	7.7	3.8	7.7
	70歳代	45	2.2		4.4	64.4	2.2	6.7	20.0
	80歳代以上	14	0.0		0.0	28.6	14.3	7.1	50.0

(3) セクシュアル・ハラスメント

セクシュアル・ハラスメントについて、全体・性別・年齢別のすべてで「一般的な知識として知っている」の割合が最も高くなっています。

【全体・男女別・年齢別】

		N	が あ る	直 接 経 験 し た こ と	過 去 5 年 間 に	人 が い る	分 の 周 り に	過 去 5 年 間 の 経 験 に	一 般 的 な 知 識 と し	が あ る	言 葉 を 聞 いた こ と	聞 いた こ と が な い	無 回 答
全体		724	2.9	5.5	72.4	8.8	4.6	5.8					
男女別	男性	295	0.3	6.4	75.3	6.4	5.4	6.1					
	女性	419	4.5	4.5	71.4	10.5	3.8	5.3					
年齢別	10歳代	58	1.7	1.7	79.3	13.8	1.7	1.7					
	20歳代	107	3.7	4.7	77.6	9.3	0.0	4.7					
	30歳代	134	6.0	8.2	70.9	9.0	3.7	2.2					
	40歳代	128	2.3	9.4	74.2	6.3	5.5	2.3					
	50歳代	131	3.1	5.3	75.6	6.1	6.1	3.8					
	60歳代	104	0.0	3.8	70.2	11.5	5.8	8.7					
	70歳代	45	2.2	0.0	62.2	6.7	8.9	20.0					
	80歳代以上	14	0.0	0.0	21.4	21.4	7.1	50.0					

【拡大集計】

	調 査 数	る 接 過 去 5 年 間 の 経 験 し た こ と が あ る	人 が い る	分 の 周 り に 経 験 し た	過 去 5 年 間 の 経 験 に 自	て 知 っ て い る	一 般 的 な 知 識 と し	が あ る	言 葉 を 聞 いた こ と	聞 いた こ と が な い	無 回 答
R2調査(拡大集計なし)	419	4.5	4.5	71.4	10.5	3.8	5.3				
拡大集計①(人口比)	589	4.2	4.2	71.3	10.4	4.1	5.9				
拡大集計②(H27調査比)	1,531	3.1	3.0	65.8	11.4	5.5	11.2				
	調 査 数	と 直 接 あ る	験 し た 人 が い る	自 分 の 周 り に 経	し て 一 般 的 な 知 識 と	が あ る	言 葉 を 聞 いた こ	い 聞 いた こ と が な	無 回 答		
H27調査	291	4.8	4.1	56.4	15.1	10.0	9.6				

【目標値】

指標	平成 26 年度 実績値	平成 31 年度 目標値	令和2年度 実績値
セクハラを経験したことがある女性の割合	4.8%	0.0%	4.5% 4.2% 3.1%

(4) パワー・ハラスメント

パワー・ハラスメントについて、全体・性別・年齢別のすべてで「一般的な知識として知っている」の割合が最も高くなっています。

【全体・男女別・年齢別】

		N	が あ る	直 接 経 験 し た こ と に	過 去 5 年 間 に	自 分 の 周 り に	過 去 5 年 間 に	一 般 的 な 知 識 と し	が あ る	言 葉 を 聞 いた こ と	聞 いた こ と が な い	(%) 無 回 答
全体		724	8.0	11.9	62.8	7.6	4.0	5.7				
男女別	男性	295	5.8	13.2	64.4	6.4	4.4	5.8				
	女性	419	9.8	10.7	62.5	8.1	3.6	5.3				
年齢別	10歳代	58	0.0	6.9	72.4	17.2	1.7	1.7				
	20歳代	107	8.4	8.4	73.8	4.7	0.0	4.7				
	30歳代	134	14.9	17.9	53.7	7.5	3.7	2.2				
	40歳代	128	9.4	15.6	63.3	5.5	3.9	2.3				
	50歳代	131	9.2	12.2	65.6	4.6	4.6	3.8				
	60歳代	104	4.8	11.5	60.6	11.5	4.8	6.7				
	70歳代	45	0.0	2.2	57.8	6.7	11.1	22.2				
	80歳代以上	14	0.0	0.0	28.6	14.3	7.1	50.0				

(5) マタニティ・ハラスメント

マタニティ・ハラスメントについて、全体・性別・年齢別のすべてで「一般的な知識として知っている」の割合が最も高くなっています。

【全体・男女別・年齢別】

		N	が あ る	直 接 経 験 し た こ と に	過 去 5 年 間 に	自 分 の 周 り に	過 去 5 年 間 に	一 般 的 な 知 識 と し	が あ る	言 葉 を 聞 いた こ と	聞 いた こ と が な い	(%) 無 回 答
全体		724	0.7	3.2	72.0	10.5	7.9	5.8				
男女別	男性	295	0.0	1.7	72.5	12.2	7.8	5.8				
	女性	419	1.2	4.3	71.8	9.3	7.9	5.5				
年齢別	10歳代	58	0.0	0.0	65.5	19.0	13.8	1.7				
	20歳代	107	0.9	1.9	82.2	8.4	1.9	4.7				
	30歳代	134	3.0	6.7	70.1	10.4	7.5	2.2				
	40歳代	128	0.0	6.3	78.9	7.0	5.5	2.3				
	50歳代	131	0.0	2.3	78.6	6.9	7.6	4.6				
	60歳代	104	0.0	1.0	64.4	19.2	7.7	7.7				
	70歳代	45	0.0	0.0	53.3	4.4	22.2	20.0				
	80歳代以上	14	0.0	0.0	28.6	14.3	7.1	50.0				

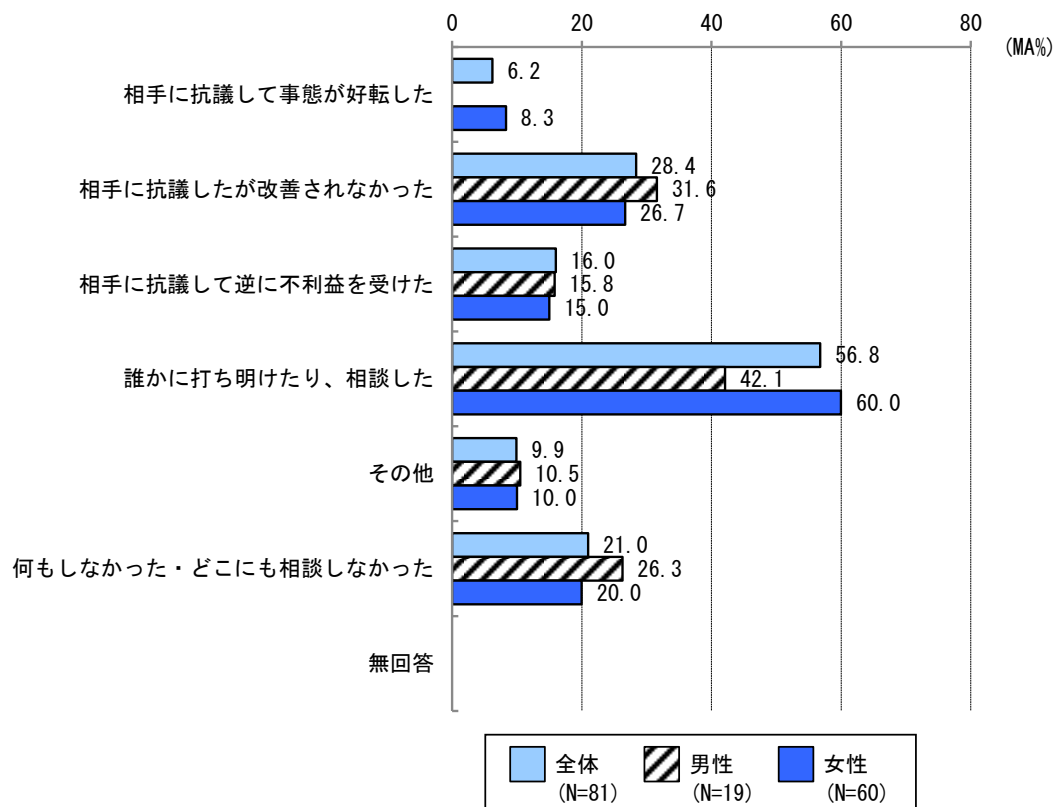
〔２〕被害を受けた時、どう対応したか

問19で、「１. 直接経験したことがある」を１つでも回答した方のみ

問19-1 それらの被害を受けた時、あなたはどのように対応しましたか。【あてはまるものすべてに○】

被害を受けた時の対応として、全体・性別・年齢別のほぼすべてで「誰かに打ち明けたり、相談した」の割合が最も高くなっています。

【全体・男女別】



【全体・年齢別】

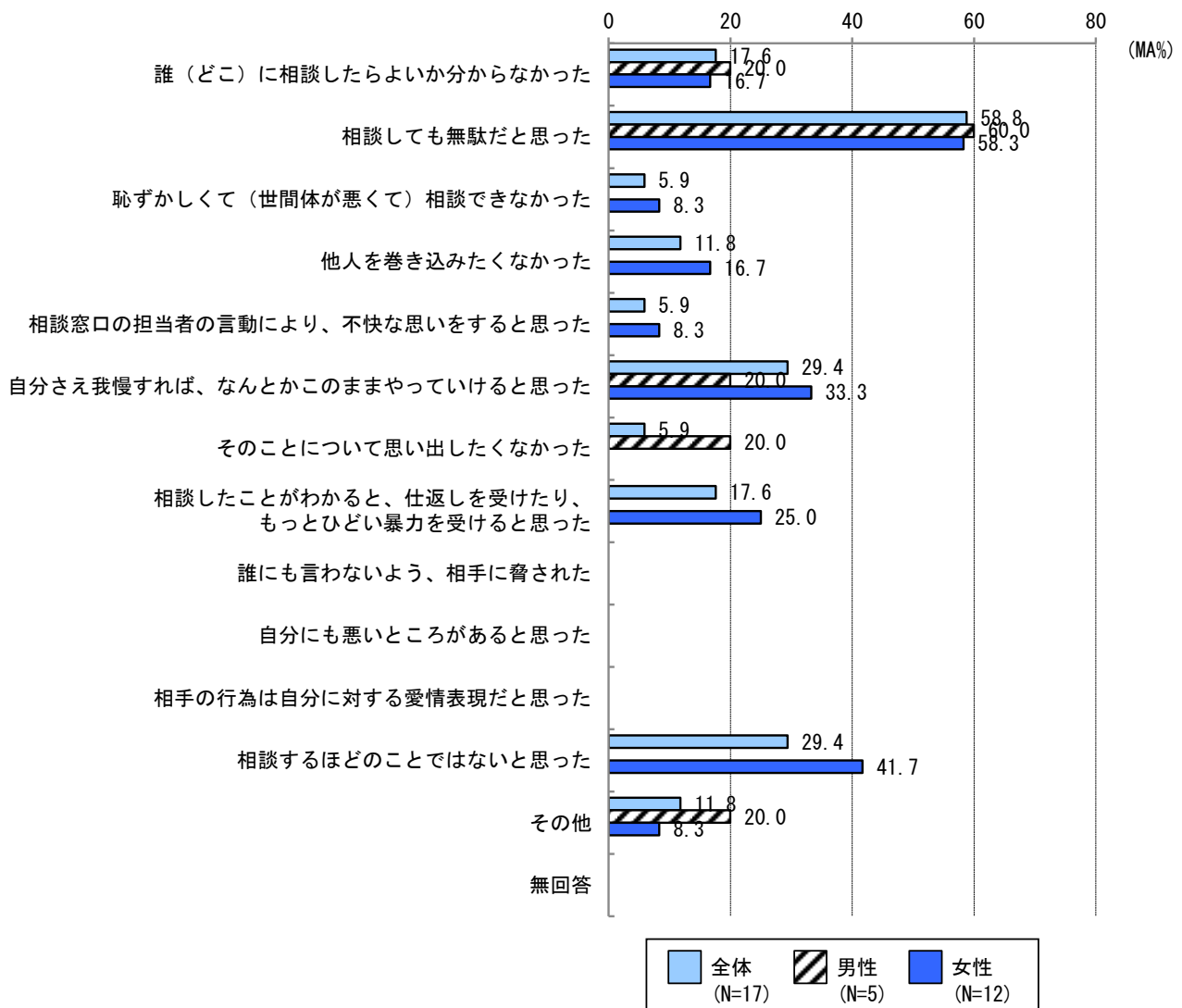
		N	態相 が手 好に 転抗 し議 した て事	改相 善手 さに れ抗 な議 かし つた が	に相 不手 利に 益抗 を議 受し けて た逆	り誰 、か 相に 談打 しち 明け た	そ の 他	かど つこ にも しな 相か つた な・	何 も し な か つ た な ・	無 回 答
全体		81	6.2	28.4	16.0	56.8	9.9	21.0	0.0	
年齢別	10歳代	2	0.0	50.0	50.0	100.0	0.0	0.0	0.0	
	20歳代	15	6.7	33.3	13.3	53.3	0.0	40.0	0.0	
	30歳代	24	12.5	20.8	16.7	62.5	20.8	20.8	0.0	
	40歳代	16	6.3	31.3	18.8	62.5	0.0	12.5	0.0	
	50歳代	15	0.0	33.3	13.3	53.3	13.3	13.3	0.0	
	60歳代	7	0.0	14.3	14.3	28.6	14.3	28.6	0.0	
	70歳代	2	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0	
	80歳代以上	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	

〔３〕相談しなかった理由

問19-1で、「6.何もしなかった・どこにも相談しなかった」を回答した方のみ
問19-2 どこへも相談しなかった理由は何ですか。【あてはまるものすべてに○】

相談しなかった理由として、全体・性別・年齢別の多くで「相談しても無駄だと思った」の割合が最も高くなっています。

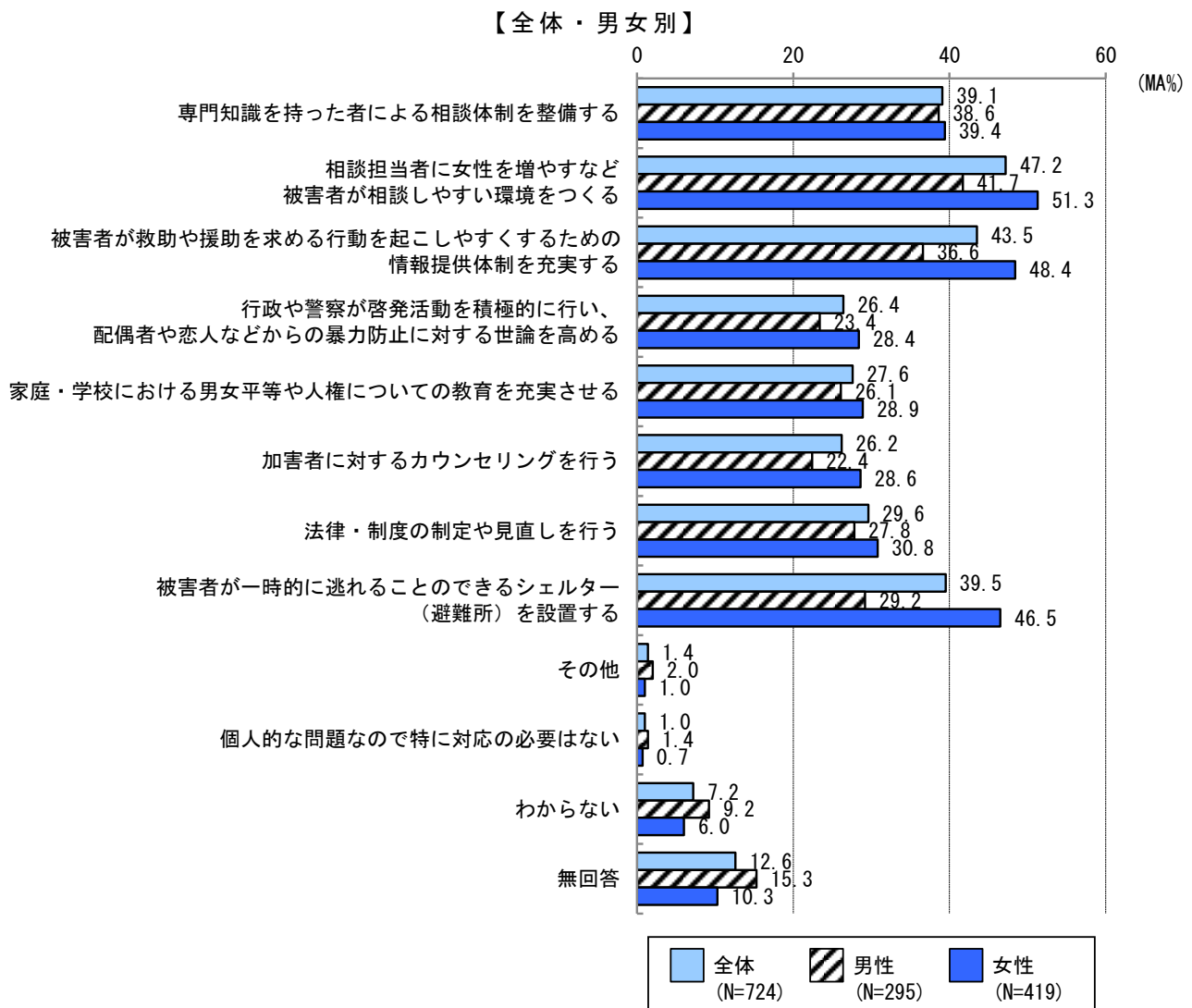
【全体・男女別】



〔４〕夫婦やパートナー間の暴力に対する対策として必要なこと

問20 夫婦やパートナー間の暴力に対する対策として、どのようなことが必要だと思いますか。【あてはまるものすべてに○】

夫婦やパートナー間の暴力に対する対策として必要なことについて、全体・性別・年齢別では、「相談担当者に女性を増やすなど被害者が相談しやすい環境をつくる」の割合が最も高くなっています。



【全体・年齢別】

(MA%)

	N	専門知識を 整備する	相手が相 談しやす い環境を つくる被	害者担当 者に女性 を増やす など被	供起しを 体制を充 実する	被害者救 済や援助 を求める 情報提	行政、配 偶者や世 論を高め る暴	行政や警 察が啓活 動を積極 的に	家庭・学 校におけ る男女平 等や人	加害者 に対する カウンセ リングを	法律・制 度の制定 や見直し を行う	被害者が 一時的に 逃れるこ とので	その他	個人的な 問題なの で特に対 応の必	わからない	無回答
全体	724	39.1	47.2	43.5	26.4	27.6	26.2	29.6	39.5	1.4	1.0	7.2	12.6			
年齢別	10歳代	58	32.8	37.9	25.9	25.9	29.3	19.0	17.2	32.8	0.0	1.7	17.2	15.5		
	20歳代	107	31.8	43.9	38.3	20.6	25.2	23.4	28.0	35.5	0.9	0.0	7.5	15.9		
	30歳代	134	41.0	53.0	43.3	32.8	32.8	27.6	46.3	50.0	0.7	0.7	4.5	10.4		
	40歳代	128	40.6	50.0	56.3	26.6	24.2	28.9	30.5	44.5	1.6	0.8	6.3	9.4		
	50歳代	131	40.5	46.6	40.5	22.9	26.7	25.2	26.7	39.7	1.5	0.0	5.3	13.7		
	60歳代	104	40.4	45.2	50.0	26.9	28.8	29.8	23.1	33.7	3.8	1.9	4.8	11.5		
	70歳代	45	53.3	51.1	46.7	37.8	33.3	35.6	28.9	35.6	0.0	4.4	6.7	13.3		
	80歳代以上	14	21.4	35.7	14.3	7.1	0.0	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	35.7	21.4		

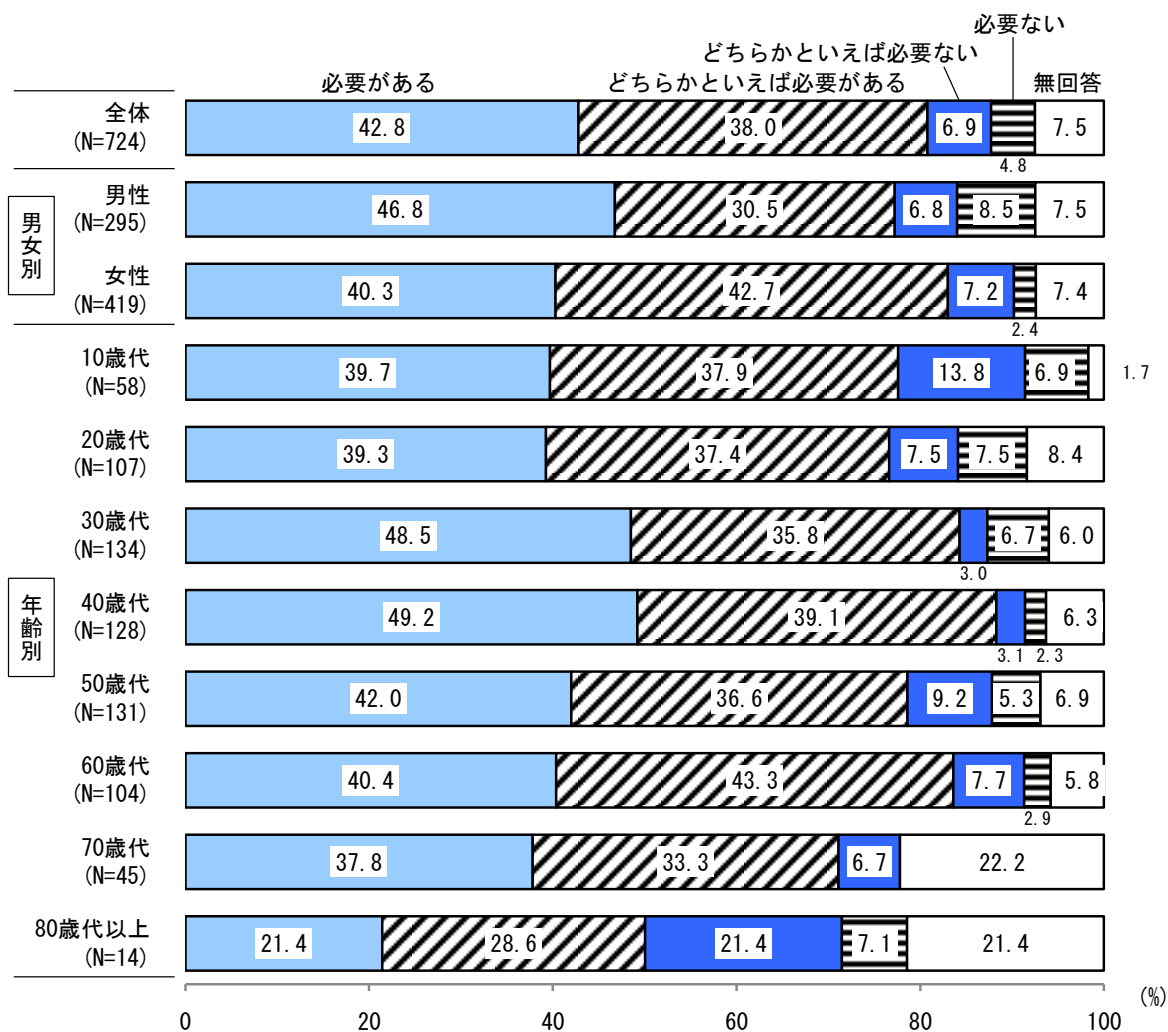
8 防災対策・災害復興対策について

〔1〕防災・災害復興対策において、性別に配慮した対応が必要だと思うか

問21 防災・災害復興対策において、性別に配慮した対応が必要だと思いますか。
【○は1つ】

防災・災害復興対策における性別に配慮した対応について、全体・性別・年齢別のすべてで必要が不必要を上回る結果となりました。

【全体・男女別・年齢別】



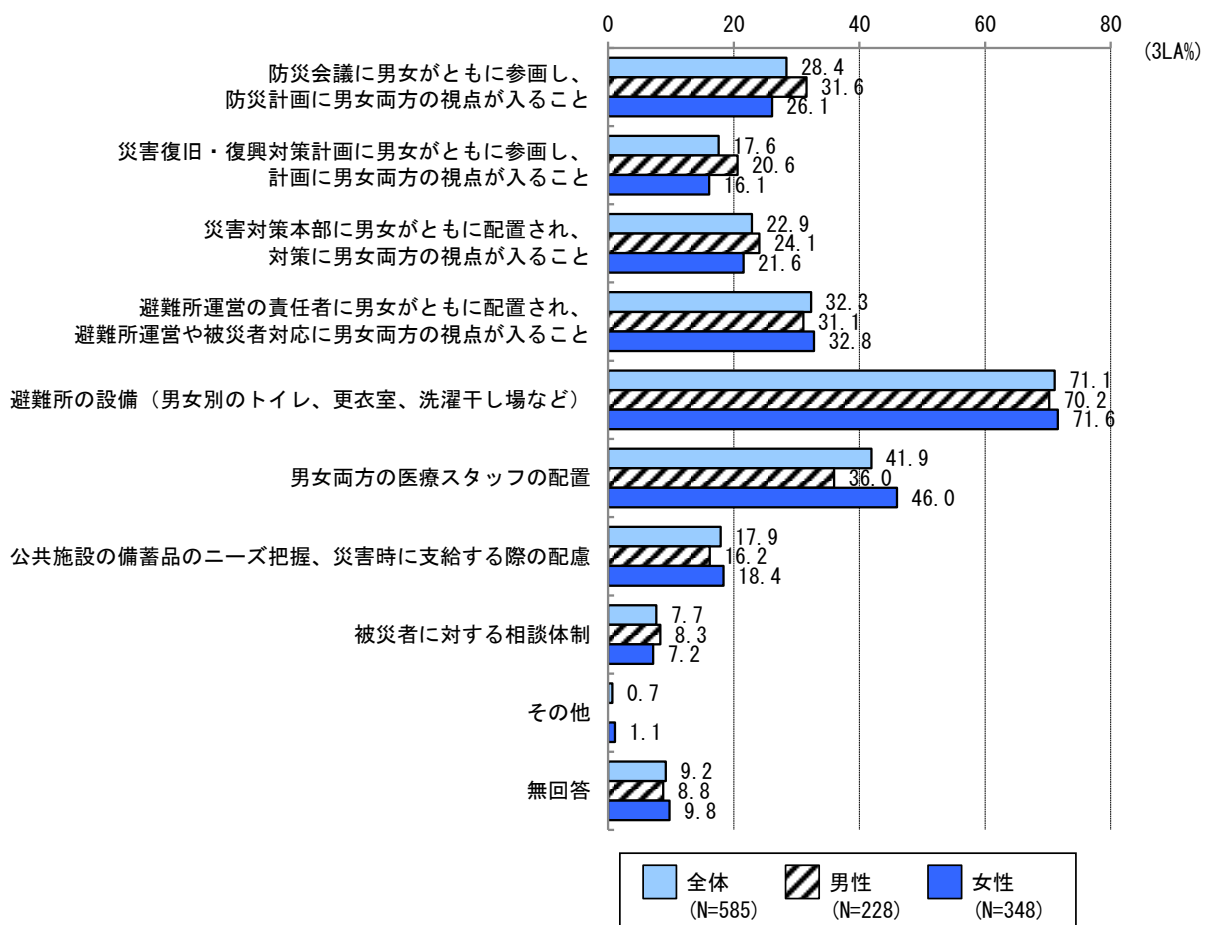
〔２〕防災・災害復興対策において、性別に配慮した対応が必要なこと

問21で、「1. 必要がある」又は「2. どちらかといえば必要がある」を回答した方のみ

問21-1 防災・災害復興対策において、性別に配慮した対応が必要なことはどのようなことですか。【〇は3つまで】

防災・災害復興対策における性別に配慮した対応について、全体・性別・年齢別のすべてで「避難所の設備（男女別のトイレ、更衣室、洗濯干し場など）」の割合が最も高くなっています。

【全体・男女別】



【全体・年齢別】

(31A%)

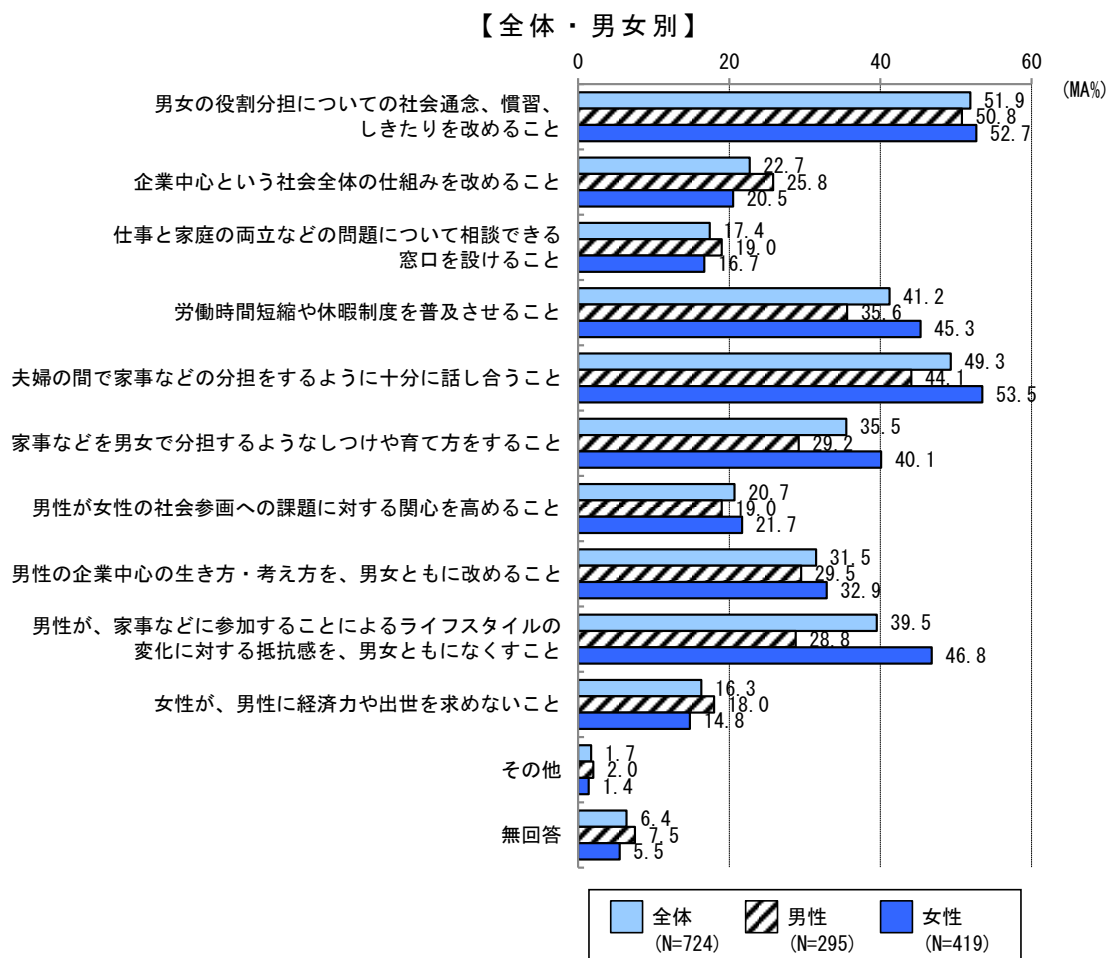
	N	点が入ること	し、防災計画に男女両方の視	女がともに入ること	災復旧・復興計画に男	視点が、対策に男女両方の	配置され、本部に男女がとも	災害対策本部に男女がとも	に男女両方の視点が入ること	避難所運営の責任者に男女がとも	避難所運営や被災者対応	ど） レ、更衣室、洗濯干し場な	避難所の設備（男女別のトイ	置男女両方の医療スタッフの配	慮、災害時の備蓄品のニーズ配	公共施設の備蓄品のニーズ配	被災者に対する相談体制	その他	無回答
全体	585	28.4	17.6	22.9	32.3	71.1	41.9	17.9	7.7	0.7	9.2								
年齢別	10歳代	45	17.8	20.0	24.4	15.6	64.4	37.8	17.8	4.4	4.4	15.6							
	20歳代	82	18.3	13.4	20.7	28.0	74.4	57.3	24.4	6.1	0.0	6.1							
	30歳代	113	28.3	12.4	15.9	30.1	71.7	52.2	18.6	8.0	0.9	10.6							
	40歳代	113	27.4	20.4	19.5	32.7	77.9	39.8	15.9	5.3	0.0	11.5							
	50歳代	103	33.0	17.5	28.2	35.9	68.0	35.0	25.2	5.8	0.0	6.8							
	60歳代	87	31.0	23.0	28.7	35.6	67.8	35.6	8.0	16.1	1.1	9.2							
	70歳代	32	43.8	21.9	28.1	46.9	65.6	18.8	9.4	9.4	0.0	6.3							
	80歳代以上	7	42.9	14.3	28.6	57.1	71.4	42.9	0.0	0.0	0.0	0.0							

9 男女共同参画のまちづくりについて

〔1〕男性が女性とともに家事、子育て、介護、地域（社会）活動に積極的に参加していくために必要なこと

問22 今後、男性が女性とともに家事、子育て、介護、地域（社会）活動に積極的に参加していくには、どんなことが必要だと思いますか。【あてはまるものすべてに○】

男女共同参画について、全体・性別・年齢別の多くで「男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること」や「夫婦の間で家事などの分担をするように十分に話し合うこと」の割合が最も高くなっています。



【全体・年齢別】

(MA%)

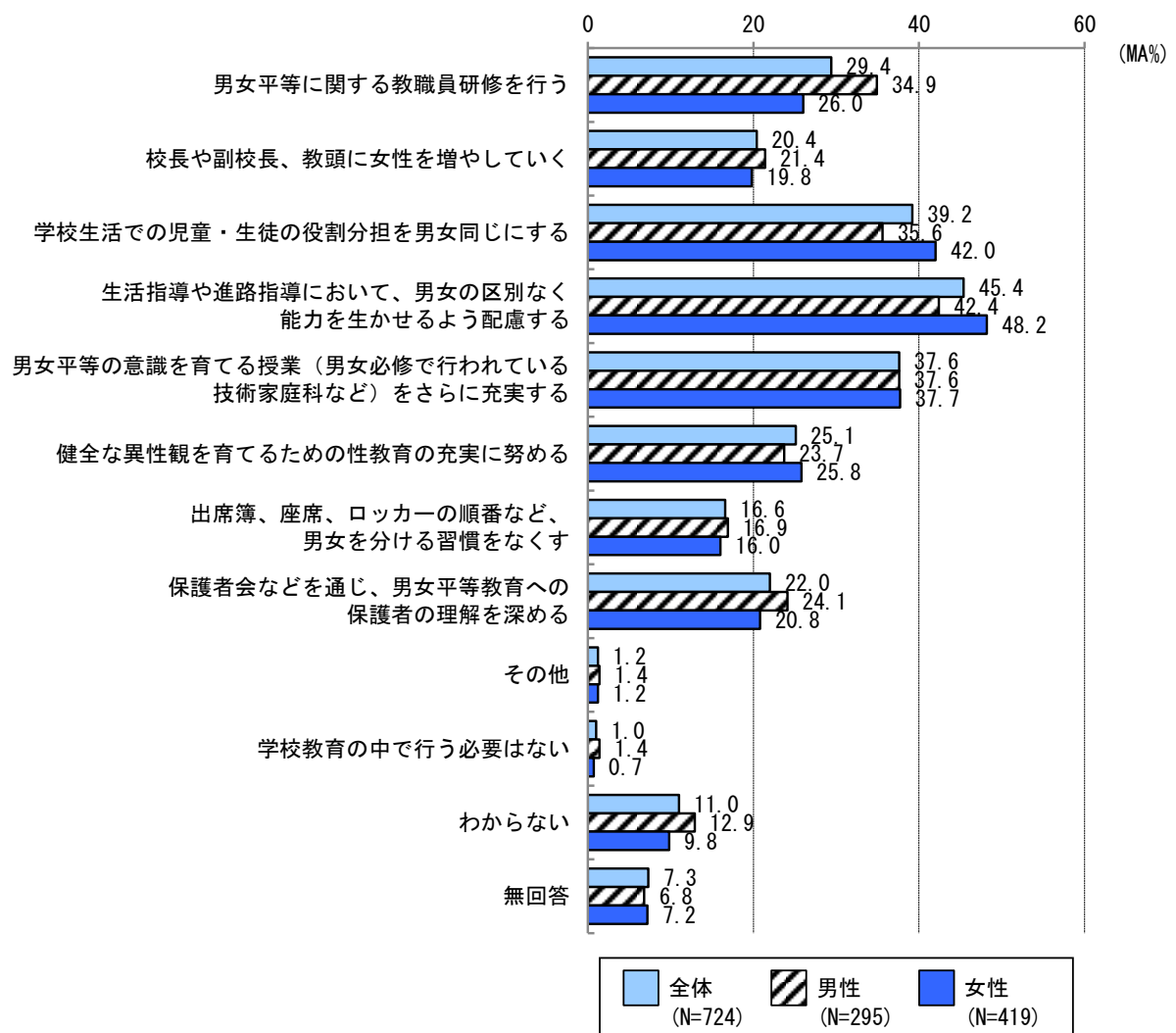
		N	めること	男女の役割分担についての社会全体の仕事の中心を担うこと	企業中心という社会全体の仕事を担うこと	仕事と家庭の両立などの問題について相談できる窓口を設けること	及させること	労働時間短縮や休暇制度を普及させること	夫婦の間で家事などの分担をすること	となしつけや育て方をすること	家事などを男女で分担すること	男性が女性の社会参画への課題に対する関心を高めること	え方を、男女ともに改めること	男性の企業中心の生き方・考え方を、男女ともに改めること	男性が、家事などに参加することによるライフスタイルの変化に対する抵抗感を、男女ともになくすこと	女性に経済力や出世を求めないこと	その他	無回答	(MA%)
全体		724	51.9	22.7	17.4	41.2	49.3	35.5	20.7	31.5	39.5	16.3	1.7	6.4					
年齢別	10歳代	58	44.8	13.8	19.0	37.9	51.7	37.9	13.8	34.5	39.7	10.3	1.7	6.9					
	20歳代	107	45.8	15.0	18.7	50.5	47.7	23.4	21.5	26.2	38.3	20.6	0.9	9.3					
	30歳代	134	54.5	26.1	17.9	53.7	54.5	38.8	23.9	31.3	48.5	24.6	0.7	6.0					
	40歳代	128	56.3	31.3	12.5	43.8	46.1	38.3	19.5	38.3	40.6	15.6	3.9	3.9					
	50歳代	131	57.3	26.0	13.0	32.8	44.3	42.0	16.8	30.5	34.4	16.8	1.5	3.1					
	60歳代	104	53.8	18.3	24.0	35.6	55.8	31.7	25.0	28.8	37.5	8.7	1.0	3.8					
	70歳代	45	44.4	26.7	26.7	22.2	48.9	35.6	24.4	40.0	33.3	8.9	2.2	15.6					
	80歳代以上	14	21.4	0.0	7.1	21.4	42.9	35.7	14.3	7.1	35.7	7.1	0.0	28.6					

〔２〕男女平等を推進していくために、学校、特に小・中・高等学校等で行うとよいと思うこと

問23 男女平等を推進していくために、学校、特に小・中・高等学校等で行うとよいと思うものはどれですか。【あてはまるものすべてに○】

男女平等推進のため学校で行うことについて、全体・性別・年齢別の多くで「生活指導や進路指導において、男女の区別なく能力を生かせるよう配慮する」の割合が最も高くなっています。

【全体・男女別】



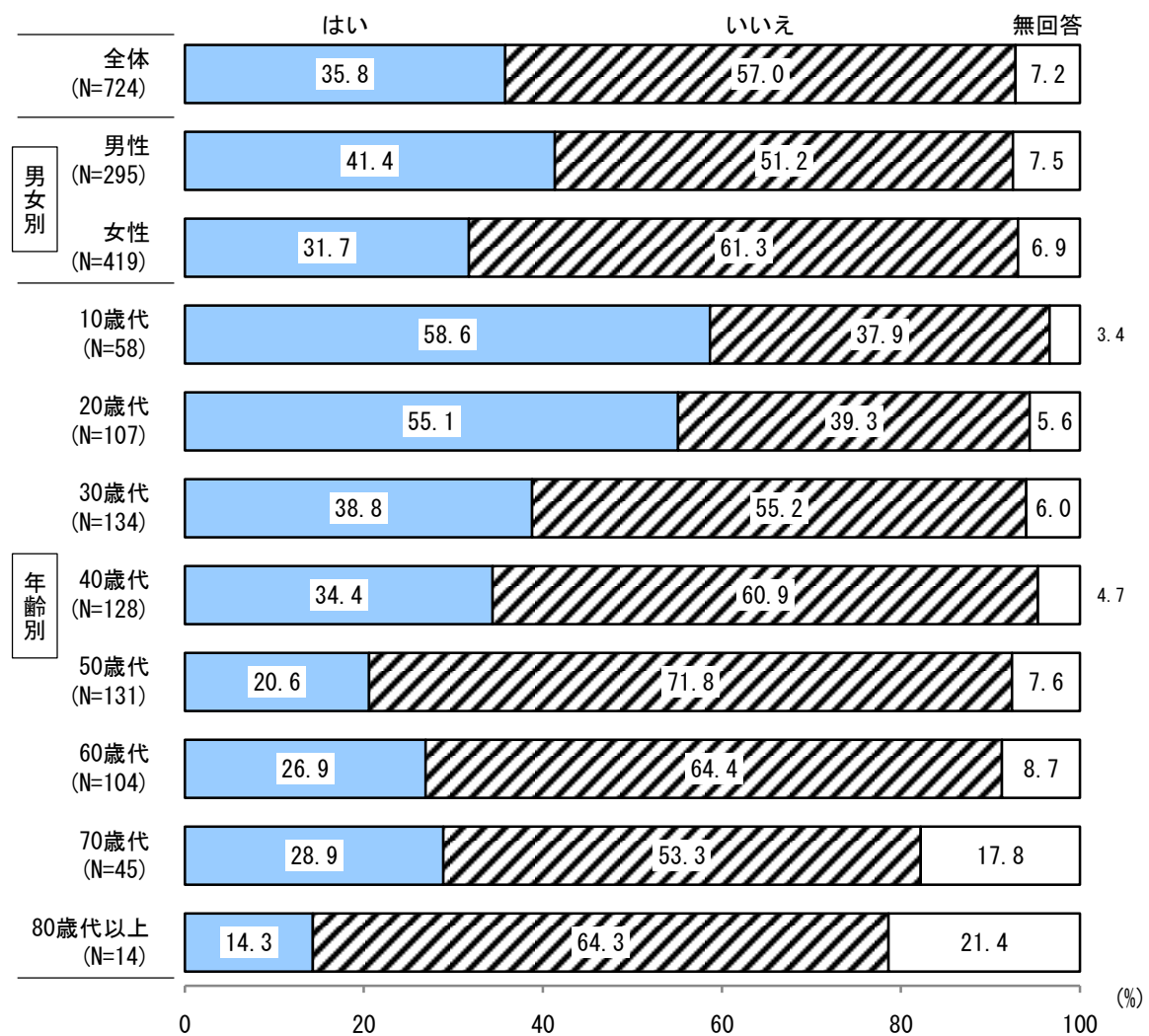
(MA%)																				
		N	修男 女平 等を 行う	校増 や副 校長 、教 頭に 女性	役割 分担 を男 女同 じに する	学校 生活 での 児童 ・生 徒の	生か せる よう に配 慮す る	生活 指導 や進 路指 導に おい る	男女 平等 の意 識を 育て る授 業（ 男女 必修 で行 われ てい る技 術家 庭科 など ）を さら に充 実す る	健全 な異 性観 を育 てる ため の性 教育 の充 実に 努め る	慣番 など 、男 女を 分け る習 い	出席 簿、 座席 、ロッ カーの 習	平等 教育 への 保護 者の 理解	保護 者会 など を通 じ、 男女	その 他	な い	学 校教 育の 中で 行う 必要 は	わ から ない	無 回 答	
全体		724	29.4	20.4	39.2	45.4	37.6	25.1	16.6	22.0	1.2	1.0	11.0	7.3						
年齢別	10歳代	58	22.4	34.5	39.7	41.4	37.9	25.9	32.8	17.2	0.0	1.7	19.0	1.7						
	20歳代	107	26.2	15.9	37.4	33.6	34.6	21.5	17.8	18.7	0.9	0.0	10.3	9.3						
	30歳代	134	31.3	31.3	44.8	48.5	40.3	34.3	21.6	18.7	2.2	0.7	10.4	5.2						
	40歳代	128	31.3	15.6	38.3	42.2	48.4	28.1	17.2	19.5	0.8	0.8	10.2	3.9						
	50歳代	131	33.6	19.8	37.4	48.9	31.3	19.1	14.5	22.1	1.5	2.3	12.2	4.6						
	60歳代	104	31.7	17.3	39.4	59.6	35.6	24.0	6.7	34.6	1.0	1.0	9.6	5.8						
	70歳代	45	28.9	11.1	40.0	42.2	37.8	24.4	11.1	28.9	2.2	0.0	4.4	22.2						
	80歳代以上	14	0.0	0.0	21.4	28.6	14.3	0.0	0.0	7.1	0.0	0.0	21.4	42.9						

〔3〕 男女共同参画について、学んだり、教えられたりしたことがあるか

問24 あなたは、男女共同参画がどういうものなのかということを、学んだり、教えられたりしたことがありますか。【○は1つ】

男女共同参画について、全体・性別では、「いいえ」が「はい」の割合を上回っています。
年齢別では、10歳代・20歳代では「はい」が「いいえ」を上回っていますが、30歳代～80歳代以上では「いいえ」が「はい」を上回っています。

【全体・男女別・年齢別】



【拡大集計】

	調査数	はい	いいえ	無回答
R2調査(拡大集計なし)	724	35.8	57.0	7.2
拡大集計①(人口比)	1,172	35.6	57.1	7.4
拡大集計②(H27調査比)	2,797	29.9	61.1	9.1
H27調査	525	21.3	71.2	7.4

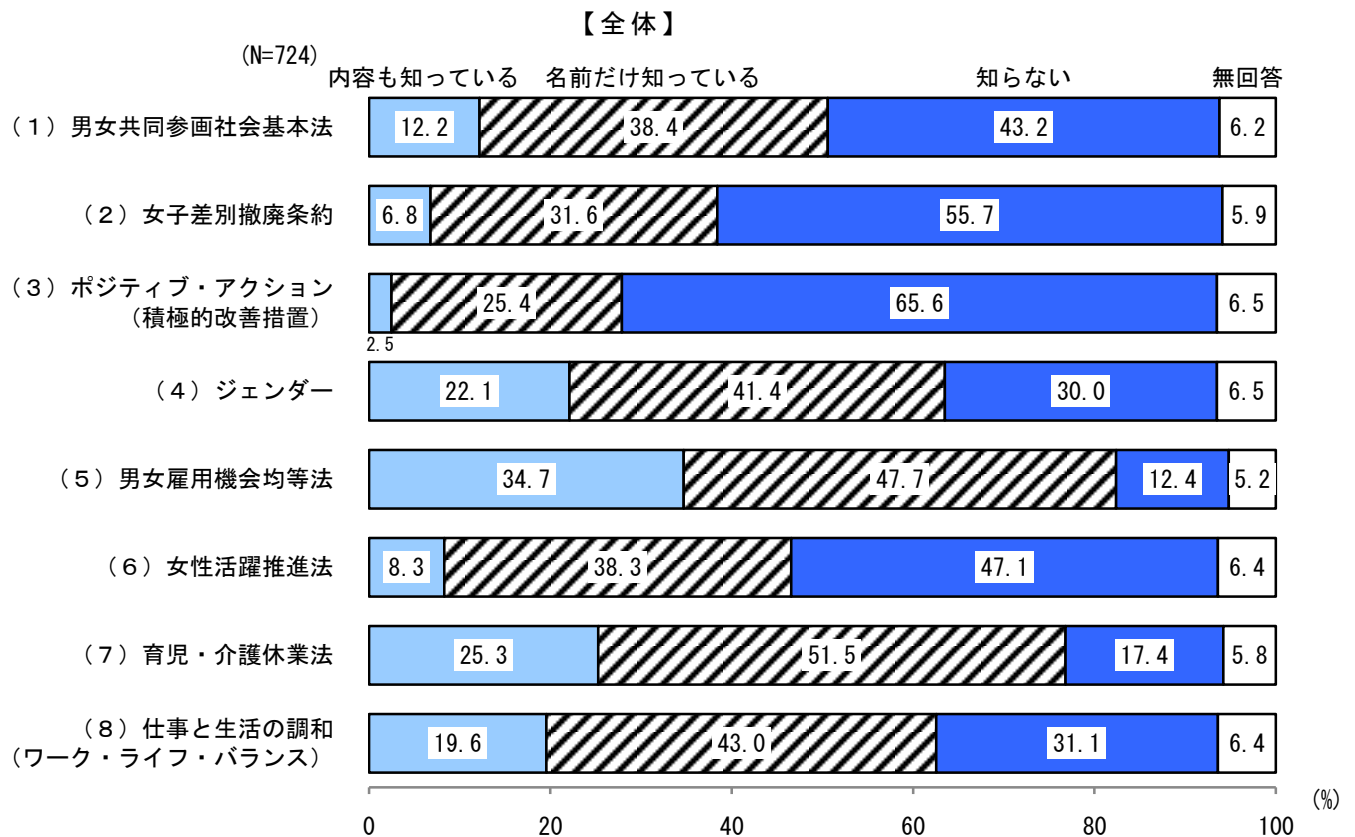
【目標値】

指標	平成 26 年度 実績値	平成 31 年度 目標値	令和2年度 実績値
男女共同参画について学んだり、教えられたりしたことがある住民の割合	21.3%	36.0%	35.8% 35.6% 29.9%

〔４〕言葉や名称の認知度

問25 次のような言葉や名称について、あなたが見たり、聞いたりしたことはありますか。【それぞれに1つずつ○】

名称の認知度について、全体として最も認知度が高いのが「（５）男女雇用機会均等法」、次いで高いのが「（７）育児・介護休業法」となっています。



(1) 男女共同参画社会基本法

男女共同参画社会基本法について、全体としては「知らない」が43.2%と最も高くなっています。

性別で見ると、男性では「名前だけ知っている」と回答した割合が最も高くなっているのに対し、女性では「知らない」と回答した割合が最も高くなっていることから、男女間での認識に差が出ています。

年齢別で見ると、10歳代・20歳代でこの基本法について知っている人の割合が高かったのに対し、30歳代～80歳代以上のほぼすべての世代で「知らない」の割合が最も高くなっていることが分かります。

【全体・男女別・年齢別】

		(%)				
		N	内容も知っている	名前だけ知っている	知らない	無回答
全体		724	12.2	38.4	43.2	6.2
男女別	男性	295	14.6	40.0	39.0	6.4
	女性	419	10.3	37.5	46.3	6.0
年齢別	10歳代	58	37.9	34.5	24.1	3.4
	20歳代	107	22.4	42.1	29.0	6.5
	30歳代	134	14.2	33.6	48.5	3.7
	40歳代	128	6.3	42.2	46.1	5.5
	50歳代	131	4.6	35.9	53.4	6.1
	60歳代	104	5.8	40.4	49.0	4.8
	70歳代	45	6.7	51.1	22.2	20.0
	80歳代以上	14	0.0	14.3	71.4	14.3

(2) 女子差別撤廃条約

女子差別撤廃条約については、全体・性別・年齢別のほぼすべてで「知らない」の割合が最も高くなっています。

【全体・男女別・年齢別】

		(%)				
		N	内容も知っている	名前だけ知っている	知らない	無回答
全体		724	6.8	31.6	55.7	5.9
男女別	男性	295	8.5	32.2	52.9	6.4
	女性	419	5.3	30.8	58.5	5.5
年齢別	10歳代	58	27.6	39.7	31.0	1.7
	20歳代	107	8.4	40.2	45.8	5.6
	30歳代	134	11.9	32.8	51.5	3.7
	40歳代	128	0.8	38.3	57.0	3.9
	50歳代	131	1.5	24.4	67.9	6.1
	60歳代	104	2.9	26.0	66.3	4.8
	70歳代	45	4.4	22.2	51.1	22.2
	80歳代以上	14	0.0	0.0	78.6	21.4

(3) ポジティブ・アクション（積極的改善措置）

ポジティブ・アクション（積極的改善措置）については、全体・性別・年齢別のすべてで「知らない」の割合が最も高くなっています。

【全体・男女別・年齢別】

		(%)				
		N	内容も知っている	名前だけ知っている	知らない	無回答
全体		724	2.5	25.4	65.6	6.5
男女別	男性	295	3.7	28.8	61.0	6.4
	女性	419	1.4	22.7	69.5	6.4
年齢別	10歳代	58	3.4	36.2	58.6	1.7
	20歳代	107	6.5	23.4	64.5	5.6
	30歳代	134	3.7	29.9	61.9	4.5
	40歳代	128	0.8	24.2	70.3	4.7
	50歳代	131	0.0	26.0	67.9	6.1
	60歳代	104	1.9	24.0	68.3	5.8
	70歳代	45	2.2	17.8	55.6	24.4
	80歳代以上	14	0.0	0.0	78.6	21.4

(4) ジェンダー

ジェンダーについては、全体・性別・年齢別の多くで「名前だけ知っている」の割合が最も高くなっています。

【全体・男女別・年齢別】

		(%)				
		N	内容も知っている	名前だけ知っている	知らない	無回答
全体		724	22.1	41.4	30.0	6.5
男女別	男性	295	19.0	42.0	32.2	6.8
	女性	419	24.1	41.1	28.6	6.2
年齢別	10歳代	58	34.5	36.2	27.6	1.7
	20歳代	107	34.6	42.1	16.8	6.5
	30歳代	134	25.4	51.5	18.7	4.5
	40歳代	128	25.8	43.0	27.3	3.9
	50歳代	131	19.8	44.3	30.5	5.3
	60歳代	104	7.7	35.6	48.1	8.7
	70歳代	45	4.4	26.7	48.9	20.0
	80歳代以上	14	0.0	7.1	71.4	21.4

(5) 男女雇用機会均等法

男女雇用機会均等法については、全体・性別・年齢別のほぼすべてで「名前だけ知っている」の割合が最も高くなっています。

【全体・男女別・年齢別】

		(%)				
		N	内容も知っている	名前だけ知っている	知らない	無回答
全体		724	34.7	47.7	12.4	5.2
男女別	男性	295	38.0	45.4	10.5	6.1
	女性	419	32.2	49.2	14.1	4.5
年齢別	10歳代	58	41.4	41.4	15.5	1.7
	20歳代	107	36.4	48.6	9.3	5.6
	30歳代	134	33.6	48.5	14.2	3.7
	40歳代	128	43.8	42.2	10.9	3.1
	50歳代	131	35.1	49.6	10.7	4.6
	60歳代	104	30.8	52.9	11.5	4.8
	70歳代	45	17.8	46.7	15.6	20.0
	80歳代以上	14	7.1	42.9	35.7	14.3

(6) 女性活躍推進法

女性活躍推進法について、全体・性別・年齢別のほぼすべてで「知らない」の割合が最も高くなっています。

【全体・男女別・年齢別】

		(%)				
		N	内容も知っている	名前だけ知っている	知らない	無回答
全体		724	8.3	38.3	47.1	6.4
男女別	男性	295	9.2	43.4	40.7	6.8
	女性	419	7.2	34.4	52.7	5.7
年齢別	10歳代	58	8.6	37.9	51.7	1.7
	20歳代	107	8.4	37.4	47.7	6.5
	30歳代	134	14.9	39.6	41.8	3.7
	40歳代	128	9.4	38.3	47.7	4.7
	50歳代	131	5.3	37.4	51.1	6.1
	60歳代	104	3.8	43.3	48.1	4.8
	70歳代	45	6.7	33.3	37.8	22.2
	80歳代以上	14	0.0	14.3	64.3	21.4

(7) 育児・介護休業法

育児・介護休業法について、全体・性別・年齢別のすべてで「名前だけ知っている」の割合が最も高くなっています。

【全体・男女別・年齢別】

		(%)				
		N	内容も知っている	名前だけ知っている	知らない	無回答
全体		724	25.3	51.5	17.4	5.8
男女別	男性	295	23.7	51.2	18.6	6.4
	女性	419	26.0	51.8	16.9	5.3
年齢別	10歳代	58	20.7	50.0	27.6	1.7
	20歳代	107	27.1	47.7	19.6	5.6
	30歳代	134	30.6	50.7	14.2	4.5
	40歳代	128	35.2	41.4	19.5	3.9
	50歳代	131	23.7	54.2	17.6	4.6
	60歳代	104	17.3	61.5	16.3	4.8
	70歳代	45	11.1	66.7	0.0	22.2
	80歳代以上	14	7.1	35.7	35.7	21.4

(8) 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）

仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）について、全体・性別・年齢別の多くで「名前だけ知っている」の割合が最も高くなっています。

【全体・男女別・年齢別】

		(%)				
		N	内容も知っている	名前だけ知っている	知らない	無回答
全体		724	19.6	43.0	31.1	6.4
男女別	男性	295	22.0	42.4	28.8	6.8
	女性	419	17.9	43.2	32.9	6.0
年齢別	10歳代	58	41.4	31.0	25.9	1.7
	20歳代	107	32.7	32.7	27.1	7.5
	30歳代	134	20.1	50.0	26.1	3.7
	40歳代	128	19.5	44.5	31.3	4.7
	50歳代	131	13.7	46.6	34.4	5.3
	60歳代	104	10.6	49.0	34.6	5.8
	70歳代	45	4.4	40.0	33.3	22.2
	80歳代以上	14	0.0	14.3	64.3	21.4

【拡大集計】

	調 査 数	内 容 も 知 っ て い る	名 前 だ け 知 っ て い る	知 ら な い	無 回 答
R2調査(拡大集計なし)	724	19.6	43.0	31.1	6.4
拡大集計①(人口比)	1,172	19.3	42.7	31.5	6.5
拡大集計②(H27調査比)	2,797	13.7	44.0	34.1	8.1
	調 査 数	こ と （ 見 聞 き ） あ る た	こ と （ 見 聞 き ） な い た	無 回 答	
H27調査	525	39.4	43.6	17.0	

【目標値】

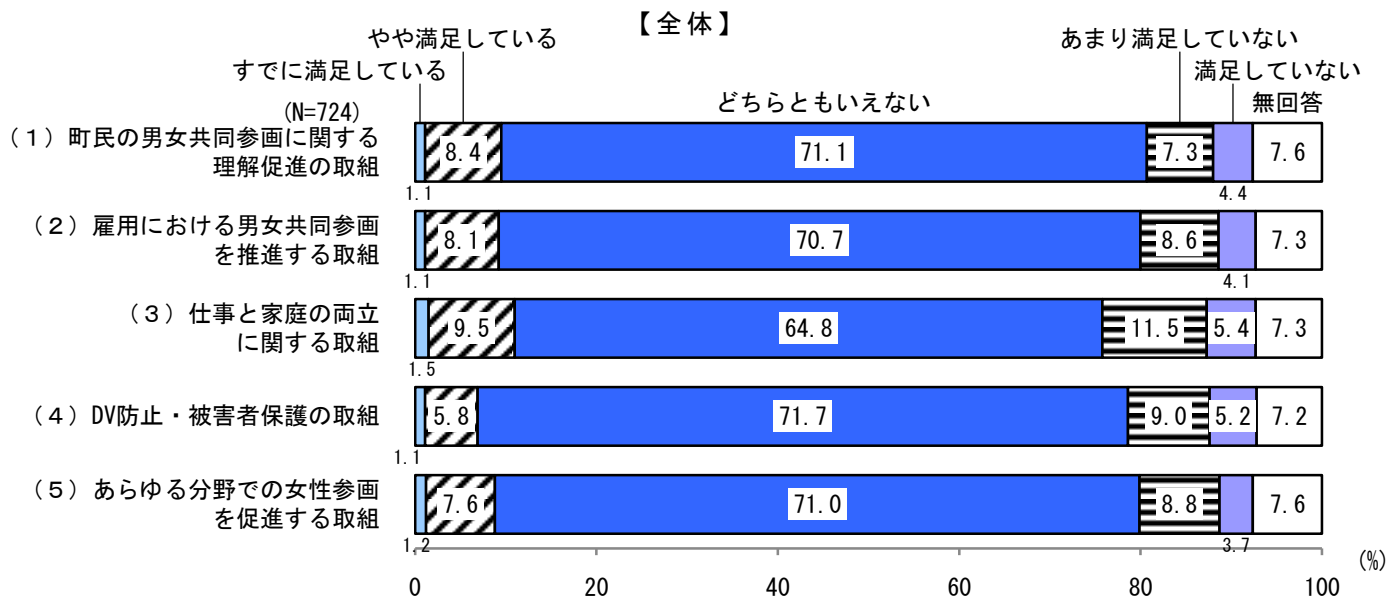
指標	平成 26 年度 実績値	平成 31 年度 目標値	令和2年度 実績値
仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）について見聞きしたことがある割合	39.4%	50.0%	62.6% 62.0% 57.7%

〔５〕町の施策・取組の満足度・重要度

問26 それぞれの項目に関する町の施策・取組について、どの程度満足していますか。また、重要と思いますか。各項目について「満足度」と「重要度」の両方を回答してください。【それぞれに1つずつ○】

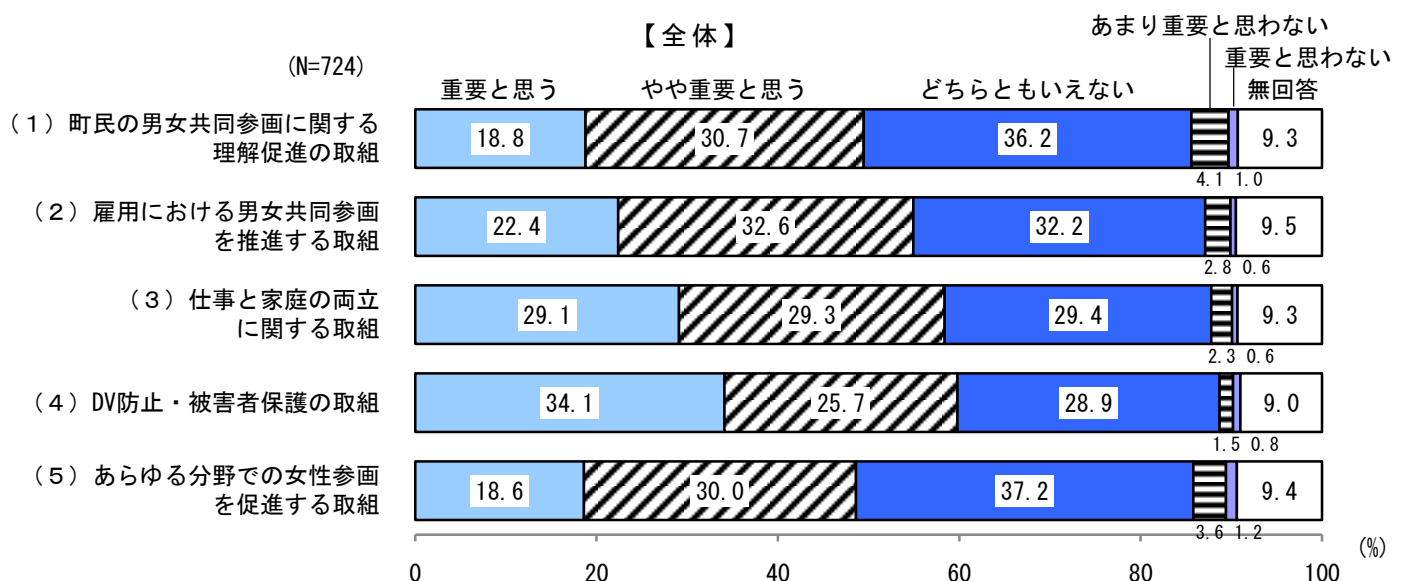
<満足度>

町の施策・取組の満足度について、「どちらともいえない」の割合がすべての項目で最も高くなっています。



<重要度>

町の施策・取組の重要度について、すべての項目で「重要と思う」、「やや重要と思う」の割合が、「重要と思わない」、「あまり重要と思わない」の割合を上回っています。



（１） 町民の男女共同参画に関する理解促進の取組

町民の男女共同参画に関する理解促進の取組について、＜満足度＞では全体・性別・年齢別のすべてで「どちらともいえない」の割合が最も高くなっています。

また、＜重要度＞においては全体・性別・年齢別の多くで「どちらともいえない」の割合が最も高くなっています。

【全体・男女別・年齢別】

		＜満足度＞							(%)	＜重要度＞							(%)
		N	すでに満足している	やや満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	満足していない	無回答		重要と思う	やや重要と思う	どちらともいえない	あまり重要と思わない	重要と思わない	無回答		
全体		724	1.1	8.4	71.1	7.3	4.4	7.6		18.8	30.7	36.2	4.1	1.0	9.3		
男女別	男性	295	1.7	9.8	65.1	9.5	4.7	9.2		19.0	27.8	36.3	5.4	1.4	10.2		
	女性	419	0.5	7.6	75.4	5.5	4.3	6.7		18.9	32.2	36.3	3.1	0.7	8.8		
年齢別	10歳代	58	3.4	19.0	62.1	6.9	3.4	5.2		20.7	29.3	37.9	5.2	0.0	6.9		
	20歳代	107	0.0	12.1	72.0	10.3	0.0	5.6		20.6	24.3	43.9	3.7	0.0	7.5		
	30歳代	134	1.5	3.0	78.4	6.0	6.0	5.2		15.7	32.1	39.6	5.2	2.2	5.2		
	40歳代	128	0.8	3.9	78.1	6.3	5.5	5.5		23.4	36.7	29.7	1.6	0.8	7.8		
	50歳代	131	1.5	6.9	74.0	8.4	3.8	5.3		21.4	26.0	36.6	4.6	0.8	10.7		
	60歳代	104	1.0	11.5	61.5	6.7	6.7	12.5		14.4	37.5	34.6	3.8	0.0	9.6		
	70歳代	45	0.0	13.3	64.4	6.7	2.2	13.3		15.6	24.4	33.3	6.7	2.2	17.8		
	80歳代以上	14	0.0	7.1	35.7	0.0	14.3	42.9		7.1	14.3	21.4	7.1	7.1	42.9		

（２） 雇用における男女共同参画を推進する取組

雇用における男女共同参画を推進する取組について、＜満足度＞では全体・性別・年齢別のすべてで「どちらともいえない」の割合が最も高くなっています。

また、＜重要度＞において全体として「やや重要と思う」の割合が最も高くなっています。性別においては、町の施策・取組について重要と考える割合が男性よりも女性で高くなっており、年齢別では多くの世代で「やや重要と思う」の割合が最も高くなっています。

【全体・男女別・年齢別】

		＜満足度＞							＜重要度＞						
		N	すでに満足している	やや満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	満足していない	無回答	重要と思う	やや重要と思う	どちらともいえない	あまり重要と思わない	重要と思わない	無回答	
全体		724	1.1	8.1	70.7	8.6	4.1	7.3	22.4	32.6	32.2	2.8	0.6	9.5	
男女別	男性	295	1.4	10.2	64.7	10.2	5.1	8.5	23.1	29.8	31.9	4.1	0.7	10.5	
	女性	419	0.7	6.7	74.9	7.4	3.6	6.7	21.5	34.8	32.5	1.7	0.5	9.1	
年齢別	10歳代	58	3.4	19.0	67.2	3.4	3.4	3.4	25.9	27.6	36.2	3.4	0.0	6.9	
	20歳代	107	0.0	12.1	74.8	7.5	0.0	5.6	21.5	25.2	43.9	0.9	0.0	8.4	
	30歳代	134	0.7	5.2	71.6	11.9	6.0	4.5	19.4	38.1	33.6	3.0	0.0	6.0	
	40歳代	128	0.8	4.7	75.0	7.8	5.5	6.3	25.8	38.3	25.0	1.6	0.8	8.6	
	50歳代	131	2.3	5.3	74.0	8.4	4.6	5.3	26.0	29.8	29.8	3.8	0.8	9.9	
	60歳代	104	1.0	9.6	62.5	10.6	4.8	11.5	18.3	38.5	29.8	3.8	0.0	9.6	
	70歳代	45	0.0	11.1	64.4	8.9	2.2	13.3	24.4	20.0	33.3	2.2	2.2	17.8	
	80歳代以上	14	0.0	0.0	50.0	0.0	7.1	42.9	0.0	21.4	21.4	7.1	7.1	42.9	

（３） 仕事と家庭の両立に関する取組

仕事と家庭の両立に関する取組について、＜満足度＞において全体・性別・年齢別のすべてで「どちらともいえない」の割合が最も高くなっています。

＜重要度＞において全体として「どちらともいえない」の割合が最も高くなっています。性別においては、仕事と家庭の両立を重要と考える割合が男性よりも女性で高くなっています。年齢別で見ると、10歳代・20歳代・50歳代では「どちらともいえない」、30歳代・40歳代では「重要と思う」、60歳代～80歳代以上では「やや重要と思う」の割合が最も高くなっています。

【全体・男女別・年齢別】

		＜満足度＞							＜重要度＞						
		N	すでに満足している	やや満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	満足していない	無回答							
								(%)						(%)	
全体		724	1.5	9.5	64.8	11.5	5.4	7.3	29.1	29.3	29.4	2.3	0.6	9.3	
男女別	男性	295	2.0	11.2	62.0	11.2	4.7	8.8	27.1	28.1	29.8	3.4	0.7	10.8	
	女性	419	1.0	8.6	66.6	11.5	6.0	6.4	30.5	30.1	29.1	1.4	0.5	8.4	
年齢別	10歳代	58	3.4	22.4	62.1	5.2	3.4	3.4	29.3	27.6	32.8	3.4	0.0	6.9	
	20歳代	107	0.9	14.0	67.3	11.2	0.9	5.6	31.8	20.6	40.2	0.0	0.0	7.5	
	30歳代	134	1.5	4.5	67.9	11.9	9.7	4.5	32.8	30.6	27.6	3.0	0.0	6.0	
	40歳代	128	0.0	7.0	66.4	14.8	5.5	6.3	35.2	32.8	22.7	1.6	0.8	7.0	
	50歳代	131	2.3	4.6	65.6	16.8	5.3	5.3	29.0	26.0	31.3	3.1	0.8	9.9	
	60歳代	104	1.9	11.5	63.5	5.8	6.7	10.6	22.1	36.5	27.9	2.9	0.0	10.6	
	70歳代	45	2.2	11.1	57.8	8.9	4.4	15.6	17.8	31.1	28.9	2.2	2.2	17.8	
	80歳代以上	14	0.0	21.4	35.7	0.0	0.0	42.9	7.1	21.4	14.3	7.1	7.1	42.9	

（４） DV 防止・被害者保護の取組

DV 防止・被害者保護の取組について、＜満足度＞において全体・性別・年齢別のすべてで「どちらともいえない」の割合が最も高くなっています。

＜重要度＞において全体・性別・年齢別の多くで「重要と思う」の割合が最も高くなっています。

【全体・男女別・年齢別】

【生活満足度】									【生活の質】						
＜満足度＞									＜重要度＞						
		N	るす でに 満足 してい	やや 満足 してい	いど ちら とも いえ ない	あ ま り 満 足 し て い	満 足 し て い な い	無 回 答		重 要 と 思 う	やや 重 要 と 思 う	いど ちら とも いえ ない	あ ま り 重 要 と 思 わ ない	重 要 と 思 わ ない	無 回 答
全体		724	1.1	5.8	71.7	9.0	5.2	7.2		34.1	25.7	28.9	1.5	0.8	9.0
男女別	男性	295	1.7	7.1	67.1	10.8	4.4	8.8		33.9	21.0	31.2	2.4	0.7	10.8
	女性	419	0.5	5.0	74.9	7.6	5.7	6.2		33.9	29.1	27.4	0.7	1.0	7.9
年齢別	10歳代	58	3.4	12.1	70.7	6.9	3.4	3.4		27.6	29.3	32.8	3.4	0.0	6.9
	20歳代	107	0.0	10.3	72.0	10.3	1.9	5.6		34.6	19.6	38.3	0.0	0.0	7.5
	30歳代	134	1.5	3.7	75.4	9.0	6.0	4.5		36.6	22.4	32.8	1.5	0.7	6.0
	40歳代	128	0.0	5.5	76.6	7.0	5.5	5.5		39.1	32.0	21.1	0.8	0.8	6.3
	50歳代	131	1.5	3.8	71.8	12.2	5.3	5.3		35.9	23.7	27.5	1.5	1.5	9.9
	60歳代	104	1.0	5.8	68.3	6.7	8.7	9.6		29.8	29.8	26.9	2.9	1.0	9.6
	70歳代	45	2.2	0.0	64.4	13.3	2.2	17.8		28.9	22.2	26.7	2.2	2.2	17.8
	80歳代以上	14	0.0	7.1	42.9	0.0	7.1	42.9		14.3	28.6	14.3	0.0	0.0	42.9

(5) あらゆる分野での女性参画を促進する取組

あらゆる分野での女性参画を促進する取組について、＜満足度＞において全体・性別・年齢別のすべてで「どちらともいえない」の割合が最も高くなっています。

＜重要度＞において全体・性別・年齢別の多くで「どちらともいえない」の割合が最も高くなっています。

【全体・男女別・年齢別】

		＜満足度＞							（%）	＜重要度＞							（%）
		N	すでに満足している	やや満足している	どちらともいえない	あまり満足していない	満足していない	無回答		重要と思う	やや重要と思う	どちらともいえない	あまり重要と思わない	重要と思わない	無回答		
全体		724	1.2	7.6	71.0	8.8	3.7	7.6		18.6	30.0	37.2	3.6	1.2	9.4		
男女別	男性	295	1.4	9.5	66.1	10.2	4.1	8.8		16.9	29.8	36.3	4.7	2.0	10.2		
	女性	419	1.0	6.2	74.7	7.9	3.3	6.9		19.3	30.5	37.7	2.6	0.7	9.1		
年齢別	10歳代	58	3.4	19.0	63.8	6.9	3.4	3.4		27.6	25.9	36.2	3.4	0.0	6.9		
	20歳代	107	0.0	10.3	76.6	7.5	0.0	5.6		17.8	26.2	46.7	1.9	0.0	7.5		
	30歳代	134	0.7	2.2	75.4	11.2	5.2	5.2		17.2	27.6	42.5	5.2	0.7	6.7		
	40歳代	128	0.8	7.8	75.8	5.5	3.9	6.3		21.1	37.5	31.3	1.6	0.8	7.8		
	50歳代	131	2.3	2.3	75.6	10.7	3.8	5.3		19.8	26.0	37.4	4.6	2.3	9.9		
	60歳代	104	1.0	11.5	60.6	11.5	4.8	10.6		11.5	38.5	33.7	4.8	1.9	9.6		
	70歳代	45	0.0	11.1	60.0	8.9	4.4	15.6		17.8	31.1	28.9	2.2	2.2	17.8		
	80歳代以上	14	7.1	0.0	42.9	0.0	0.0	50.0		14.3	7.1	21.4	7.1	7.1	42.9		

Ⅲ. 事業所調査の結果

1 事業所の概要について

〔1〕業種

問1 貴事業所の業種をお答えください。【〇は1つ】

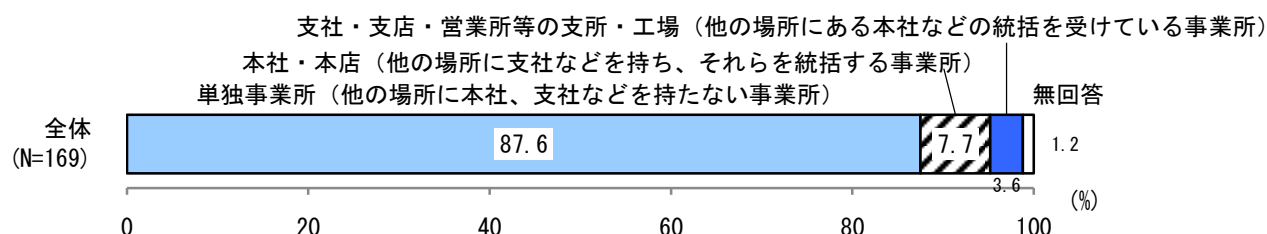
事業所の業種では、「建設業（土木・建築・設備工事等）」の割合が24.9%と最も高くなっています。次いで高いのが、「卸売業・小売業」の14.8%となっています。

N	農 林 漁 業	鉱 業	建 設 業 （ 土 木 ・ 建 築 ・ 設 備 工 事 等 ）	製 造 業	給 電 気 ・ 水 道 業	情 報 通 信 業	運 輸 業 ・ 郵 便 業	卸 売 業 ・ 小 売 業	金 融 業 ・ 保 険 業	業 不 動 産 業 ・ 物 品 賃 貸	学 術 研 究 ・ 専 門 ・ 技 術 サ ー ビ ス 業	宿 泊 業 ・ 飲 食 サ ー ビ ス 業	生 活 関 連 サ ー ビ ス 業 ・ 娯 楽 業	教 育 ・ 学 習 支 援 業	医 療 ・ 福 祉	類 さ れ な い 業 （ 他 に 分 類 さ れ な い も の ）	サ ー ビ ス 業 （ 他 に 分 類 さ れ な い も の ）	そ の 他	無 回 答
169	4.1	1.8	24.9	11.8	3.0	0.0	3.0	14.8	0.0	0.6	2.4	12.4	3.6	2.4	1.2	10.7	2.4	2.4	1.2

〔2〕事業所の形態

問2 貴事業所の形態をお答えください。【〇は1つ】

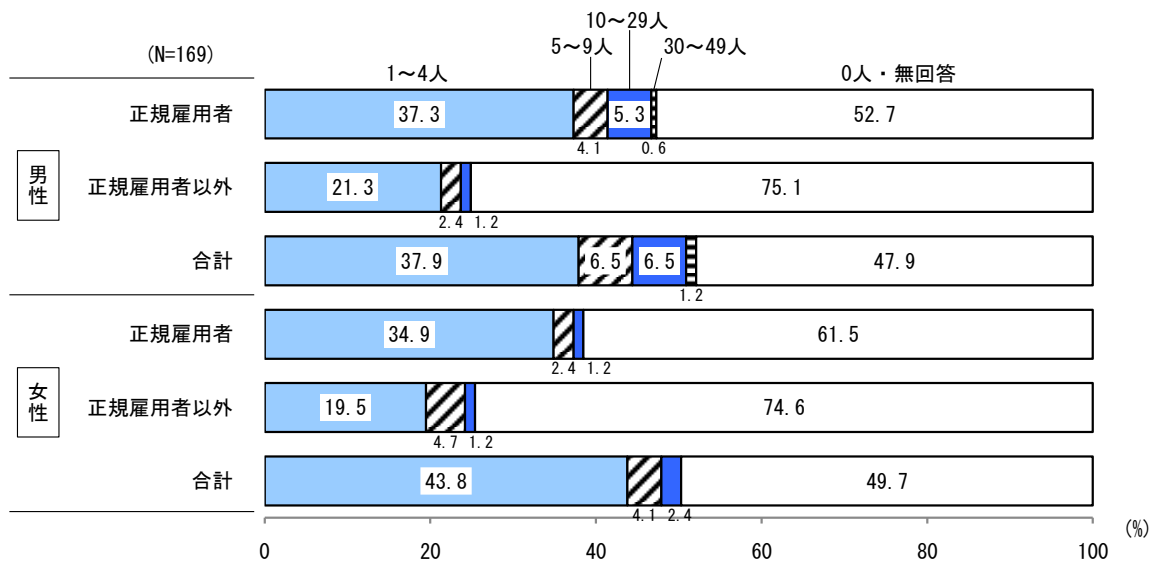
事業所の形態について、「単独事業所（他の場所に本社、支社などを持たない事業所）」と回答した割合が87.6%と最も高くなっています。



〔 3 〕 雇用者数

問 3 貴事業所の常時雇用者数を雇用形態別にお答えください。
※「該当する方がいない」場合は「0（ゼロ）」を記入してください。

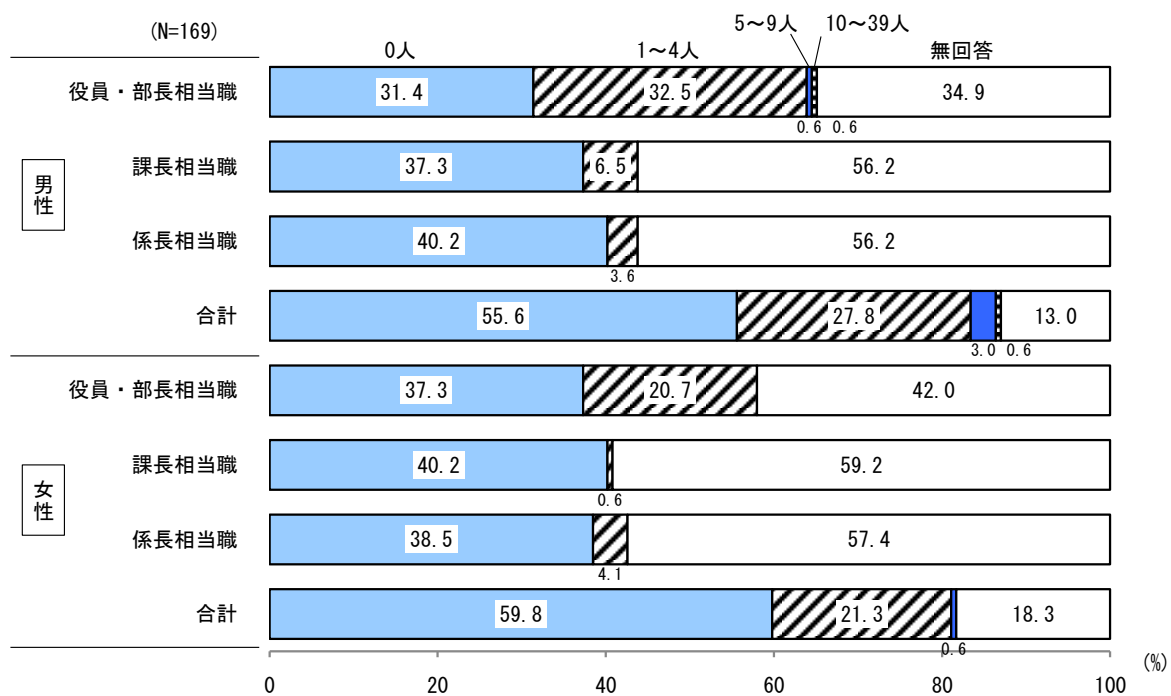
雇用者数について、男性・女性共に「0人・無回答」の割合が最も高くなっています。



〔４〕管理職等の人数

問４ 貴事業所の管理職等の人数を男女別にお答えください。（管理職とは、正規雇用のうち、配下の従業員を指揮・監督する立場にある役職、課長職以上などを言います。）
※「該当する方がいない」場合は「０（ゼロ）」を記入してください。

管理職の人数について、男性・女性共に「無回答」を除くと、「０人」と回答した事業所の割合が最も高くなっています。

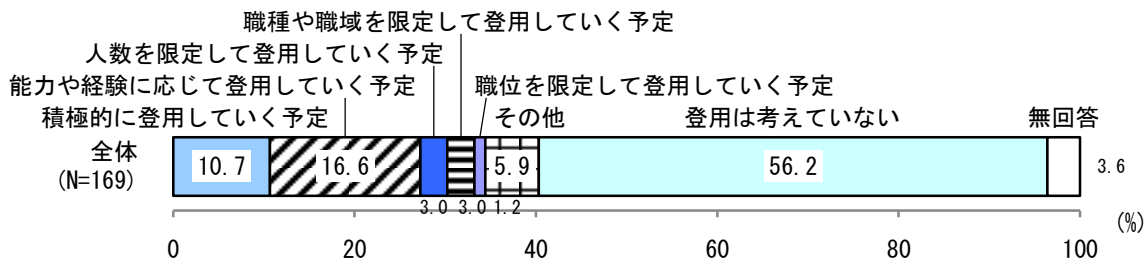


2 女性の雇用について

〔1〕女性従業員の登用について、どのように考えているか

問5 貴事業所では、今後、女性従業員の登用について、主にどのように考えていますか。【〇は1つ】

女性従業員の登用について、「登用は考えていない」の割合が56.2%と最も高くなっています。

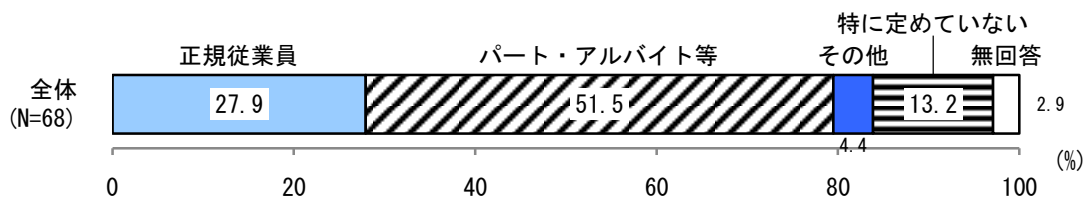


〔2〕女性を採用する際、どのような雇用形態を希望するか

問5で「7. 登用は考えていない」以外を選択された方のみ

問6 貴事業所では、女性を採用する際、主にどのような雇用形態を希望しますか。【〇は1つ】

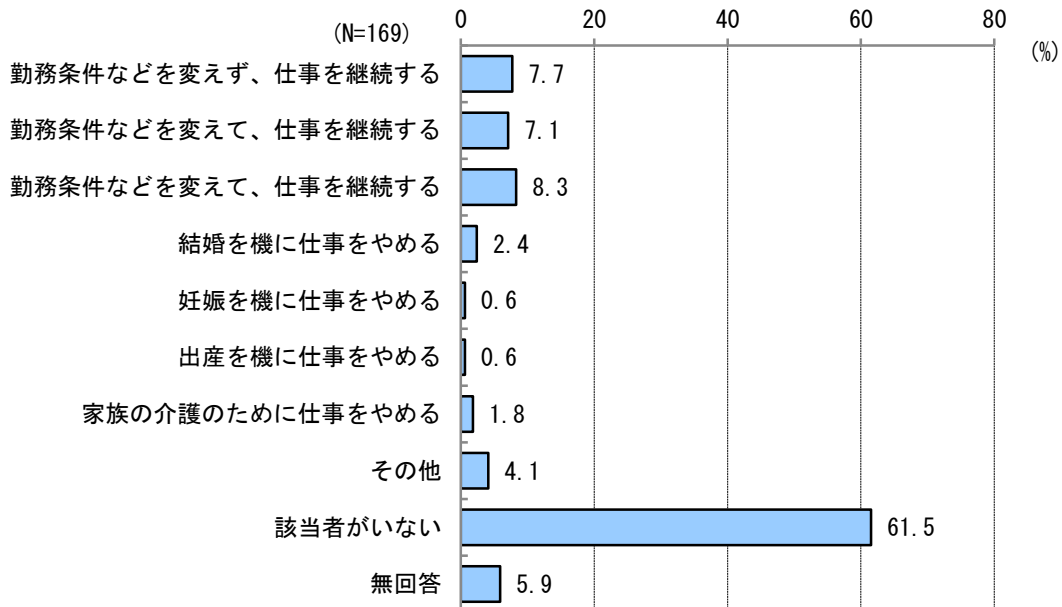
女性従業員の雇用形態について、「パート・アルバイト等」と回答した事業所の割合が最も高くなっています。



〔３〕女性従業員は、結婚や妊娠、出産、介護などのライフステージの節目に、どのような働き方を選ぶことが多いか

問７ 貴事業所では、女性従業員は、結婚や妊娠、出産、介護などのライフステージの節目に、どのような働き方を選ぶことが多いですか。【〇は１つ】

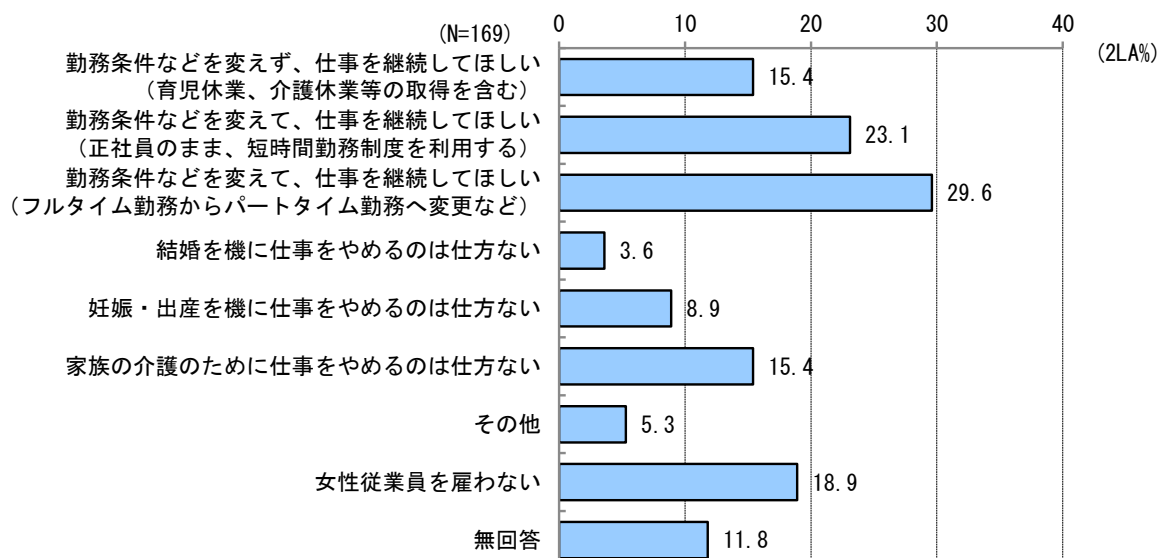
女性従業員のライフステージの節目における働き方の選択について、「該当者がいない」と回答した事業所の割合が最も高くなっています。



〔４〕結婚や妊娠、出産、介護などのライフステージの節目を迎えた女性従業員の働き方について、どのように考えるか

問８ 結婚や妊娠、出産、介護などのライフステージの節目を迎えた女性従業員の働き方について、どのように考えますか。【〇は２つ】

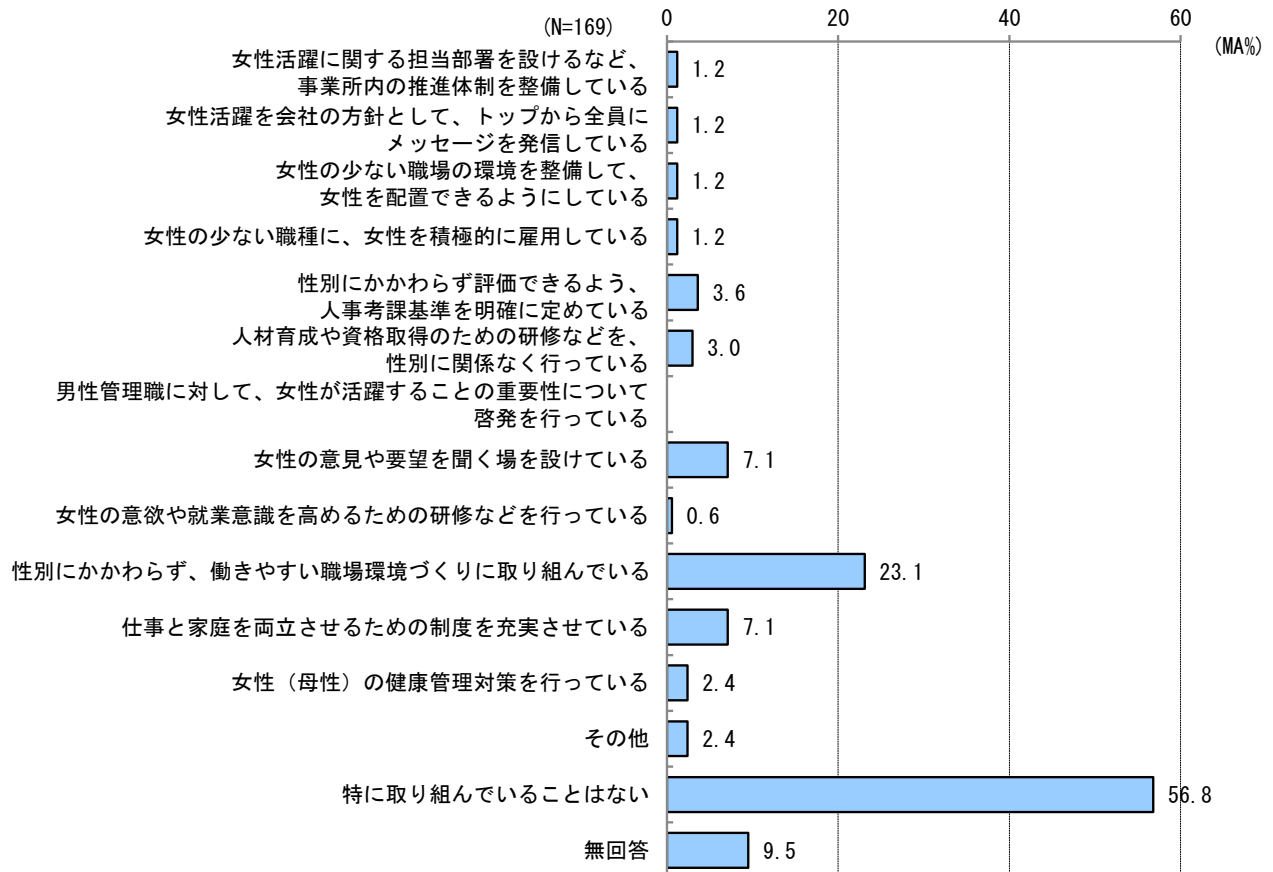
ライフステージの節目を迎えた女性従業員の働き方について、「勤務時間などを变えて、仕事を継続してほしい（フルタイム勤務からパートタイム勤務へ変更など）」と回答した事業者の割合が最も高くなっています。



〔５〕女性従業員の活躍を推進するために、取り組んでいること

問 9 貴事業所で、女性従業員の活躍を推進するために、取り組んでいることはありますか。【あてはまるものすべてに○】

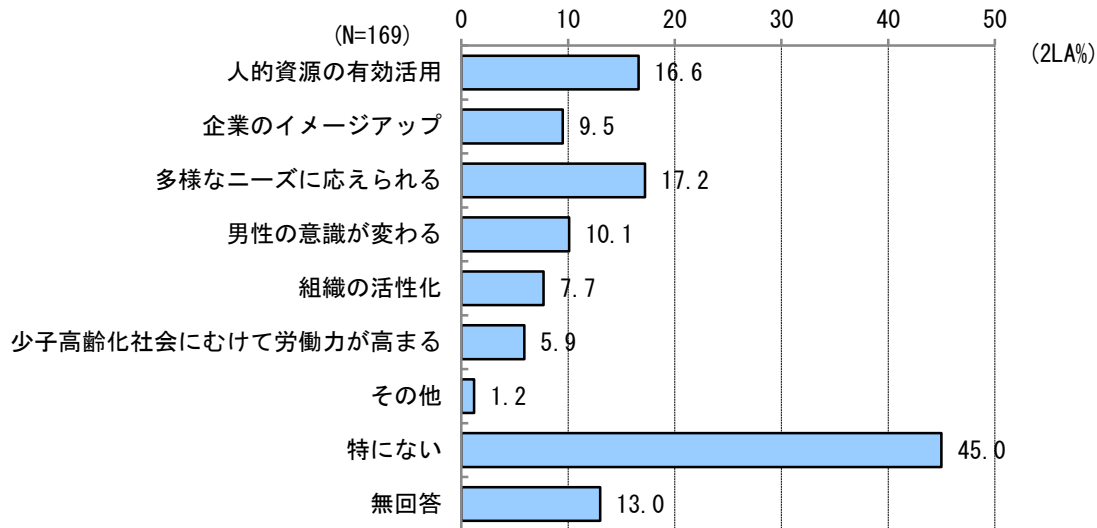
女性従業員の活躍推進のための取組について、「特に取り組んでいることはない」と回答した事業所の割合が最も高くなっています。



〔6〕女性従業員を管理職として登用するメリット

問10 貴事業所で、女性従業員を管理職として登用するメリットとしてどのようなことが考えられますか。【〇は2つ】

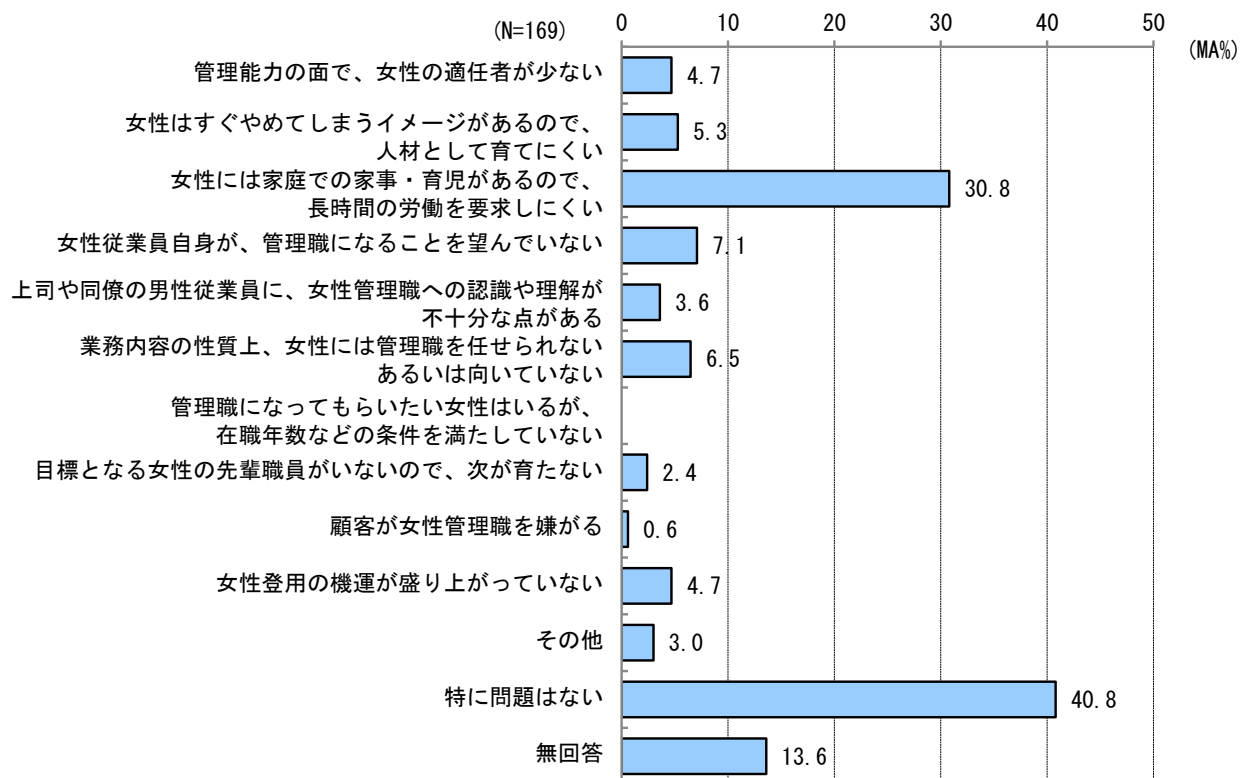
女性従業員の管理職への登用に関して、そのメリットとして「多様なニーズに応えられる」と回答した事業所の割合が17.2%と最も高くなっています。（「特にない」を除く）



〔 7 〕 女性従業員を管理職として登用するにあたり妨げとなっている要因

問11 貴事業所で、女性従業員を管理職として登用するにあたり妨げとなっている要因はありますか。【あてはまるものすべてに○】
※女性従業員がいない事業所は、一般的な見解として回答できる範囲でお答えください。

女性従業員の管理職としての登用に関してその障害となっている理由として、「女性には家庭での家事・育児があるので、長時間の労働を要求しにくい」と回答した事業所の割合が 30.8%と最も高くなっています。（「特に問題はない」を除く）

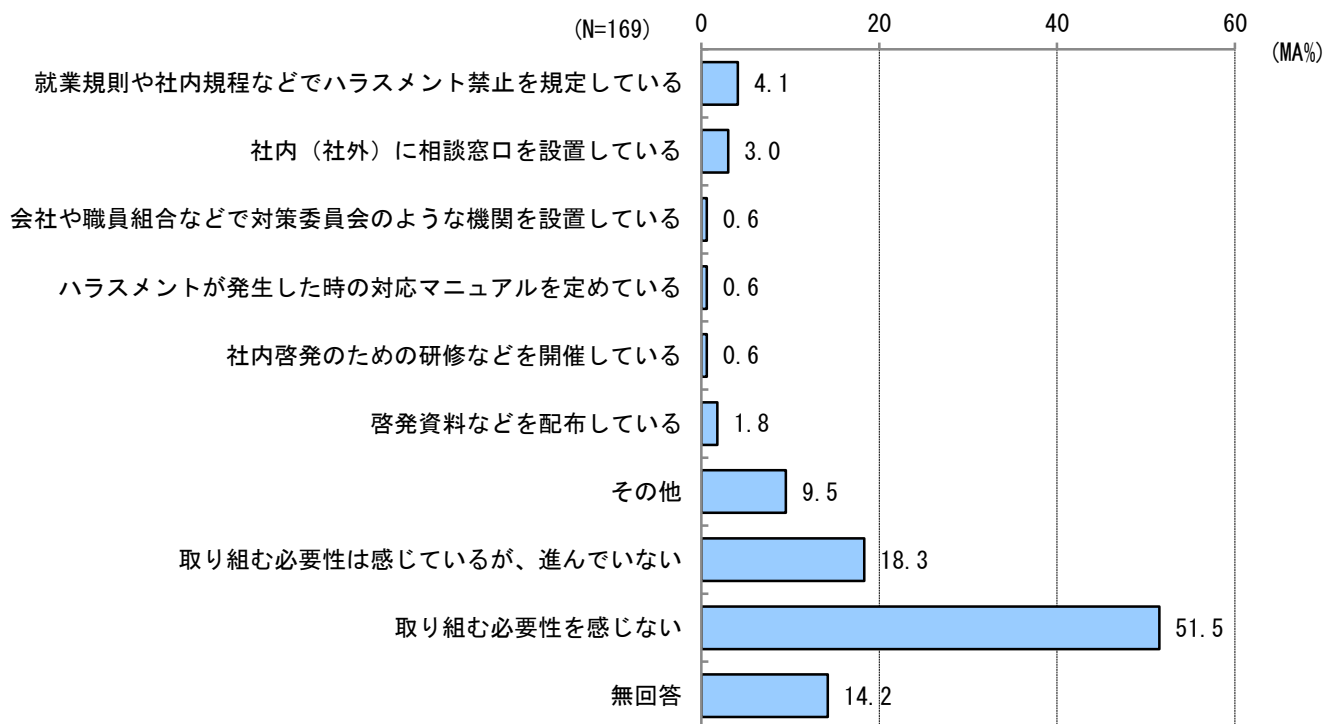


3 ハラスメントに対する取り組みについて

〔1〕 各種ハラスメント（嫌がらせ）の対策の取り組み

問12 貴事業所では、各種ハラスメント（嫌がらせ）の対策として、どのようなことに取り組んでいますか。【あてはまるものすべてに○】

各種ハラスメント（嫌がらせ）の対策に関する取組について、「取り組む必要性を感じない」と回答した事業所の割合が51.5%と最も高くなっています。

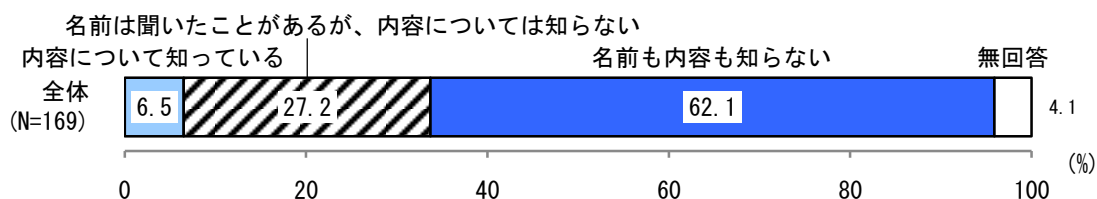


〔2〕 ポジティブ・アクション（積極的改善措置）の認知度

問13 ポジティブ・アクション（積極的改善措置）についてご存知ですか。【○は1つ】

※「ポジティブ・アクション」とは固定的な性別による役割分担意識や過去の経緯から、男女労働者の間に事実上生じている差があるとき、それを解消しようと、企業が行う自主的かつ積極的な取組。

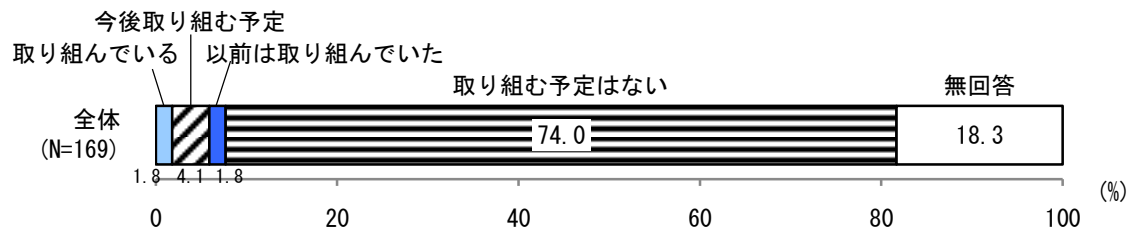
ポジティブ・アクション（積極的改善措置）の認知度について、「名前も内容も知らない」と回答した事業所の割合が最も高くなっています。



〔 3 〕 ポジティブ・アクションの取組状況

問14 ポジティブ・アクションの取組状況について該当するものを選んでください。【○は1つ】

ポジティブ・アクションの取組状況について、「取り組む予定はない」と回答した事業所の割合が 74.0%と最も高くなっています。

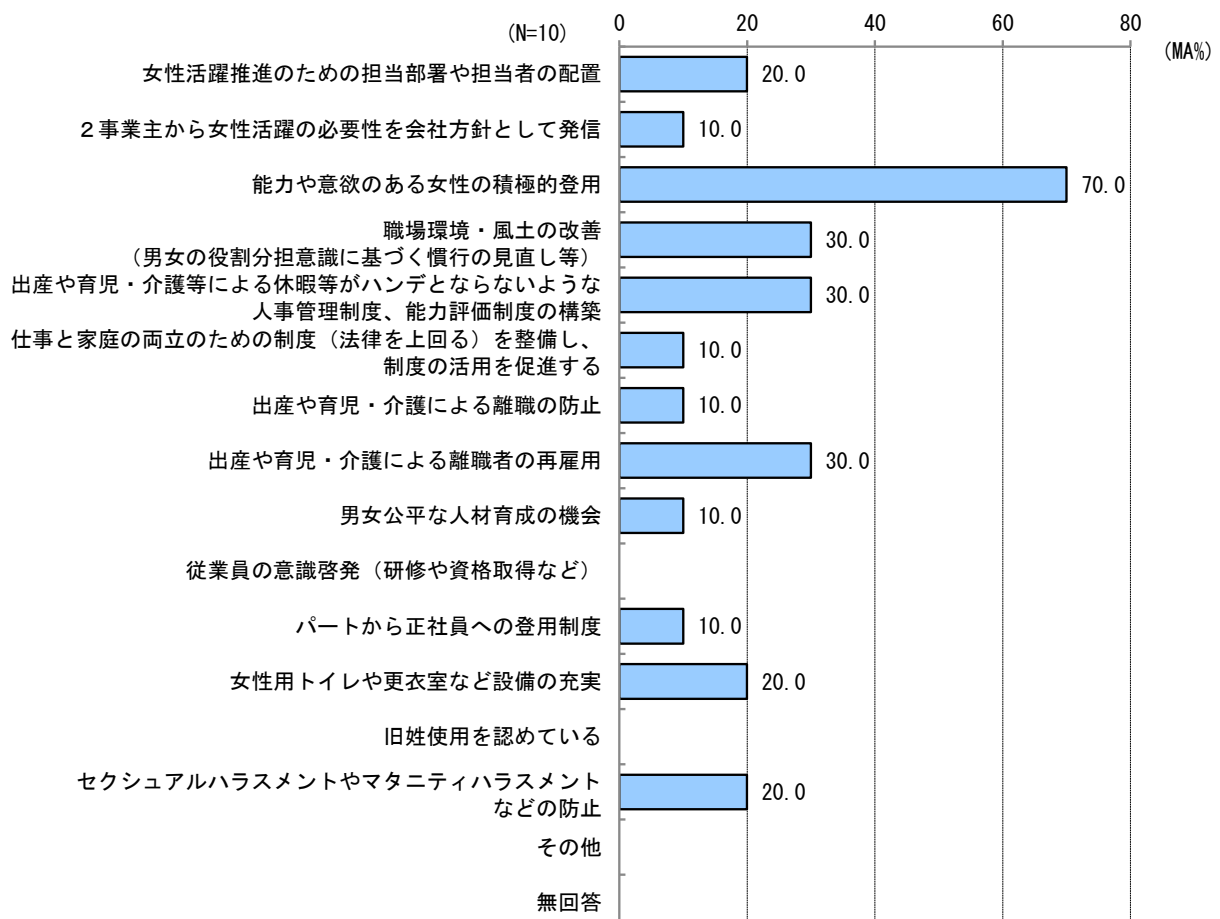


〔 4 〕 ポジティブ・アクションの取組内容

問14で「1. 取り組んでいる」「2. 今後取り組む予定」を選択された方のみ

問15 ポジティブ・アクションの取組内容についてどのようなことに取り組んでいますか。【あてはまるものすべてに○】

ポジティブ・アクションの取組内容について、「能力や意欲のある女性の積極的登用」と回答した事業所の割合が 70.0%と最も高くなっています。

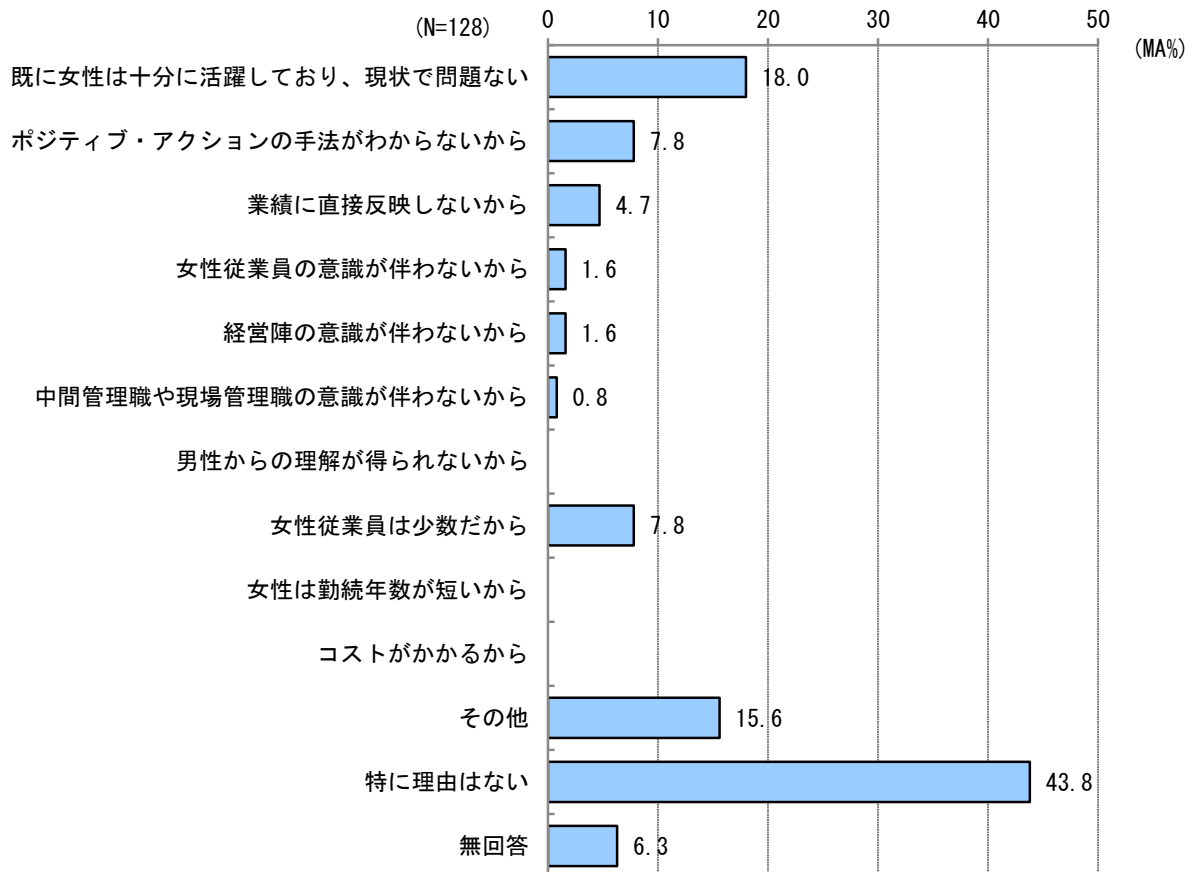


〔５〕 ポジティブ・アクションに取り組まない理由

問14で「３．以前は取り組んでいた」「４．取り組む予定はない」を選択された方のみ

問16 ポジティブ・アクションに取り組まない理由について該当するものを選んでください。【あてはまるものすべてに○】

ポジティブ・アクションに取り組まない理由について、「すでに女性は十分に活躍しており、現状で問題ない」と回答した事業所の割合が 18.0%と最も高くなっています。（「特に理由はない」を除く）



4 育児や介護について

〔1〕育児休業・介護休業を取得した従業員の有無

問17 貴事業所では、過去3年間に育児休業・介護休業を取得した従業員はいますか。取得した人数を男女別に記入してください。【〇はそれぞれ1つずつ】

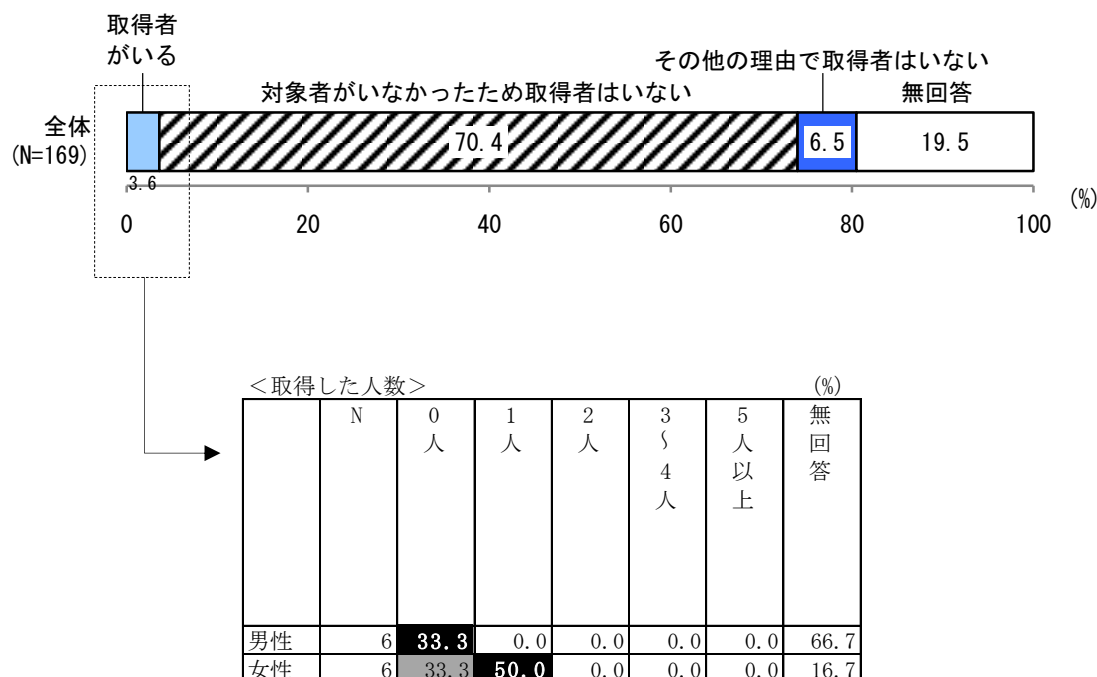
＜育児休業＞における従業員の育児休業取得に関して、「対象者がいなかったため取得者はいない」と回答した事業所の割合が67.5%と最も高くなっています。

＜育児休業＞



＜介護休業＞における従業員の介護休業取得に関して、「対象者がいなかったため取得者はいない」と回答した事業者の割合が70.4%と最も高くなっています。

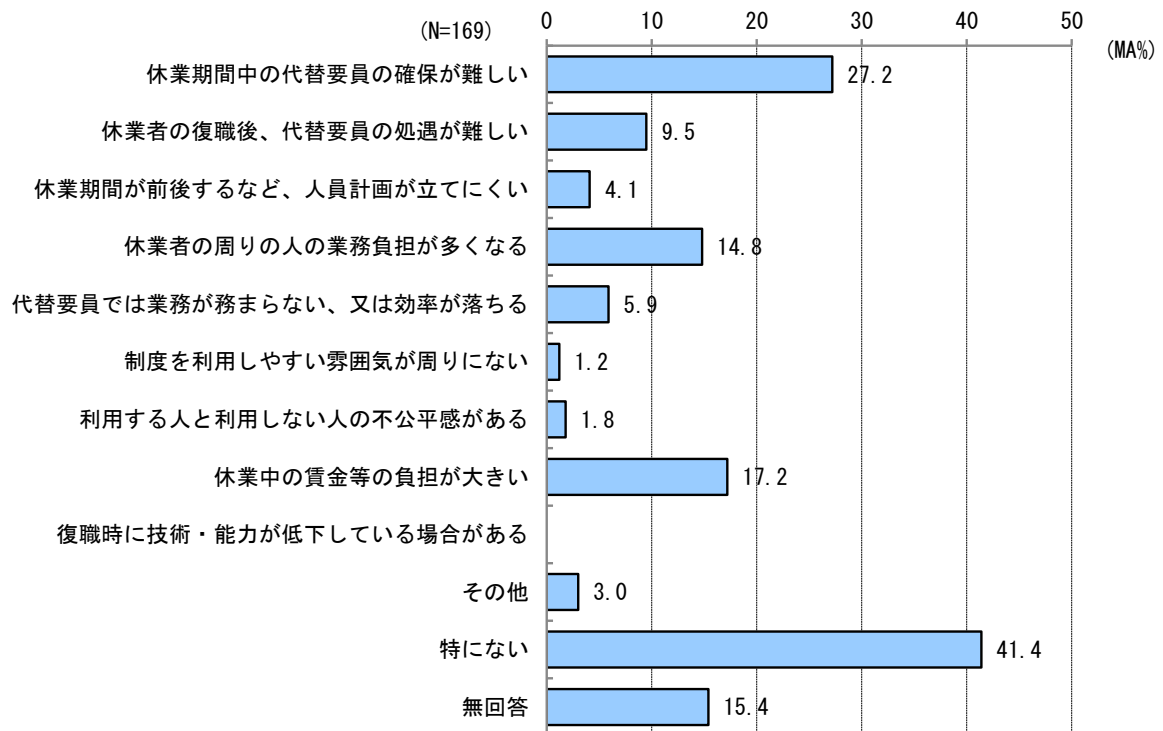
＜介護休業＞



〔２〕育児休業や介護休業制度を定着させる上で、問題と思われること

問18 貴事業所において、今後、育児休業や介護休業制度を定着させる上で、特に問題と思われることは何ですか。【あてはまるものすべてに○】

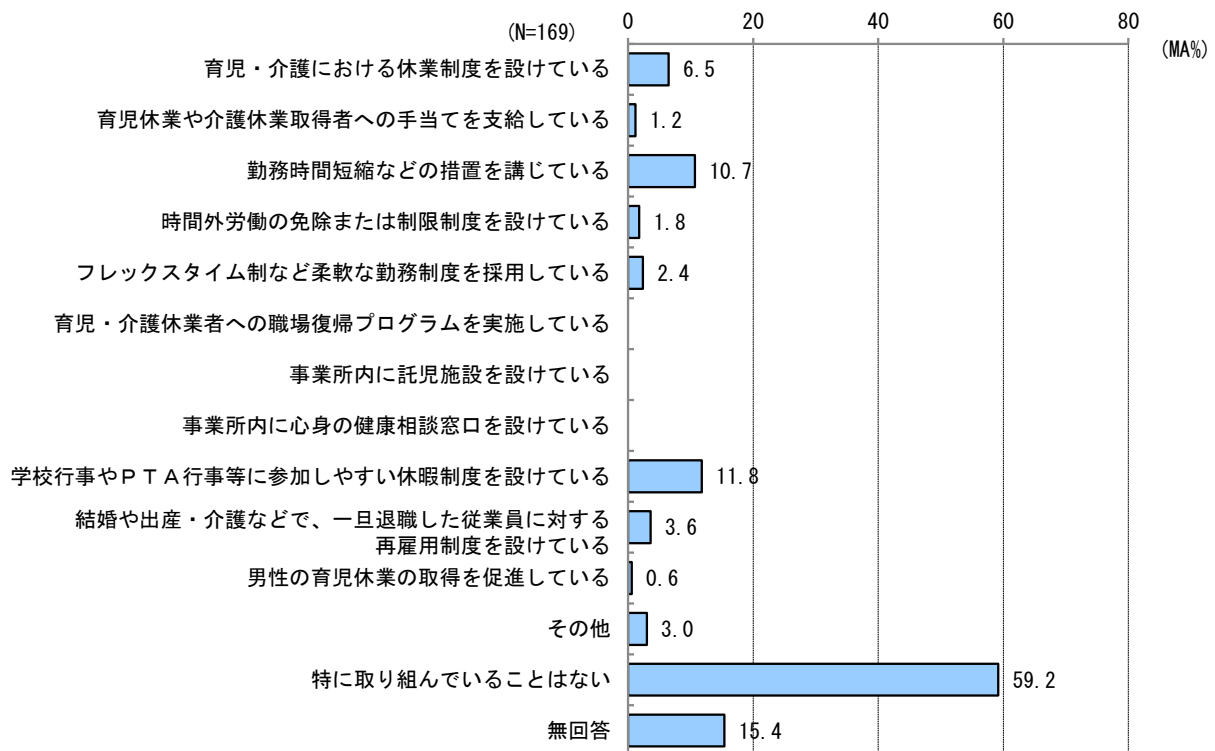
育児休業・介護休業制度の定着の上での問題について、「休業期間中の代替要員の確保が難しい」と回答した事業者の割合が 27.2%と最も高くなっています。（「特にない」を除く）



〔３〕育児や介護と仕事の両立を支援するために、取り組んでいること

問19 貴事業所では、従業員に対して、育児や介護と仕事の両立を支援するために、取り組んでいることがありますか。【あてはまるものすべてに○】

育児・介護と仕事の両立支援に関する取組について、「学校行事や PTA 行事等に参加しやすい休暇制度を設けている」と回答した事業所の割合が 11.8%と最も高くなっています。（「特に取り組んでいることはない」「無回答」を除く）



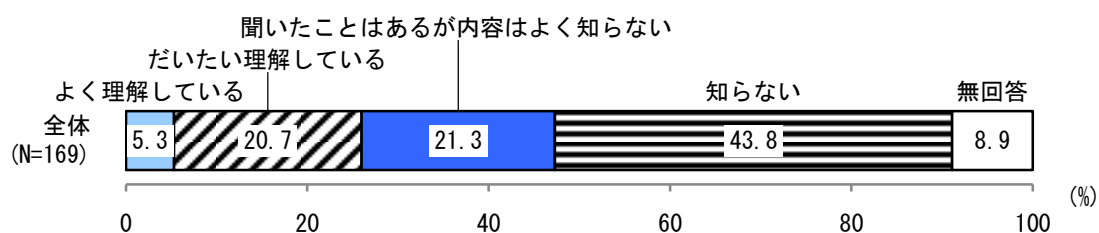
5 ワーク・ライフ・バランスについて

〔1〕「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」の認知度

問20 「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」についてご存知ですか。
【○は1つ】

※企業等における「仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）」とは、例えば、育児休業・介護休業を取得しやすい環境づくりを進めることや、時短勤務など、家庭生活との調和を保つことができるような支援体制づくりを進める取組です。

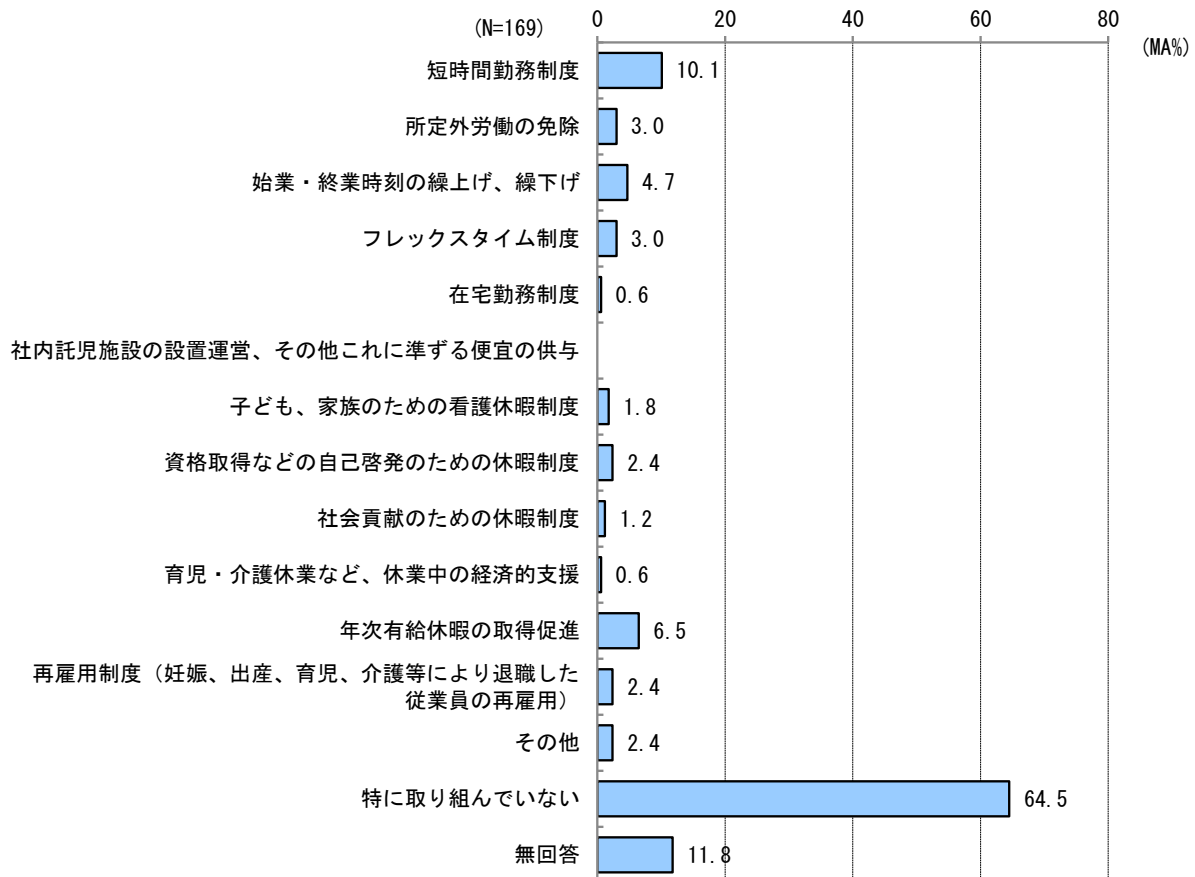
「ワーク・ライフ・バランス（仕事と）生活の調和」の認知度について、「知らない」と回答した事業所の割合が最も高くなっています。



〔２〕「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」を推進するために、取り組んでいること

問21 貴事業所では、「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」を推進するために、取り組んでいることはありますか。【あてはまるものすべてに○】

「ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）」の推進に関する取組について、「短時間勤務制度」と回答した事業所の割合が 10.1%と最も高くなっています。（「特に取り組んでいない」を除く）

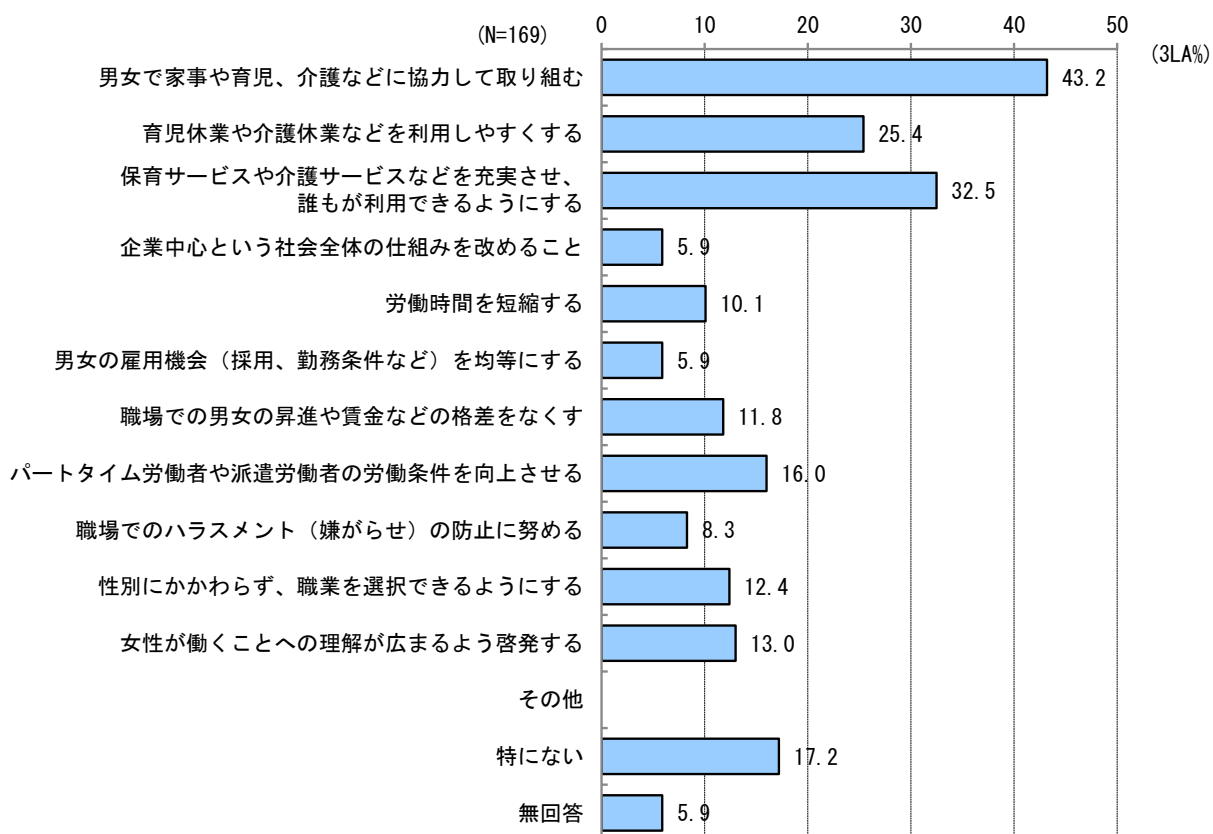


6 男女共同参画社会づくりについて

〔1〕行政の取組として、男女が共に働きやすい環境をつくるために、どのようなことが必要だと思いますか

問22 行政の取組として、男女が共に働きやすい環境をつくるために、どのようなことが必要だと思いますか。【〇は3つまで】

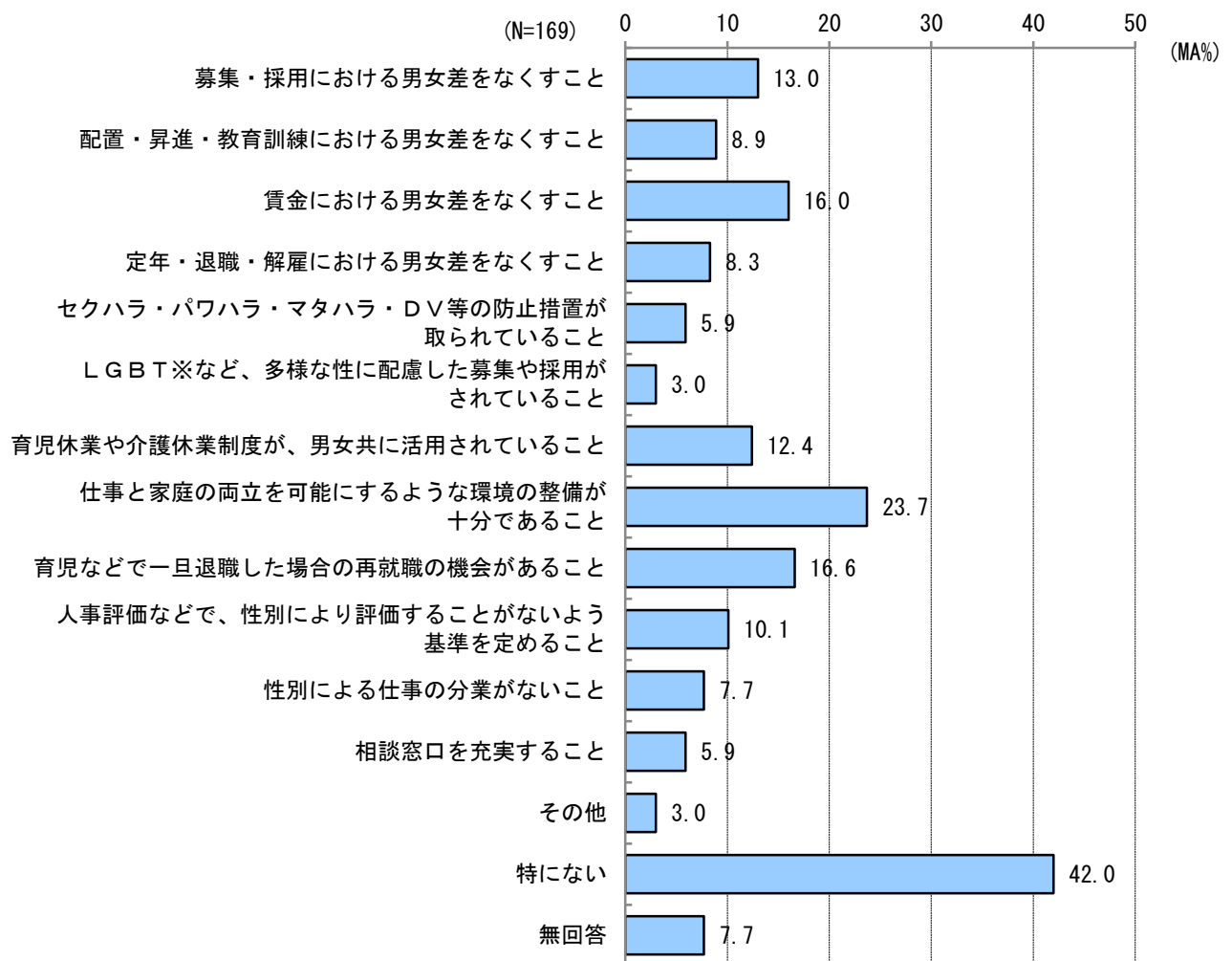
男女共同参画社会における行政の取組について、「男女で家事や育児、介護などに協力して取り組む」と回答した事業所の割合が43.2%と最も高くなっています。



〔２〕事業所として、男女が共に働きやすい環境をつくるために、どのようなことが必要だと思うか

問23 貴事業所として、男女が共に働きやすい環境をつくるために、どのようなことが必要だと思いますか。【あてはまるものすべてに○】

事業所における男女共働の環境づくりについて、「仕事と家庭の両立を可能にするような環境の整備が十分であること」と回答した事業所の割合が23.7%と最も高くなっています。（「特にない」を除く）



〔３〕男女共同参画を積極的に進めるために、行政はどのようなことに力を入れるべきだと思うか

問24 男女共同参画を積極的に進めるために、行政はどのようなことに力を入れるべきだと思いますか。【〇は5つまで】

男女共同参画の推進に向けて行政が取り組むべきことについて、「子育て支援サービスを充実する」と回答した事業所の割合が 29.6%と最も高くなっています。

